

**ペルー共和国
カハマルカ州小規模農家生計向上
プロジェクト
運営指導調査報告書**

平成 24 年 7 月
(2012 年)

**独立行政法人国際協力機構
農村開発部**

農 村
J R
12-069

**ペルー共和国
カハマルカ州小規模農家生計向上
プロジェクト
運営指導調査報告書**

平成 24 年 7 月
(2012 年)

**独立行政法人国際協力機構
農村開発部**

序 文

独立行政法人国際協力機構は、ペルー共和国政府からの技術協力の要請に基づき、2011年7月31日から2016年7月30日までの予定で、有償勘定技術支援「カハマルカ州小規模農家生計向上プロジェクト」を実施しています。

今般、当機構は2012年5月27日から同6月8日まで、当機構国際協力専門員である永代成日出を团长とする運営指導調査団を現地に派遣し、現地踏査及びペルー側の実施機関関係者との協議等を通じて、活動の進捗状況の確認、問題点の把握及び今後のプロジェクト実施に係る提言を行いました。これらの調査結果は、日本・ペルー双方の関係者による討議を経て協議議事録（ミニッツ）としてまとめられ、署名交換のうえ、両国の関係機関に提出されました。

本報告書は、当該調査の結果をまとめたものです。この報告書が、本協力の成果発現に向けた取り組みに役立つとともに、ペルーの開発並びに両国の友好・親善の一層の発展に寄与することを期待いたします。

終わりに、本調査実施にご協力とご支援をいただいた関係者の皆様に対し、心から感謝申し上げます。

平成24年7月

独立行政法人国際協力機構
農村開発部長 熊代 輝義

目 次

序 文

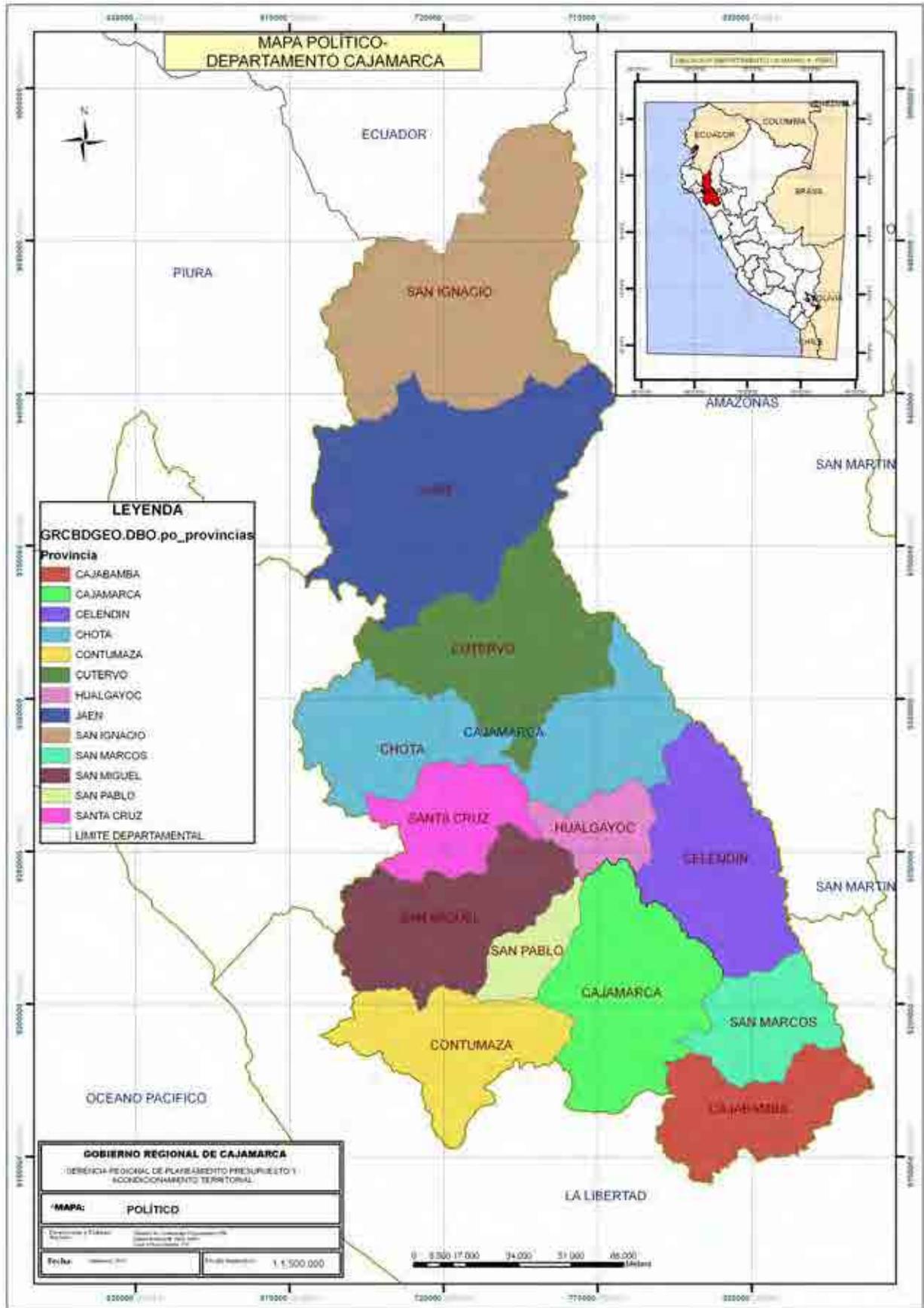
プロジェクト対象地域

現地写真

略語表

第1章 調査の概要	1
1-1 プロジェクトの背景	1
1-2 プロジェクトの概要	1
1-3 運営指導調査の目的	3
1-4 運営指導調査団の構成及び担当業務	3
1-5 調査日程	4
1-6 主要面談者	5
第2章 運営指導調査の結果	8
2-1 調査方針	8
2-1-1 調査すべき課題	8
2-1-2 訪問先における質問・協議等事項	9
2-2 調査結果	10
2-2-1 活動の進捗状況	10
2-2-2 確認事項についての調査結果	12
2-2-3 PDMの修正	13
第3章 第二年次の活動計画	16
第4章 合意事項	18
第5章 団長所感	19
付属資料	
1. 本調査で署名されたミニッツ（スペイン語）	25
2. 本調査で署名されたミニッツ（日本語訳）	44
3. 2012年6月5日開催合同調整委員会（JCC）資料	62

プロジェクト対象地域



現地写真（その1）



国立農業研究所 (INIA) Baños del Inca (パーニョス・デ・インカ) 支場エンドウ豆優良種子増殖の様子



紫トウモロコシ優良種子増殖の様子



ニンニク優良種子の増殖



カハマルカ州副知事との協議



サン・ミゲル郡選果・加工施設候補



Agro Rural 育苗施設 (サン・ミゲル郡)



ナモラ市モデル集落の訪問



イチョカン市長との協議

現地写真（その2）



プロジェクトチームとの打合せ



カハパンバ郡長と協議後に



INIA Baños del Inca 支場パンパ・グラン
デ圃場エンドウ豆種子増殖圃場



同圃場紫トウモロコシ種子貯蔵の様子



INIA 局長との協議（合同調整委員会
（JCC）打合せ等）



JCC の様子



JCC でのプロジェクト・デザイン・マト
リックス（PDM）変更に係る説明



JCC でのミニッツ署名の様子

略 語 表

略語	スペイン語（英語）	日本語
AGRORURAL	Programa de Desarrollo Productivo Agrario Rural	農村農業生産開発計画
CCC (JCC)	Comité de Coordinación Conjunta (Joint Coordinating Committee)	合同調整委員会
C/P	(Counterpart)	カウンターパート
INIA	Instituto Nacional de Innovación Agraria	国立農業研究所
JICA	Agencia de Cooperación Internacional del Japón	独立行政法人国際協力機構
MDP (PDM)	Matriz de Diseño del Proyecto (Project Design Matrix)	プロジェクト・デザイン・マトリックス
M/R (M/M)	Minuta de Reunión (Minutes of Meeting)	協議議事録（ミニッツ）
A/D (R/D)	Acta De Discusiones (Record of Discussions)	討議議事録
SNIP	Sistema Nacional de Inversión Pública	公共投資システム

第1章 調査の概要

1-1 プロジェクトの背景

ペルー共和国（以下、「ペルー」と記す）のマクロ経済は安定的に成長している。反面、GINI係数は48.9と高く、貧富の格差が依然大きい。貧困対策は国家の重要課題であり、2010年のプロジェクト形成時のガルシア政権は全国平均50%を超える貧困率を、2011年までに30%以下に削減することを目標としていた。ペルーの国土は、沿岸部（コスタ）、山岳部（シエラ）及び内陸森林地帯（セルバ）に大別され、この中でシエラの貧困率は67.6%と最も高く、同地域における貧困対策は喫緊の課題である。2006年に“山岳地域の農林畜産業等の振興を通じた貧困削減及び地域経済の活性化”をめざすことを目的に発令された「山岳地域輸出振興法」など、課題克服に向けた各種施策が実施されている。

プロジェクト対象地域のカハマルカ州はシエラに位置し、貧困率は64.5%に達する。人口の大半は農業に従事し、粗放な天水農法によって伝統的作物（トウモロコシ、ジャガイモ等）を、自家消費及び近隣市場での販売向けに栽培しているが、農業収入はほとんど得られていない。農家当たりの平均耕作面積は0.5～3.0haと小規模なため、農業収入の向上には少ない作付面積で高い収益が上げられる作物の導入など新しい営農体系の構築が求められている。

こうした背景から、ペルー政府はカハマルカ州内の小規模農家を対象に収益性の高い換金作物を中心とした営農体系の構築による農家収入の向上、ひいては地域の貧困削減を図るために、技術協力プロジェクト「カハマルカ州小規模農家生計向上プロジェクト」（以下、「本プロジェクト」と記す）の実施を我が国に要請した。これを受けて、国際協力機構（JICA）はプロジェクトの必要性や要請の妥当性を確認するため、2010年10月に詳細計画策定調査を実施した。この結果、プロジェクトの枠組みについて合意し、2011年3月10日にペルー農業省、国立農業研究所（Instituto Nacional de Innovación Agraria：INIA）及び農村農業生産開発計画（Programa de Desarrollo Productivo Agrario Rural：AGRORURAL）と討議議事録（Record of Discussion：R/D）に署名した。本プロジェクトは2011年7月に開始され、2016年6月まで合計5年間にわたり実施される。

1-2 プロジェクトの概要

（1）調査概要

1）プロジェクト実施期間

2011年7月31日～2016年7月30日（60カ月）。

2）対象地域

カハマルカ州のカハバンバ郡、カハマルカ郡、サン・ミゲル郡、サン・パブロ郡、イチョカン市（サン・マルコス郡）の5郡・市。

3）啓蒙対象地域

対象地域のモデル集落以外の集落、カハマルカ州の対象郡以外の郡、並びにアマソナス州、アンカシュ州、アヤクチョ州、ワンカベリカ州、ワヌコ州、フニン州、ラ・リベルタッド州及びピウラ州の8州。

4）直接裨益者

対象地域から選定されたモデル集落（各郡1集落の計5集落）の小規模農家約500戸（各モデル集落100戸）。

5) 間接裨益者

啓蒙対象地域のうちモデル集落での取り組みが啓蒙可能な小規模農家等。

6) カウンターパート (C/P) 機関

INIA、AGRO RURAL、カハマルカ州政府、カハバンバ郡、カハマルカ郡、サン・ミゲル郡、サン・パブロ郡政府及びイチョカン市 (サン・マルコス郡)。

7) 対象作物

ニンニク、エンドウ豆、紫トウモロコシ、その他。

(2) 上位目標

- ・対象地域の小規模農家の生計が向上する。
- ・啓蒙対象地域においてモデルが活用される。

(3) プロジェクト目標

- ・対象地域において小規模農家の生計向上に向けたモデルが構築される。

(4) 成果

- 1: モデル集落において、農民組織の活動実施体制が整備・強化される。
- 2: モデル集落農家の対象作物の農業生産性及び質が向上する。
- 3: モデル集落の農民組織による農産物生産チェーンが整備される。
- 4: モデル集落の水土保持が促進される。
- 5: 啓蒙対象地域の啓蒙対象者において、モデル集落での取り組みへの理解が深化する。

(5) 活動

- 1-1: プロジェクト開始後に策定されたモデル集落選定基準に基づき各郡1箇所のモデル集落を選定し、協定書を締結する。
- 1-2: モデル集落でベースライン調査を実施する。
- 1-3: モデル集落の農家に対して活動内容の説明・啓発を行う。
- 1-4: 各活動内容に適した農民組織を選定する。
- 1-5: 農民組織に対する組織運営や活動計画策定に係る指導・支援を行う。
- 1-6: モデル集落でエンドライン調査を実施する。

- 2-1: INIAにおいて対象作物の優良種子を生産し、モデル集落の小規模農家への供給を行う。
- 2-2: 各郡のモデル集落に展示圃場を設置する。
- 2-3: 展示圃場の活用やモデル集落の農家への巡回指導等を通して、播種、施肥と土壌管理、病虫害対策等の栽培技術を普及する。
- 2-4: 栽培技術マニュアルを作成する。

- 3-1: 農産物生産チェーン整備計画書を作成する。
- 3-2: 対象5郡に選果・加工施設を整備する。
- 3-3: 選果・加工施設の操作運営に係る指導を各農民組織に対して行う。

3-4：農民組織による農産物加工品の市場開拓と販売を指導・支援する。

4-1：対象地域の小規模農家に対する土壌保全に係る指導と実施促進支援を行う。

4-2：農民組織に対して植林の苗畑場の設置・運営と植林への指導・支援を行う。

5-1：モデル集落の取り組みを啓蒙する対象地域を選定する。

5-2：啓蒙対象地域の範囲ごとに適した啓蒙対象者、啓蒙方法及び啓蒙内容を検討のうえ、啓蒙計画を策定する。

5-3：啓蒙対象地域の啓蒙対象者に対して計画に沿った啓蒙活動を行う。

1 - 3 運営指導調査の目的

本プロジェクトは2011年7月30日より5年間、業務実施契約型（（株）日本工営受注）で実施するものである。プロジェクト開始から約10カ月が経過する時点で、プロジェクトの進捗状況、課題の整理、今後の対応に対する提言を取りまとめ、合同調整委員会（Joint Coordinating Committee：JCC）で合意確認することを目的として以下の項目を中心に運営指導調査を実施した。

- ①事業の進捗状況確認、課題の抽出、指導
- ②C/P機関等への事業改善に向けた提言
- ③PDM改定（改正は指標の具体的目標数値の設定を主とする）
- ④上記①～③についてミニッツで合意を図る。
- ⑤次年度契約に向けた打合せ（必要な機材リスト、施設建設の有無）

1 - 4 運営指導調査団の構成及び担当業務

本運営指導調査団の構成及び担当業務は以下のとおり。

（1）総括

永代 成日出 JICA国際協力専門員

- ・当該調査の目的、調査範囲等について、調査団を代表してペルー側関係者に説明するとともに、各種会議及びJCCの会議にあたっては、調査団の代表として参加する。
- ・計画段階から現時点までのプロジェクトの実施状況を総合的に調査・評価し、ペルー側と協議のうえ、JCCで報告・提言を行い、ミニッツに署名する。
- ・調査後、調査団を代表してJICAに調査結果を報告するとともに、他の団員が行う調査報告書の取りまとめに協力する。

（2）計画管理

和田 剛 JICA農村開発部畑作地帯第一課企画役

- ・運営管理体制（要員配置、予算、機材維持管理状況）について調査・評価するとともにプロジェクトの次年度の運営体制について確認し、ペルー側と協議のうえ、その結果をミニッツに取りまとめる。
- ・調査及び協議を効率的・効果的に実施するため、各団員の業務を調整する。
- ・帰国後、調査結果を整理・検討し、JICAに報告するとともに、他の団員の協力を得て調査

報告書を取りまとめる。

1 - 5 調査日程

2012年5月27日～6月8日

日		日程
5月27日	日	移動日（東京→アトランタ→リマ）
5月28日	月	AGRRORURAL総裁、INIA長官との協議
5月29日	火	移動（リマ→カハマルカ）、プロジェクトチームとの会議
5月30日	水	カハマルカ州政府との会議（副知事、知事顧問）、カハマルカ郡政府との会議（支援プログラム長、支援プログラム次長、郡プロジェクトチーム）、AGRRORURALカハマルカ支部との会議（エリア・ダイレクター）、INIAバーニョス・デ・インカ支場との会議（ダイレクター、プロジェクトコーディネーター）
5月31日	木	サン・ミゲル郡政府との会議（郡長、経済開発部長、郡プロジェクトチーム）、サン・ミゲル郡モデル集落の訪問（農民組織代表）、サン・パブロ郡政府との会議（郡長、経済開発部長、郡プロジェクトチーム）
6月1日	金	ナモラ市政府との会議（市長、自然資源部部長、市プロジェクトチーム）、ナモラ市モデル集落の訪問（農民組織代表）、イチョカン市政府との会議（市長、市プロジェクトチーム）、カハバンバ郡政府との会議（郡長、経済開発部長、郡プロジェクトチーム）
6月2日	土	INIAバーニョス・デ・インカ支場、パンパ・グランデ支所（エンドウ豆優良種子生産現場）の訪問、イチョカン市政府圃場（プロジェクト・ニンニク優良種子生産現場）訪問、プロジェクトチームとの会議
6月3日	日	プロジェクトチームとの会議（JICAチームのみ）
6月4日	月	プロジェクトチームとの会議、カハマルカ郡政府との会議（支援プログラム長、支援プログラム次長、郡プロジェクトチーム）
6月5日	火	INIA長官との打合せ 第三回合同調整会議
6月6日	水	プロジェクトチームとの会議、移動（カハマルカ→リマ）、農業省（副大臣）との会議、JICAペルー事務所報告 移動（リマ→アトランタ）
6月7日	木	移動（アトランタ→）（永代専門員はボリビアへ移動）
6月8日	金	移動（→東京）

1 - 6 主要面談者

<ペルー側>

(1) 農業省

Ing. Juan Rheineck Piccardo 次 官

(2) AGRORURAL

Eco. René Janette Pacheco Santos 総 裁

(3) INIA

Dr. Juan Arturo Flórez Martínez 長 官

(4) AGRORURALカハマルカ支部

Ing. Mario Tafur 支部長
Ing. Alfredo León (コーディネーター)
Dr. Mario Ramírez (San Miguel郡Agrorural)
Ing. Humberto Rafael (San Pablo郡Agrorural)
Ing. Hugo Briones (Cajamarca郡Agrorural)
Ing. Edmundo Vásquez (San Marcos-Ichocán市Agrorural)
Tec. Rogelio Calderón (Cajabamba郡Agrorural)

(5) INIAバーニョス・デ・インカ支場

Ing. Galvarino Castro 場 長
Alicia E. Medina Hoyos (コーディネーター)
Ing. Fernando Escobal (優良種子生産)
Ing. Juan Chaupe (優良種子生産)
Ing. Alipio Briones (農業技術指導)
Dr. Teodoro Narro (優良種子生産2)
Ing. Toribio Tejada (農業技術指導2)
Ing. Silvia Vigo (農民組織)
Ing. Tulio Velásquez (水土保全)
Ing. Humberto León (農産物加工/流通)
Ing. Yanett Suarez (農産物加工/流通2)

(6) カハマルカ州

Sr. César Aliaga 副知事
Sr. Aldo Pereyra 知事顧問
Ing. Pedro Díaz コーディネーター

(7) カハマルカ郡

Dr. Ricardo Soriano (経済開発部長) 支援プログラム長

- Ing. Gabriel Rabanal (経済開発次長) 支援プログラム次長
(郡プロジェクトチーム) (ナモラ市プロジェクトチームと同じ)
- (8) サン・ミゲル郡
Ing. Guillermo Espinoza Rodas 郡 長
Ing. César Díaz 経済開発部長
(郡プロジェクトチーム)
Ing. José Roque (コーディネーター)
Ing. Antonio Roncal (San Miguel郡農業局)
Dr. Mario Ramírez (San Miguel郡Agrorural)
- (9) サン・パブロ郡
Ing. Manuel Jesús Castrejón Terán 郡 長
Ing. Juan Morales 経済開発部長
(郡プロジェクトチーム)
Ing. Juan Morales (コーディネーター)
Ing. Elmer Cáceres (San Pablo郡政府)
Tec. Nelson Quispe (San Pablo郡農業局)
Ing. Humberto Rafael (San Pablo郡Agrorural)
- (10) ナモラ市
Sr. Segundo Carlos Quiroz Romero 市 長
Ing. Erminia Roncal 自然資源部部長
(市プロジェクトチーム)
Ing. Wilson Tello (コーディネーター)
Tec. Edilberto Roncal (Namora市政府)
Ing. Segundo Portal (Cajamarca郡農業局)
Ing. Hugo Briones (Cajamarca郡Agrorural)
- (11) イチョカン市
Bach. Félix W. Castañeda Izquierdo 市 長
(市プロジェクトチーム)
Ing. Wilder Quiroz (コーディネーター)
Ing. Julio Melendez (San Marcos-Ichocán市農業局)
Ing. Edmundo Vásquez (San Marcos-Ichocán市Agrorural)
- (12) カハバンバ郡
Prof. Wilson Elmer Pesantes Alayo 郡 長
Eco. Julio Rodríguez 経済開発部長

(郡プロジェクトチーム)

Eco. Julio Rodriguez
Tec. Augusto Verástico
Tec. Rogelio Calderón

(コーディネーター)
(Cajabamba郡政府)
(Cajabamba郡Agrorural)

<日本側>

(1) プロジェクト専門家

本城 正行
吉野 倫典
ルイス・ロサド
丸山 英樹

(総括/啓蒙)
(副業務主任/農産物加工/流通1)
(農業技術指導/農民組織)
(業務調整/啓蒙補助)

(2) プロジェクトローカルエキスパート

Cesar Taira
Antero Cruzado Peña

(通訳)
(市場調査/商品開発)

(3) JICAペルー事務所

阪倉 章治
金川 誠
Yolanda CAMPOS

所 長
職 員
ナショナルスタッフ

第2章 運営指導調査の方針と結果

2-1 調査方針

2-1-1 調査すべき課題

事前のプロジェクトチームからの聞き取りなどにより、調査すべき課題を以下のとおり整理した。

項目	確認事項	懸念事項
生産性向上	1 優良種子生産・配布計画（特に紫トウモロコシ、ニンニク）について	2013年からのプロジェクト参加農家への配布が可能か（圃場面積の関係から、14年からの配布が検討されている）
	2 対象品目への黄トウモロコシ、コムギの追加について	種子生産や技術指導に関し、対象3品目に加えての実施可能か疑問
	3 ニンニクの優良種子の一般農家からの購入について	増殖を担うINIAドノソ支場ではカハマルカで一般的なPata de Perroを生産していないため一般農家からの購入が検討されている
	4 INIAドノソ支場の技術者の定期的な技術指導について	当初計画されていたINIAドノソ支場の技術者（ニンニク、エンドウ豆関連）のカハマルカ州への定期的な派遣による技術指導が担当業務及び予算の関係から行われていない
	5 優良種子の農家配布（1回目）に対する資金補助について	プロジェクト側は、農家負担軽減のため、優良種子の配布（1回目）は市場価格の半額程度で実施したいとの意向。補助の必要性及びJICA負担にすべきなのかなど取るべき措置の考え方を現地で確認
付加価値化（選果・加工施設整備）	6 タイムスケジュール、予算要求方針	実証を2012年11月～2013年9月まで実施する意向。その場合、予算要求をいつ実施し、いつ施設整備を行うのか不明
	7 郡による土地及び施設の提供状況	一部、未決定または永続的な提供が確約されておらず、施設整備の方針決定等に遅れが出るおそれがある
	8 選果・加工施設の規模	「実証」で実施する施設整備の規模、予算要求方針が不明
水土保全	9 展示圃場における作物栽培と水土保全法展示の一体化	作物栽培と水土保全法展示が一体化されないと普及効果が低下するおそれがある
	10 採用工法について	被覆作物と等高線栽培のみが土壌保全活動として選定されているが、持続的な工法（テラス工法）を組み入れるべき
次年度契約	11 次年度のプロジェクト側の人員配置計画について	総括及び副総括の派遣時期（方向性の一貫性が確保できるか）、技術指導（栽培、加工）が適切に行える人員配置になっているのかを確認する必要

	12 導入機材・施設整備について	実証の規模等を踏まえた必要資機材の選定・リスト化（コンサルタントが調達） JICA予算による施設整備についての検討（INIA施設＜種子保存施設等＞、実証施設）
プロジェクト運営	13 C/P配置	実際に活動しているC/Pの人数が少ない 現状のままでは今後の活動への対応が困難
	14 プロジェクト計画書	現在、各郡・市で予算を含むプロジェクト計画書（全期間）を作成中。その計画書で選果・加工施設整備に係る予算計上が行われるか否かが不明。またその計画書の位置づけ（中央政府への予算要求用を兼ねるのか）の確認が必要

2-1-2 訪問先における質問・協議等事項

訪問先における質問・協議等事項を以下のように整理した。

2012年5月28日～6月6日

日		訪問先	打合せ事項等
5月28日	月	AGRORURAL	調査目的説明、人員配置（人員交代を頻繁に行わない）と予算確保について要請、JCC出席確認
		INIA本部	調査目的説明、INIAドノソ支場技術者の指導派遣とC/P配置について要請、JCC出席確認
5月29日	火	プロジェクト・チームとの会議	現地打合せに向けた各郡における活動の現状と課題の確認、JCC資料の確認（現地での検討結果、ミニッツ案・PDM案の確認）、当方からの確認・懸念事項に関する協議
5月30日	水	カハマルカ州政府との会議（知事、副知事、経済開発部長）	調査目的説明、プロジェクトの進捗と課題に関する意見交換、JCC（ミニッツ案）についての協議（意見があれば6月4日朝までの通知を依頼）、プロジェクトへの協力方針等の確認（C/Pの配置、活動費、選果・加工施設整備等）
		カハマルカ郡政府との会議（郡長、支援プログラム次長、郡プロジェクト・チーム）	【C/P】 調査目的説明、JCC（ミニッツ案）についての協議（意見があれば6月4日朝までの通知を依頼）、これまでの活動の進捗と課題についての意見交換、各所固有の課題解決に向けた申し入れ・協議（C/Pの配置、活動費、選果・加工施設整備等）
		AGRORURALカハマルカ支部との会議（エリア・ダイレクター）	
		INIAバーニョス・デ・インカ支場との会議（ダイレクター、プロジェクト・コーディネーター）	

5月31日	木	サン・ミゲル郡政府との会議（郡長、次官、経済開発部長、郡プロジェクト・チーム）	【集落】 現状における課題、今後の意向（特に選果・加工施設）について聞き取り、農民組織の設立状況など
		サン・ミゲル郡モデル集落の訪問（農民組織代表）	
		サン・パブロ郡政府との会議（郡長、次官、経済開発部長、郡プロジェクト・チーム）	
6月1日	金	ナモラ市政府との会議（市長、自然資源部部長）	
		ナモラ市モデル集落の訪問（農民組織代表）	
		イチョカン市政府圃場（プロジェクト・ニンニク優良種子生産現場）訪問	
		イチョカン市政府との会議（市長、アドバイザー）	
		INIAバーニョス・デ・インカ支場、パンパ・グランデ支所（エンドウ優良種子生産現場）の訪問	
		カハバンバ郡政府との会議（郡長、経済開発部長、郡プロジェクト・チーム）	
6月2日	土	プロジェクト・チームとの会議	現地視察を踏まえ、①当方からの確認・懸念事項の検討を含んだ次年度活動方針、②ミニッツ案についての協議
6月3日	日	プロジェクト・チームとの会議（JICAチームのみ）	前日の打合せ内容につき、さらに詳細を協議。次年度契約の方針につき打合せ
6月4日	月	プロジェクト・チームとの会議	次年度活動方針につきプロジェクト全体で共有。各郡等からの意見を踏まえたミニッツ最終案の確認。合同調整会議資料をセット
6月5日	火	第3回JCC	
6月6日	水	プロジェクト・チームとの会議	次年度契約方針につき確定
		農業省（次官室）	JCC結果報告及び課題解決に向けた協力につき要請

2 - 2 調査結果

2 - 2 - 1 活動の進捗状況

(1) 全般

各郡・市がプロジェクト第二年次計画を作成中で、2012年6月中には第一案を完成させ、8月末には最終化の見込みである。

(2) 活動の進捗について

【成果1】モデル集落において、農民組織の活動実施体制が整備・強化される。

5郡・市でモデル集落における農民組織の形成がほぼ完了しつつある。現在、プロジェクト参加農民の現状（実際の生産面積等）を把握するため、各農民の耕作面積など基礎情報を収集中。活動に若干の遅れが見受けられる。

【成果2】モデル集落農家の対象作物の農業生産性及び質が向上する。

<展示圃場の設置>

- ・展示圃場での展示技術ロングリストを作成済み。現在、各郡・市でそのリストについての評価・最終化の作業中。ほぼ予定通りの進捗
- ・設定した展示圃場設置基準に基づき候補地を選定中。ほぼ予定通りの進捗
- ・観察・仮展示圃場を各郡・市に設置し活動を開始済み。味の素株式会社の液肥「AJIFOL」の試用、紫トウモロコシの新品種（INIA601）試験栽培、エンドウ豆新導入品種試験栽培など約30の活動を実施。予定を上回る進捗

<優良種子生産・増殖>

- ・2012年1月に、INIAドノソ支場よりエンドウ豆の基礎種子を受領、3月にINIAバーニョス・デ・インカ支場で登録種子生産を開始。4カ月後の7月頃に登録種子が収穫見込みであり、ほぼ予定通りに進捗している。
- ・2011年にINIAバーニョス・デ・インカ支場で紫トウモロコシの原種を播種、2012年5～6月に基礎種子を収穫済み。現在、登録種子生産のため基礎種子を乾燥処理中であり、ほぼ予定通りの活動となっている。
- ・2012年3月にINIAドノソ支場よりニンニクの基礎種子（第二世代種子）を受領、4月より、INIAバーニョス・デ・インカ支場で順次登録種子（第三世代種子）の生産を開始している。なお、INIAバーニョス・デ・インカ支場内に十分な広さの圃場が確保できなかったため、登録種子生産はINIAに加え、イチョカン市政府圃場で行っている。現在、追加の圃場確保を進めており、全体としては活動に若干の遅れが見られる。
- ・対象作物三品及び水土保全のマニュアルの作成については、現在作成中であり、計画よりも若干の遅れがある。

【成果3】モデル集落の農民組織による農産物生産チェーンが整備される。

- ・市場調査はほぼ完了しているが、施設の整備等方針が定まっておらず、またその予算措置についての検討にも遅れが見られる。

【成果4】モデル集落の水土保全が促進される。

<土壌保全>

- ・土壌保全技術としては、多大なコスト、労働力を必要としない被覆作物の活用と等高線栽培が選定された。
- ・被覆作物品種ロングリストを作成済み。現在、各郡・市でその評価・最終化の作業中。なお、農民の生計向上に少しでも寄与できるよう被覆作物は牧草を中心に選定された。

<植林>

- ・植林樹種ロングリストを作成済み。現在、各郡・市でその評価・最終化の作業中。なお、農民の生計に少しでも寄与できるよう植林樹種はマツ、ユーカリなど一般的なものに加え、タラ、桑など商品価値の高いものが選定された。予定を上回る進捗となっている。

【成果5】啓蒙対象地域の啓蒙対象者において、モデル集落の取り組みへの理解が深化する。
(未開始：第三年次活動)

(3) その他

<プロジェクト広報資材の作成>

- ・プロジェクトHP、パンフレットを作成中
- ・プロジェクト広報資材（ロゴ、帽子、ジャケット）を作成済み

<供与資機材の納品>

- ・二輪車を除き、納品を完了した。

<追加供与資機材の納品・建設>

- ・事務所及び駐車場を改修。現在、三相電源設置工事を実施中。資機材については3社の見積もりの入手を進めている。

2-2-2 確認事項についての調査結果

項目	確認事項	調査結果
生産性向上	1. 優良種子生産・配布計画（特に紫トウモロコシ、ニンニク）について	ニンニクを除き2013年からプロジェクト参加農家への配布を実行するよう調整する。ニンニクについては、参加農家が現時点では少ないことから種子生産面積拡大等による対応は特に取らない。 なお、INIAの圃場では人手及び資材不足により適切な管理が行われていないところも見受けられ、今後の種子生産・配布に懸念があることから、管理者の雇用等の措置を早急に検討する。
	2. 対象品目への黄トウモロコシ、小麦の追加について	成果3の選果・加工施設の運用上、対象とすることについては検討する。ただし、生産性向上の対象とはしない。
	3. ニンニクの優良種子の一般農家からの購入について	1に同じ（現時点では、一般農家からの購入は検討しない）。
	4. INIAドノソ支場の技術者の定期的な技術指導について	INIAドノソ支場の技術者（ニンニク、エンドウ豆関連）の派遣による定期的な技術指導についてはプロジェクトチームで調整する（INIA長官も了解）。あわせて、別途専門家のリクルートを検討する。

	5. 優良種子の農家配布（1回目）に対する資金補助について	
付加価値化（選果・加工施設整備）	6. タイムスケジュール、予算要求方針	どの時期に、どの活動を誰が行うのか、そのための投入等が明記された詳細計画が未策定となっていたが、ミニッツで2012年8月末に各郡プロジェクトチームが中心となって策定することが確認された。 活動予算については、各C/Pで確保すべき予算・人員の詳細や時期につきミニッツで確認した。
	7. 郡による土地及び施設の提供状況	選果・加工施設は、基本的に既存施設の改修で対応する。また、そのための予算は各郡（市）の通常予算から措置する。
	8. 選果・加工施設の規模	
水土保全	9. 展示圃場における作物栽培と水土保全法展示の一体化	作物栽培と水土保全法を基本的に一体化させ、展示する方針とする。
	10. 採用工法について	被覆作物と等高線栽培のみが土壌保全活動として選定されているが、可能な場所では持続的な工法（テラス工法）も組み入れることとする。
次年度契約	11. 次年度プロジェクト側の人員配置計画について	チーム内での方向性の一貫性の確保に向けた総括及び副総括の派遣時期並びに適切な技術指導（栽培、加工、水土保全）実施への人員配置の検討を要請した。
	12. 導入機材・施設整備について	実証の規模等を踏まえた必要資機材の選定・リスト化（コンサルタントが調達）につき指示した。 また、JICA予算による施設整備（INIA施設＜種子保存施設等＞、実証施設）については、優先すべき予算、業務を勘案し、優先順位は低いと判断して、現時点では対応しないこととする。
プロジェクト運営	13. C/P配置	プロジェクト開始前のミニッツ及び内部協定書において合意された各C/P組織からの人員配置及び活動費の確保につき、ミニッツで再確認した。
	14. プロジェクト計画書	6に同じ。活動に係る詳細計画を各郡・市において2012年8月末までに作成予定

2-2-3 PDMの修正

2010年10月のミニッツ、2011年3月のR/D等を踏まえたPDM（Ver.0）では、指標の具体的な数値が設定されていなかったことから、今回のJCCにおいてこの数値設定を中心に見直しのための議論を行い、下記のように合意した。

変更点及びその考え方は以下のとおりである。

項目	Ver.0	Ver.1 (今回修正)	考え方
対象作物	ニンニク、エンドウ豆、紫トウモロコシ	ニンニク、エンドウ豆、紫トウモロコシ、 <u>その他</u>	成果3の付加価値化において、選果・加工施設の稼働率を上げるために黄トウモロコシやコムギ等を追加することも検討。ただし、成果2の生産性向上の対象とはしない。
上位目標の指標	1. 対象地域の貧困率が〇〇%改善する	1. <u>直接受益農家の貧困率が〇〇%改善する。</u>	対象の明確化。具体的な指標数値の設定を引き続き検討（適切な指標がほかにあれば変更も検討）
	2. 啓蒙対象地域の〇〇集落がモデル事業を行う。	2. 啓蒙対象地域の <u>27</u> 集落がモデル事業を行う。	
プロジェクト目標の指標	1 直接受益農家（約500戸）の農業所得が平均〇〇%向上する。	1 直接受益農家（約500戸）の農業所得が <u>対周辺農家所得を平均30%上回る。</u>	生産性向上による30%の単収向上（成果2）と付加価値化による30%の収益率向上で60%以上の所得増が見込まれる。ただし、ベースライン調査結果によると農家所得に占める農業所得は約50%であることから、農家の所得増加は約30%とする。
成果2の指標	2-1 対象作物の単収が平均〇〇%増加する。	2-1 対象作物の単収が平均 <u>30%</u> 増加する。	ベースライン調査及び州農業局統計では、対象5郡のニンニク、エンドウ豆の現在の単収はいずれも全国平均を下回る（紫トウモロコシは統計なし）。それぞれの最も高い郡の単収が全国平均と同水準となるのに必要な増加率30%を目標とする。（ニンニク：7.2t/ha→9.9t、エンドウ豆：2.6t/ha→3.4t/ha）
	2-2 対象作物の収穫物の内、一級品の割合が〇〇%増加する。	2-2 <u>直接受益農家の30%が生産物の品質を改善する。</u>	
成果3の指標	3 生産チェーンを通じて販売された農産物の平均収益が〇〇%増加する。	3 <u>付加価値化により対象産品（原材料重量当たり）の収益性が30%向上する。</u>	カハマルカ市場におけるエンドウ豆の場合、選果したものがしない場合に比べ、約30%高価で取り引きされている。選果・加工等の付加価値化に伴いコストは増加するが、収益性は30%向上すると想定

成果4の指標	4-1 モデル集落の小規模農家の内〇〇%が土壌保全対策を適用する。	4-1 モデル集落の小規模農家の内 <u>50</u> %が土壌保全対策を適用する。	期待値。プロジェクトの進捗にあわせて、適宜見直し
成果5の指標	5-2 啓蒙(スタディツアー等)を受けた啓蒙活動対象者のうち〇〇%以上がモデルに高い関心を示す。	5-2 啓蒙(スタディツアー等)を受けた啓蒙活動対象者のうち <u>50</u> %以上がモデルに高い関心を示す。	期待値。プロジェクトの進捗にあわせて、適宜見直し

第3章 第二年次の活動計画

第二年次の活動方針は以下のとおりとする。なお、各郡（市）の活動に係るより詳細な活動計画は、プロジェクト運営ローカル技術チームがプロジェクト運営中央チーム及び生産者組織とともに、2012年8月末までに策定することとなっている。

（1）全般

＜各郡・市プロジェクト計画の完成＞

10月の次期作付けシーズンの到来の前、2012年8月末までに各郡・市におけるプロジェクト第二年次計画を完成させ、これによりプロジェクト予算を確保する。基本的にこのプロジェクト計画を農民組織の活動計画及びワークプラン（第二年次）とする。なお、このプロジェクト計画の作成は既に開始している。

（2）成果

【成果1】モデル集落において、農民組織の活動実施体制が整備・強化される。

＜農民組織に対する指導・支援の実施＞

この指導・支援は、各成果（活動）についての活動計画作成、計画実施・運営を通じたオン・ザ・ジョブ・トレーニングに基づき実施する。なお、指導・支援は第二年次の期間中、継続的に行う。

【成果2】モデル集落農家の対象作物の農業生産性及び質が向上する。

＜展示圃場の設置と栽培技術の普及＞

- ・次期作付けシーズン到来の前、2012年10月頃までにモデル集落内に展示圃場（栽培技術及び水土保持技術）を設置し、栽培期間を通じた普及活動を行う。
- ・展示栽培の結果等を受け、栽培マニュアルの改訂を行う。

＜優良種子の生産・配布＞

- ・優良種子の生産活動を継続する。エンドウ豆は、2012年7月頃、ニンニクは10～11月頃、紫トウモロコシは2013年頃に登録種子を収穫する予定である。その後、モデル集落内の圃場で保証種子（農家配布用種子）の生産を開始する。2012年5～6月に収穫の紫トウモロコシの基礎種子は過剰になることが予想されるので、余剰種子はINIAの通常販売、あるいは展示圃場に活用する予定である。

【成果3】モデル集落の農民組織による農産物生産チェーンが整備される。

＜加工（付加価値化方策）の実証の実施と選果・加工施設の整備＞

- ・2013年の対象作物の収穫（紫トウモロコシ3月、エンドウ豆5月など）に合わせて選果・加工施設の操業開始ができるよう今後、基本設計、積算、予算措置（各郡・市政府における）、既存施設の改修による施設整備並びに機材導入を行う。あわせて、事業運営（施設操作運営など）に関する指導が可能なNGO等の選定を行う。
- ・施設操作運営に係るマニュアルを作成し、このマニュアルに沿って農民組織に対する指導

を行う。

- ・次の作付期を通じ、新品種導入、収穫後処理を含む加工、協同販売など付加価値化方策に係る実証を行う。また市場開拓、商品開発・プロモーションに係る農民組織への指導を二年次の期間中、継続的に実施する。

【成果4】モデル集落の水土保全が促進される。

＜土壌保全活動の実施＞

- ・本格的な雨季の到来（2012年12月頃）にあわせ、土壌保全活動を開始する。土壌保全・作物技術について技術指導を行う。

＜苗畑の設置と植林＞

- ・本格的な雨季の到来（2012年12月頃）までに苗畑を設置する（苗畑設置場所によっては小規模貯水池の設置が必要）。
- ・2012年12月～2013年5月頃の間には苗生産を開始する（苗生産開始時期は雨季に移植できるよう雨季の開始時期から各樹種の播種、移植までの期間を差し引き逆算する）。苗生産全体を通じ育苗方法の指導を行う。
- ・苗生産開始約6カ月から1年後の2013年12月頃に植林を行う。各樹種の生育に応じた技術指導を行う。

【成果5】啓蒙対象地域の啓蒙対象者において、モデル集落での取り組みへの理解が深化する。（第三年次活動）

（3）その他・一般管理業務

＜JCCの開催＞

- ・2012年8月に第二年次の初回JCCを開催、その後、約6カ月ごとにJCCを開催する。JCCでは進捗を報告するとともに重要課題について検討する。

＜追加資機材の納品・設置＞

- ・必要に応じ追加資機材を納品・設置する。

＜報告書の作成＞

- ・2012年7月頃に業務計画書（第二年次）、8月末にワークプラン（第二年次）を作成、その後約6カ月頃に進捗報告書を作成する。

＜研修の実施＞

- ・2回の研修を実施する。第1回目2013年初頭に日本で、第2回目は2014年末頃にブラジル、コロンビア等第三国での実施を想定している。

第4章 合意事項

上記調査結果を受けて、調査団はペルー側関係機関との協議を通して以下の事項について合意し、ミニッツ（付属資料1及び2）に記載、2012年6月5日に開催されたJCCの場で署名した。

（1）PDMの見直しについて協議、確認（ミニッツの別添4）。

（2）プロジェクト活動の問題のない円滑な実施に向け、実施組織は下記に示す措置を講じることに合意する。

1）本プロジェクトに関する2010年10月21日署名の会議議事録、2011年5月25日署名の内部合意書及びミニッツの別添5（JICA調査団と関連機関代表者間の調整結果）に基づき、各実施機関はプロジェクト実施のための技術要員の配置と予算確保を行う。

2）プロジェクト運営ローカル技術チームは、プロジェクト運営中央チーム及び生産者組織とともに2012年8月末までに第二年次プロジェクト活動計画（2012年8月から2013年7月まで）を最終化する。

3）プロジェクト運営ローカル技術チーム及び関連機関代表者は、各郡・市の経済開発部長または技術者を各郡・市レベルのプロジェクト・リーダーとして任命した。各郡・市プロジェクト・チームはリーダーの指導のもと、活動を実施することとする。ミニッツの別添6参照。

4）JICA供与の資機材と車両はプロジェクト実施のためのみに使用する。関連機関代表者はこれらを安全に保管できる場所を提供するとともに維持管理の責任を持つ。

第5章 団長所感

< 総論 >

2011年7月末に開始した本プロジェクトは、これまで対象地域のベースライン調査、モデル集落の選定、対象作物（エンドウ豆、紫トウモロコシ、ニンニク）に係る優良種子増殖と観察圃場（品種の比較、適応試験のため）の設置並びに農民組織の設立育成などの活動を行ってきている。INIAカハマルカ試験場内にプロジェクト本部事務所、協力対象5郡にはそれぞれプロジェクト分室が設けられ、郡・市政府、州農業局、AGRORURALの技術者からなる現場チームも形成されている。C/P総数は約25名となっているが、人員の入れ替えなどの問題も既に一部生じている。

本運営指導調査期間中、C/P組織やプロジェクトチームとの協議、現場視察などを通してこれまでの活動内容の詳細や課題などを把握した。プロジェクト開始以来この10カ月間、上記のように各種の活動は実施されてきているが、活動方針・計画の不明確さ、実施体制面の脆弱さなどの問題が見受けられたため、それらの改善に向けた協議も行った。その結果、今後本格化する活動の円滑化のためには、栽培面の指導技術力の不足、脆弱な実施体制、共有化された詳細活動計画の作成の遅れなどの問題への早急な対処が必要なことを関係者間で確認した。各問題の詳細と考えられる対策は次のとおりである。

（1）栽培面の指導技術力の不足

専門家チーム内に栽培面の指導をできる人は配置されていない。また、INIAバーニョス・デ・インカ支場にも紫トウモロコシの専門家はいるものの、ほか2作物（エンドウ豆、ニンニク）についての十分な知見を有した技術者は見当たらない。もともとの構想では、エンドウ豆、ニンニクについてはINIAドノソ支場からの技術支援を受けることとなっていたが、これまで1回のみ技術者派遣実績しかない。以上のような問題のため、現在実施中の優良種子の増殖及び今後の農家指導に大きな不安を生む状態となっている。優良種子の増殖・供給と適切な栽培技術の指導を通じた農業生産性の向上は、プロジェクト目標である農家収入増加への前提条件であり、この指導技術力の不足はプロジェクト実施上の致命的な問題といえる。よって早急に、日本人あるいはペルー人栽培技術者のリクルート（専門家チームの一員として）、INIAドノソ支場の野菜技術者の計画的な招聘などの措置を講じる必要がある。

（2）脆弱な実施体制（C/P配置、C/P組織による活動費の支出）

上記したようにC/P総数は約25名に上っているが、フルタイムで任命された者が兼務でプロジェクト活動を行っているなどの問題が散見される。またプロジェクト開始前にミニッツ並びに内部協定書で約束された活動費の確保については、INIAと一部の郡・市政府のように履行している組織がある一方、まだ全くその措置を講じていない組織も見受けられる。この人と活動費の問題はJCCでも協議し、その改善に向けた具体的な措置をミニッツに盛り込んだ。また各郡・市政府の負担で整備することとしていた「農産物の選果・加工施設」については、公共投資のための予算の一つであるSNIPの活用が実質上困難と判明したため、各組織の一般予算を用いた既存施設の改修で対応することが今回確認された。

(3) 共有化された詳細活動計画(年間活動計画)の作成の遅れ

現在までプロジェクト・プロフィールの作成などを含む全体計画の策定は行われているが、どの時期に、どの活動を、誰が(どのC/P組織が)中心となって行うのか、またそのための投入はどう準備するのかを明記したプロジェクト運営上必要不可欠な詳細活動計画が策定されていない。プロジェクト2年目からの本格的な活動開始に向け、2008年8月末までに詳細活動計画を関係組織の力で策定するとミニッツに明記されたが、今後その動向を注視する必要がある。

<各論>

本プロジェクトでは現在、対象作物の生産性の向上、農産物生産チェーンの整備、水土保持という3つの活動に取り組んでいる。今回の調査期間中に関係者との協議で明らかにした各活動の実施方針並びに実施上の留意点は次のとおりである(内容については関係者間で共有化した)。

(1) 対象作物の生産性の向上

優良種子の生産と供給並びに展示圃場を基地とした技術普及により、対象作物の単位収穫量の増加並びに質の向上をめざすこととなっている。優良種子の生産は、できるだけ早期にモデル集落の全受益農家に供給できるよう計画的な栽培に取り組む必要がある。一方の展示圃場は、適切な管理運営ができるようその箇所数を絞り込むとともに土壤保全と栽培技術展示の一体化に心掛けることが望まれる(プロジェクトの原案では設置箇所数がかなりの数に上っていた)。また、展示圃場を活用した農業普及に際しては、農民学校などの手法を用いて圃場準備、播種、肥培管理、収穫、収穫後処理など一連の技術指導を行うことができるよう、今後、研修教材作成や内部研修などによる講師陣育成に努める必要がある。

(2) 農産物生産チェーンの整備(生産 選果・加工 出荷)

選果・加工施設の整備は既存施設の改修による小規模な施設整備で対応する基本方針が関係者間で確認された。2013年の対象作物の収穫(紫トウモロコシは3月、エンドウ豆は5月など)にあわせて施設操業開始ができるよう、今後、基本設計、積算、予算措置(各郡・市政府)改修並びに加工機材の導入などを行う予定となっている。なお、施設の適切な管理運営に向け農家側のコア・チーム(できるだけ若い人を中心とした)を形成するとともにプロジェクト側でも指導体制を整備し、農民組織に対するオン・ザ・ジョブトレーニングを適切に行えるよう準備する必要がある。なお施設活用に関しては、当面は選果と共同出荷を主に行的、農産加工はトライアルの観点から徐々に取り組んでいく計画となっている。

(3) 水土保持

持続的な農業生産基盤の確立をめざした「水土保持」は、土壤保全工法の普及と植林の推進を通して行う。

土壤保全は傾斜度に応じた保全工法(テラス、等高線栽培など)の適用促進をめざし、展示圃場の活用、啓蒙活動、農家に対する技術普及活動に今後取り組むことが望まれる。なおプロジェクトとしては、それらの活動を適切に実施できるよう内部研修(州郡市政府技術者への技術指導)を実施するとともに、農家向けの簡単な技術マニュアルの作成にも努める必

要がある。

植林はまず対象集落における全体計画を策定し、その計画に沿った植林が実施できるよう既存苗畑（AGRORURALなどが所有する）の活用や集落苗畑の新設に取り組むことが望まれる。

付 属 資 料

- 1．本調査で署名されたミニッツ（スペイン語）
- 2．本調査で署名されたミニッツ（日本語訳）
- 3．2012年6月5日開催合同調整委員会（JCC）資料

1. 本調査で署名されたミニッツ（スペイン語）

MINUTA DE REUNIÓN
ENTRE
LA AGENCIA DE COOPERACION INTERNACIONAL DEL JAPÓN
Y
LAS AUTORIDADES INVOLUCRADAS DEL GOBIERNO
DE LA REPUBLICA DEL PERÚ
SOBRE LA COOPERACIÓN TÉCNICA JAPONESA
PARA EL PROYECTO “INCREMENTO DE LOS INGRESOS ECONÓMICOS DE LOS
PEQUEÑOS PRODUCTORES AGRARIOS EN LA REGIÓN DE CAJAMARCA”

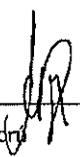
La Misión de Orientación y Consulta (en adelante, La Misión) de la Agencia de Cooperación Internacional de Japón (en adelante JICA), del Proyecto “Incremento de los Ingresos Económicos de los Pequeños Productores Agrarios en la Región Cajamarca” en la República del Perú (en adelante, el Proyecto) fue enviada a la República del Perú (en adelante, Perú) durante el periodo desde 28 de mayo a 5 de junio de 2012, para verificar el avance del Proyecto y realizar las recomendaciones pertinentes para la implementación exitosa del mismo, bajo el liderazgo del Dr. Narihide Nagayo.

Durante su estadía en el Perú, La Misión llevó a cabo estudios de campo así como entrevistas con diversas autoridades y personas involucradas en el Proyecto, además participó en la III Reunión del Comité de Coordinación Conjunta. Como resultado de esta reunión, La Misión y autoridades involucradas han acordado los temas que se mencionan en la presente Minuta.

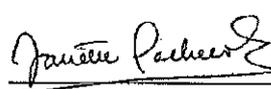
Cajamarca, 5 de Junio de 2012



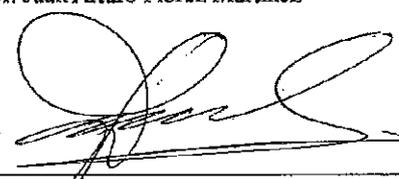
Agencia de Cooperación Internacional de Japón
Líder del Misión de Orientación y Consulta
Dr. Narihide Nagayo



República del Perú
Jefe de Instituto Nacional de Innovación Agraria
Dr. Juan Arturo Flórez Martínez



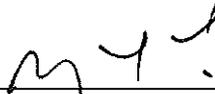
República del Perú
Directora Ejecutiva de AGRO RURAL
Eco. Reneé Janette Pacheco Santos



República del Perú
Presidente Regional de Cajamarca
Prof. Gregorio Santos Guerrero



República del Perú
Alcalde Provincial de Cajabamba
Prof. Wilson Elmer Pesantes Alayo



República del Perú
Alcalde Provincial de Cajamarca
Cr.(r). Ramiro A. Bardales Vigo



República del Perú
Alcalde Distrital de Namora,
Provincia de Cajamarca
Sr. Segundo Carlos Quiroz Romero



República del Perú
Alcalde Distrital de Ichocán,
Provincia de San Marcos
Bach. Félix W. Castañeda Izquierdo



República del Perú
Alcalde Provincial de San Pablo
Ing. Manuel Jesús Castrejón Terán



República del Perú
Alcalde Provincial de San Miguel
Ing. Guillermo Espinoza Rodas

Minuta/Acta de Reunión

1. Discusión y confirmación acerca de la revisión del MDP (Matriz de Diseño del Proyecto). Ver. Anexo-4.
2. Para que las actividades del Proyecto puedan desarrollarse sin problemas, las instituciones ejecutoras se comprometen a tomar las siguientes medidas.
 - a) En base a la Minuta de Reuniones firmada el día 21 de Octubre de 2010 del proyecto, Acta de Compromisos firmada el 25 de Mayo del 2011, y Anexo-5 (resultado de coordinación entre Misión de JICA y Autoridades Involucradas de cada institución ejecutora quienes proveerán personal técnico y presupuesto para la implementación de las actividades del Proyecto.
 - b) Los Equipos Técnicos Locales con el Equipo Técnico Central y las organizaciones de productores, deben finalizar el Plan de Actividad del segundo año del Proyecto (Agosto 2012 a Julio 2013), hasta fines de agosto de 2012.
 - c) Los Equipos Técnicos Locales conjuntamente con Autoridades Involucradas han designado a los Gerentes de Desarrollo Económico u otro personal como líderes del Proyecto a nivel provincial y/o distrital. Los Equipos Técnicos Locales deberán ejecutar las actividades conforme a las orientaciones del líder. Ver. Anexo-6.
 - d) Los equipos, materiales y vehículos donados por JICA serán asignados para uso exclusivo en la implementación del Proyecto. Las Autoridades Involucradas asignarán un local seguro para almacenarlos y se harán cargo del mantenimiento de los mismos.

Anexos

1. Resumen del Proyecto
2. Avance de las Actividades del Proyecto
3. Plan de Actividades para la Próxima Etapa del Proyecto
4. MDP del Proyecto (Versión 1)
5. Compromisos y Acuerdos de las Autoridades Involucradas del Proyecto
6. Directorio de Líderes de los Equipos Técnicos Locales del Proyecto

Resumen del Proyecto

Antecedentes del Proyecto

La economía peruana presenta un desempeño estable a nivel macroeconómico en los últimos años; sin embargo, el coeficiente de GINI de 48.9 es bastante elevado, lo que muestra una gran desigualdad en la distribución de riqueza. El territorio peruano presenta 3 zonas geográficas muy diferenciadas, Costa, Sierra y Selva, siendo la Sierra la que presenta el índice de pobreza más elevado, de 67.6%; así es necesario tratar el tema de lucha contra la pobreza en esta zona urgentemente. El gobierno peruano viene promoviendo diversas medidas dirigidas a la solución de este tema, como la "Ley Sierra Exportadora" del 2006, que tiene por objeto reactivar la economía local y mitigar la pobreza, a través de la reactivación de las actividades económicas agropecuarias y forestales en la zona de la Sierra.

La región Cajamarca, área objeto de este Proyecto, está ubicada en la Sierra, con un índice de pobreza del orden de 64,5%. Más de la mitad de la población se dedica a la actividad agropecuaria y al cultivo de productos (maíz, papa, trigo, etc.) que son realizados de forma tradicional, mayormente en condiciones de secano, para el auto-consumo y venta en mercados cercanos, por lo que las familias prácticamente no perciben ingresos por la agricultura. El área de cultivo promedio de cada familia es bastante pequeña, de 0.5-3.0 ha, por lo que se requiere de un nuevo sistema de gestión agrícola, como la introducción de nuevos productos, que permita a los productores obtener ingresos más elevados dentro de un área de cultivo bastante reducida.

Con estos antecedentes fue que se solicitó a Japón la ejecución de un proyecto de cooperación técnica, el Proyecto "Incremento de los Ingresos Económicos de los Pequeños Productores Agrarios en la Región de Cajamarca (IEPARC)" (en adelante, el "Proyecto"), para estructurar un sistema de gestión agrícola centrado en productos monetizables de alta productividad, elevar los ingresos económicos de los productores, y de esta manera mitigar la pobreza en la Región. Para verificar la pertinencia y necesidad de la realización de este proyecto, la JICA llevó a cabo un Estudio para la Formulación Detallada del Proyecto en octubre del 2010. Como resultado, se acordó el marco del proyecto y el 10 de Marzo de 2011 se firmó el Memorando de Entendimiento.

Objetivos, Meta y Resultados Esperados

Los objetivos superiores de este Proyecto así como sus metas y resultados esperados se indican a continuación.

Objetivos Superiores, Meta y Resultados

[Objetivos Superiores] <ul style="list-style-type: none">- Mejorar las condiciones de vida de los pequeños productores del área objeto.- Utilizar el modelo del proyecto para la sensibilización en otras áreas fuera del área del Proyecto.
[Meta] <ul style="list-style-type: none">- Estructuración de un modelo dirigido al mejoramiento de las condiciones de vida de pequeños productores en el área objeto.
[Resultados] <ul style="list-style-type: none">- Resultado 1: Establecimiento y fortalecimiento del sistema de implementación de actividades de las organizaciones de productores en

las comunidades modelo:
Resultado 2
Mejoramiento de la productividad y calidad de los cultivos objeto de los productores de las comunidades modelo
Resultado 3
Establecimiento de la cadena productiva de productos agrícolas por parte de las organizaciones de productores de las comunidades modelo
Resultado 4
Promoción de la conservación de suelo y agua en las comunidades modelo
Resultado 5
Comprensión acerca del sistema en las comunidades modelo por parte de los productores de las áreas de sensibilización

Este Proyecto también busca lograr el efecto multiplicador de desarrollo de otros Proyectos de Cooperación Técnica Reembolsables de JICA en la región Cajamarca, a saber, el Proyecto de Conservación Ambiental y Mitigación de la Pobreza en la Sierra (I), (II y (III) ya finalizado, y el Programa de Pequeña y Mediana Infraestructura de Riego en la Sierra, a ser ejecutado.

Actividades del Proyecto

Las actividades a ser llevadas a cabo para lograr los resultados 1 a 5, especificados anteriormente son las siguientes.

Contenido de actividades del Proyecto

【Actividades relacionadas con el Resultado 1】

- 1-1: Selección de una comunidad modelo en cada provincia, según los criterios de selección de comunidades modelo, establecidos al inicio del Proyecto, para la respectiva firma del convenio.
- 1-2: Realización de un Estudio de Línea de Base en las comunidades modelo
- 1-3: Explicación y difusión del contenido de las actividades para los productores de las comunidades modelo
- 1-4: Selección de una organización de productores apropiada al contenido de cada actividad
- 1-5: Orientación y apoyo a la organización de productores, relacionados con la gestión y formulación de plan de actividades de la organización
- 1-6: Realización del Estudio de Base final en las comunidades modelos

【Actividades relacionadas con el Resultado 2】

- 2-1: El INIA irá producir semillas mejoradas de los productos seleccionados para ser suministradas a los pequeños productores de las comunidades modelo
- 2-2: Instalación de una finca demostrativa en cada comunidad modelo
- 2-3: A través de visitas de orientación a las fincas demostrativas y a los productores de las comunidades modelo, será realizada la difusión de técnicas de cultivo, como la siembra, aplicación de abono y manejo de suelo, medidas contra plagas, etc.
- 2-4: Preparación del manual de técnicas de cultivo

【Actividades relacionadas con el Resultado 3】

- 3-1: Preparación del plan de conformación de cadenas productivas de productos agrícolas
- 3-2: Instalación de planta de procesamiento de productos agrícolas en las 5 provincias objeto
- 3-3: Orientación relacionada con el manejo y operación de la planta de procesamiento para cada asociación de productores
- 3-4: Orientación y apoyo para las organizaciones de productores sobre la apertura de mercados y venta de productos agro procesados

【Actividades relacionadas con el Resultado 4】

- 4-1: Orientación y apoyo para promover la conservación de suelo por parte de los pequeños productores del área objeto
- 4-2: Orientación y apoyo a las organizaciones de productores para la instalación y manejo de fincas para el cultivo de plantones para reforestación

[Actividades relacionadas con el Resultado 5]

- 5-1: Selección de áreas objeto para la sensibilización del sistema de las comunidades modelo
- 5-2: Elaboración del plan de sensibilización, una vez evaluado el método y contenido de sensibilización apropiado para el alcance de cada área objeto.
- 5-3: Realización de actividades de sensibilización a los beneficiarios de las áreas objeto, conforme el plan.

Fuente : IEPARC

Productos Objeto

Los cultivos objeto de este Proyecto son maíz morado, arveja y ajo que son productos bastante cultivados en la región Cajamarca. Sin embargo, se evaluará la inclusión de otros cultivos que puedan contribuir al logro del objetivo principal, en caso existan.

Avance de Actividades del Proyecto

Contenido de la Actividad		Situación de Avance	
General	General	- El plan de las provincias está siendo preparado y la primera propuesta debe estar finalizada durante el mes de junio.	—
Actividad 1	El sistema de implementación de actividades de las organizaciones de productores será establecida/fortalecida	- La conformación de las organizaciones de productores en las 5 provincias, se debe finalizar. Actualmente, se está recopilando información básica, como el área de cultivo de cada productor para identificar la situación existente de los productores participantes (área de producción efectiva, etc).	Ligeramente retrasado
Actividad 2	Mejoramiento de la productividad y calidad de los productos agrícolas objeto		
	Finca demostrativa	- Preparación de la lista larga de técnicas demostrativas en la finca, evaluación y finalización de los trabajos en cada provincia. - Establecimiento de los estándares básicos para la finca demostrativa, selección de áreas candidatas	Prácticamente conforme planificado Prácticamente conforme planificado
		- Finalización de instalación de las fincas demostrativas provisionales e inicio de actividades en cada provincia y municipio. Se están implementando cerca de 30 actividades como los ensayos con la utilización de abono líquido de la empresa AJINOMOTO "AJIFOL", cultivo experimental de la nueva variedad de maíz morado (INIA601), cultivo experimental de nueva variedad de arveja a ser introducida.	Adelantado
	Producción de semillas mejoradas	- En enero de 2012 la Estación Experimental Donoso del INIA entregó la semilla básica de arveja y en marzo, la E.E. Baños del Inca del INIA inició la producción de semilla certificada. Se espera que esta puedan ser cosechada en 4 meses después, en julio. - En 2011 las semillas básicas fueron sembradas en la E.E. Baños del Inca del INIA y la cosecha debe terminar en mayo-junio de 2012. Actualmente, están pasando por el proceso de secado para la producción de semillas certificadas.	Prácticamente conforme planificado Prácticamente conforme planificado
		- En marzo de 2012 la E.E. Donoso del INIA entregó la semilla básica de ajo, (segunda generación de semilla) y en abril se inició la producción de semillas certificadas (tercera generación) en la E.E. Baños del Inca. Como allí no se pudo asegurar una finca con el área requerida, las semillas certificadas fueron sembradas además de Baños del Inca, en la finca de la municipalidad de Ichocán y en la finca de la municipalidad dentro de la región Amazonas. Actualmente, se está buscando asegurar fincas adicionales.	Ligeramente retrasado
		- El manual de conservación de suelo y agua para los 3 productos objeto está siendo preparado.	Ligeramente retrasado
Actividad 3	Establecimiento de la cadena productiva de productos agrícolas por las organizaciones de productores	- Los estudios de las provincias prácticamente está finalizado y se preparó la lista larga de propuestas para productos con valor agregado incluido en procesamiento, y actualmente se están realizando trabajos de evaluación, finalización y selección de propuestas de las provincias y municipios.	Ligeramente retrasado
Actividad 4	Promoción de la conservación de suelo y agua		



Contenido de la Actividad		Situación de Avance	
	Conservación de suelo	<ul style="list-style-type: none"> - Se ha seleccionado como técnicas de conservación el uso de abono verde y la agricultura de contorno que no requieren de costos ni manos de obra elevados. - Se preparó la lista larga de variedades de abono verde y actualmente se están realizando trabajos de evaluación, finalización y selección en las provincias y municipios. Para contribuir al mejoramiento de las condiciones de vida de los productores, básicamente se ha seleccionado el pasto como producto para el abono verde. 	Adelantado
	Reforestación	<ul style="list-style-type: none"> - Se preparó la lista larga de variedades de árboles y actualmente se están realizando trabajos de evaluación, finalización y selección en las provincias. Para contribuir al mejoramiento de las condiciones de vida de los productores, además del pino y eucalipto usualmente utilizados, se ha seleccionado la tara y la mora que tienen un valor de mercado elevado. 	Adelantado
Actividad 5	Sensibilización sobre el sistema de las comunidades modelo	<ul style="list-style-type: none"> - (Todavía no se inicia: Actividad para el tercer año) 	Conforme planificado
Otras	Confección de material de promoción del proyecto	<ul style="list-style-type: none"> - Folleto y Pagina WEB del Proyecto en preparación, - Material promocional del Proyecto está listo (logotipo, gorra, casaca). 	Prácticamente conforme planificado
	Suministro de equipos y vehículos (trabajo adicional)	<ul style="list-style-type: none"> - Todo ha sido adquirido con excepción de las motocicletas 	Retrasado
	Adquisición de equipos y construcción adicional a ser suministrado	<ul style="list-style-type: none"> - Las obras para la reparación de la oficina, estacionamiento y la instalación del motor trifásico están en marcha. 3empresas han entregado el presupuesto para los equipos. 	Prácticamente conforme planificado

Plan de Actividades para la Próxima Etapa del Proyecto

[General]
<p>1. Finalización del plan de Proyecto de las provincias.</p> <ul style="list-style-type: none"> - El plan del proyecto en las provincias se deberá finalizar hasta <u>fin de agosto de 2012</u>. Con esto será posible asegurar el presupuesto del proyecto. A principio, el plan de proyecto será considerado el plan de actividades y el plan de trabajo (segunda fase) de las organizaciones de productores. La elaboración del plan del proyecto de las provincias ha empezado.
[Actividades relativas al Resultado 1: Establecimiento y fortalecimiento del sistema de implementación de actividades de las organizaciones de productores en las comunidades modelo]
<p>1. Orientación y apoyo a las organizaciones de productores</p> <ul style="list-style-type: none"> - La orientación y apoyo brindados serán básicamente a través de la capacitación en el trabajo, durante la elaboración del plan de actividades, plan de implementación y gestión para cada resultado (actividad). La orientación y apoyo se dará de forma continua, durante la segunda fase.
[Actividades relativas al Resultado 2: Mejoramiento de la productividad y calidad de los cultivos objeto de los productores de las comunidades modelo]
<p>1. Instalación de la finca demostrativa y difusión de técnicas de cultivo</p> <ul style="list-style-type: none"> - Antes de la llegada de la próxima estación de siembra, las fincas demostrativas deben estar instaladas dentro de las comunidades modelo en <u>octubre de 2012</u>, (técnicas de cultivo y técnicas de conservación de suelo y agua), para realizar actividades de sensibilización durante ese periodo. - Revisión del manual de cultivo aprovechando entre otros, los resultados de la finca demostrativa. <p>2. Producción y distribución de semillas mejoradas</p> <ul style="list-style-type: none"> - Se dará seguimiento a la actividad de producción de semillas mejoradas. Se espera cosechar semillas certificadas de arveja, ajo y maíz morado aproximadamente en <u>julio, octubre-noviembre de 2012 y en 2013</u>, respectivamente. Posteriormente, se dará inicio a la producción de semillas certificadas en las fincas de las comunidades modelo (semillas para ser distribuidas a los productores). Con relación al maíz morado, debe haber un excedente de producción las semillas básicas cosechadas en mayo-junio de 2012. El INIA piensa comercializar este excedente en el mercado regular o utilizar en las fincas demostrativas.
[Actividades relativas al Resultado 3: Establecimiento de la cadena productiva de productos agrícolas por parte de las organizaciones de productores de las comunidades modelo]
<p>1. Realización de agro procesamiento (medidas para agregar valor a los productos)</p> <ul style="list-style-type: none"> - Durante la próxima época de siembra (<u>noviembre de 2012 a septiembre de 2013</u>) serán realizadas las actividades sobre medidas para agregar valor tal como la introducción de nuevas variedades, tratamiento post-cosecha, agro procesamiento, ventas conjunta, etc. incluyendo preparación de la planta para estas actividades. - Será preparará el manual de operación de la planta, y la orientación será realizada de acuerdo con este manual. - Durante la segunda fase se realizará la orientación relacionada con apertura de mercados, desarrollo y promoción de productos que será implementada de forma continua.
[Actividades relativas al Resultado 4: Conservación de suelo y agua en las comunidades modelo]
<p>1. Implementación de actividades de conservación de suelo</p> <ul style="list-style-type: none"> - Las actividades se iniciaran juntamente con la llegada de la estación de lluvias (<u>Octubre de 2012</u>). Se irá brindar orientación técnica sobre técnicas y cultivos para la conservación de suelos. <p>2. Instalación de finca para plantones y reforestación</p> <ul style="list-style-type: none"> - La instalación de las fincas de los plantones será iniciada juntamente con la llegada de la estación de lluvias (<u>Octubre de 2012</u>). (Conforme el local de la finca, será necesario instalar un pequeño tanque para almacenamiento de agua). - Durante el periodo de diciembre de 2012 a mayo de 2013 se dará inicio a la producción de plantones (la época del inicio de la producción de plantones está calculada considerando desde el almácigo hasta el trasplante, en el inicio del periodo de lluvias). Se bridará orientación sobre el método de cultivo de plantones durante todo el proceso de producción de plantones. - La reforestación será realizada después de 6 meses a un año desde el inicio de la producción de plantones, <u>aproximadamente en diciembre de 2012</u>. Se dará orientación técnica conforme el tipo de vegetación a ser cultivada.
[Actividades relativas al Resultado 5: Comprensión acerca del sistema en las comunidades modelo por parte de los productores de las áreas de sensibilización]
(Actividad a partir del tercer año)
[Otros y Trabajos administrativos en general]
<p>1. Realización de Reuniones del Comité de Coordinación Conjunta (CCC)</p> <ul style="list-style-type: none"> - En agosto de 2012 será realizada la primera reunión del Comité correspondiente a la segunda fase. Durante la CCC serán presentados los avances del Proyecto, así como la evaluación de los principales temas. <p>2. Suministro e instalación de equipos adicionales</p> <ul style="list-style-type: none"> - Los equipos adicionales serán suministrados e instalados de acuerdo con la necesidad. <p>3. Preparación de Informe</p> <ul style="list-style-type: none"> - Aproximadamente en julio de 2012 será preparado el plan de actividades (Segunda fase), el plan do trabajo (segunda fase) aproximadamente en agosto y el Informe de Avance será elaborado 6 meses después. <p>4. Realización de capacitación</p> <ul style="list-style-type: none"> - Serán realizadas dos capacitaciones. La primera será realizado en 2013 en Japón (tentativo) y la segunda está planeada para ser realizada en el final de 2014 en otros países, entre los cuales Brasil y Colombia etc..

MDP

Versión 1 06 Junio 2012

“Incremento de los Ingresos Económicos de los Pequeños Productores Agrarios en la Región Cajamarca” de la República del Perú

- Período de Proyecto : Desde 31 de Julio 2011 hasta 30 de Julio 2016 (60 meses)
- Área del Proyecto : Provincias de Cajamarca, Cajabamba, San Miguel, San Pablo y Distrito de Ichocán (San Marcos).
- Área Objeto de Concienización : Las otras comunidades de area del proyecto, las otras provincias de la Región de Cajamarca y otras ocho Regiones (Amazonas, Ancash, Ayacucho, Huancavelica, Huánuco, Junín, La Libertad y Piura)
- Beneficiarios directos : Aprox. 500 familias de pequeños productores agrarios de los comunidades modelos seleccionados desde área del Proyecto (100 por comunidad modelo)
- Beneficiarios indirectos : Pequeños productores agrarios etc. en el área objeto de concienización que se puede adaptar actividades en las comunidades modelos
- Instituciones ejecutoras : Instituto Nacional de Innovación Agraria (INIA), Programa de Desarrollo Productivo Agrario Rural (AGRORURAL), Gobierno Regional de Cajamarca, y las Municipalidades provinciales de Cajabamba, Cajamarca, San Miguel, San Pablo y Municipalidad Distrital de Ichocán (San Marcos)
- Productos objeto : Ajo, Arveja, Maíz morado y otros cultivos

Resumen del Proyecto	Indicadores	Fuentes de Información	Supuestos (Condiciones Externas)
<p>[Meta Superior]</p> <p>1. Se mejoran los ingresos de pequeños productores del área del proyecto.</p> <p>2. Se aprovecha el modelo en el área objeto de concienización.</p>	<p>((Después de 3 años de fin del Proyecto))</p> <p>1. Se contribuirá reducir nivel de pobreza en ___ % de los productores beneficiarios directos</p> <p>2. Se realizaran algunas de las actividades del modelo en 27 caseríos del área objeto de concienización</p>	<p>1. Encuestas a los beneficiarios</p> <p>2. Encuestas a los beneficiarios</p>	
<p>[Objeto del Proyecto]</p> <p>Se crea un modelo para mejorar los ingresos de pequeños productores en el área del Proyecto.</p>	<p>1. Ingreso de los productores beneficiarios será 30 % más alto que ingreso de los productores de zona cercana.</p> <p>2. Se sistematizan los resultados de las comunidades modelo y se resume en un documento.</p>	<p>1. Resultados del estudio línea base y de línea final del Proyecto.</p> <p>2. Documentos sobre el modelo</p>	<p>1. Las instituciones ejecutoras continúan los servicios de promoción agraria aprovechando los resultados del modelo.</p> <p>2. No ocurren fenómenos anormales como los climatológicos ni plagas o enfermedades imprevistas en el área objeto y el área de concienización.</p> <p>3. Se ejecuta el proyecto “Proyecto de pequeña y mediana infraestructura de riego en la sierra”.</p>
<p>[Resultado]</p> <p>1. Se establece y fortalece la estructura de ejecución para las actividades de las organizaciones de productores en las comunidades modelo.</p>	<p>1-1 Se establece las organizaciones de los productores adecuadas en cada comunidad modelo.</p> <p>1-2 Las organizaciones de los productores preparan Plan Anual de Actividades y Informan resultado de actividades</p> <p>1-3 Las organizaciones de productores realizan actividades conjuntas al menos 1 vez al mes.</p>	<p>1-1 Informe de Avance del Proyecto, Estatuto de las organizaciones de los productores</p> <p>1-2 Archivo de las organizaciones de los productores (acta de reunión etc.).</p> <p>1-3 Archivo de las organizaciones de los productores (acta de reunión etc.).</p>	<p>1. No hay gran caída de precios de los cultivos objeto.</p>

<p>2. Se mejora la productividad y la calidad agrícola de los cultivos objeto de los productores de las comunidades modelo.</p> <p>3. Se establece la cadena productiva de productos agrícolas por parte de las organizaciones de productores de las comunidades modelo.</p> <p>4. Se promueve la conservación de suelo y agua de las comunidades modelo.</p> <p>5. Se profundiza el entendimiento de las actividades del proyecto para las personas interesadas como productores de las comunidades modelo en el área objeto de concientización.</p>	<p>2-1 Se incrementa el rendimiento de beneficiarios directos en las comunidades objeto en 30 %</p> <p>2-2 30% de productores beneficiarios mejoran calidad de los productos</p> <p>3. Se incrementa la rentabilidad de los productos objetos en 30 % (rentabilidad / kg) por valor agregado</p> <p>4-1. El 50 % de beneficiarios directos de las comunidades modelo aplican las practicas de conservación de suelo</p> <p>4-2. Se elabora y ejecuta el plan de plantación forestal en cada comunidad modelo</p> <p>5-1. En todas áreas de concientización, se elabora y ejecuta plan de concientización</p> <p>5-2. Dentro de participantes en la concientización, 50% de participantes manifiestan alto interés en el modelo.</p>	<p>2-1 Resultados del estudio línea base y de línea final del Proyecto</p> <p>2-2 Resultados del estudio línea base y de línea final del Proyecto</p> <p>3. Resultados del estudio línea base y de línea final del Proyecto</p> <p>4-1 Resultados del estudio línea base y de línea final del Proyecto</p> <p>4-2 Informe de Avance del Proyecto</p> <p>5-1 Informe de Avance del Proyecto</p> <p>5-2 Encuesta</p>	
<p>[Actividades]</p> <p>1-1 Se selecciona una comunidad modelo por provincia en base a los criterios elaborados despues del inicio del proyecto para su selección y se establecen convenios.</p> <p>1-2 Se ejecuta el estudio de línea base en las comunidades modelo.</p> <p>1-3 Se explica y sensibiliza el contenido de las actividades del Proyecto a los productores de las comunidades modelo.</p> <p>1-4 Se establecen organizaciones de productores adecuadas para las actividades.</p> <p>1-5 Se orienta y asiste a las organizaciones de productores sobre su gestión y la elaboración del plan de actividad.</p> <p>1-6 Se ejecuta el estudio de línea final en las comunidades modelo.</p> <p>2-1 Se producen semillas mejoradas de los cultivos objeto en el INIA y se los suministra a los pequeños productores de las comunidades modelo.</p> <p>2-2 Se establece la parcela demostrativa / observacion en dentro y area cercana de la comunidad modelo y por cada provincia.</p> <p>2-3 Se difunden las técnicas del proceso productivo de cada cultivo para la siembra, fertilización, manejo de suelo y manejo de plagas, mediante el aprovechamiento de la parcela demostrativa y la visita de instrucción para los productores de comunidad modelo.</p> <p>2-4 Se elabora el manual de las técnicas del proceso productivo de cada cultivo.</p> <p>3-1. Se elabora el plan para establecer la cadena productiva de productos agrícolas.</p> <p>3-2. Se construyen plantas para valor agregado (selección, procesamiento etc.) primario y agroindustrial de productos agrícolas en las cinco provincias.</p> <p>3-3. Se orienta a cada organización de productores sobre la administración y operación de la planta mencionada en 3-2</p> <p>3-4. Se orienta y asiste a las organizaciones de productores sobre la explotación de mercados y ventas para los productos valor agregado.</p> <p>4-1. Se orienta el manejo de suelo a pequeños productores del área del Proyecto y</p>	<p>[Insumo]</p> <p><Parte Japonesa></p> <p>1. Expertos Japoneses :</p> <p>1) Jefe (Asesor Principal) / Concientización</p> <p>2) Sub jefe / Procesamientos de Productos agrícolas/Distribución</p> <p>3) Difusión de técnicas agrícolas/Organización de productores</p> <p>4) Conservación de Suelo y Agua</p> <p>5) Procesamientos de productos agrícolas/Distribución</p> <p>6) Coordinador / Asistente de Difusión de modelo de asistencia para el desarrollo.</p> <p>7) Experto de Corto Plazo</p> <p>2. Capacitación del personal contraparte (En Japón y terceros países, etc.</p> <p>3. Provisión de Equipos y materiales (Equipos, vehículos, etc.)</p> <p>4. Fondos de consolidación de actividades en el exterior (para gastos de trabajo local)</p> <p>Además de lo arriba mencionado, se llevarán a cabo la evaluación intermedia y la final en el año medio y el último año del Proyecto, respectivamente.</p> <p>El Proyecto va monitoreando oportunamente cada</p>	<p><Parte Parana></p> <p>1. Asignación del Personal</p> <p>2. Instalaciones (Edificios, parcelas demostrativas, oficina, espacio para almacenar e instalar equipos, y otros espacios necesarios para la ejecución del Proyecto)</p> <p>3. Instalaciones eléctricas, de agua y comunicaciones.</p> <p>4. Costos de operación (Gastos de electricidad, agua, comunicaciones, combustible, costo del personal y de sus viajes, incluyendo los fondos para las actividades como estudio y concientización).</p> <p>5. Otros</p>	<p>1. No ocurren fenómenos anormales como los climatológicos ni plagas o enfermedades imprevistas en las comunidades modelo.</p> <p>(Precondición)</p> <p>1. La situación económica, especialmente la seguridad ciudadana en el área objeto y el área de concientización es estable.</p> <p>2. Se realizan insumos requeridos para el proyecto que se mencionan en Minuta de Discusión</p>

Handwritten notes and signatures on the left margin of the table.

<p>se les asiste en su implementación.</p>	<p>una de las actividades.</p>		
<p>4-2. Se orienta y asiste a las organizaciones de productores sobre el establecimiento y administración de viveros y la planificación forestal.</p>			
<p>5-1. Se seleccionan las áreas para difundir los esfuerzos desplegados en las comunidades modelo.</p>			
<p>5-2. Se elabora el plan de concientización tras estudiar las personas interesadas como productores, el método, y el contenido de la concientización, en el área objeto de concientización.</p>			
<p>5-3. Se realice actividad de concientización según el plan elaborado.</p>			

Handwritten notes and signatures on the left margin of the page.

Compromisos y Acuerdos de las Autoridades Involucradas en el Proyecto

Gobierno Regional de Cajamarca

Alcance del Presupuesto y Personal	<ul style="list-style-type: none"> - Designación de un coordinador institucional a tiempo parcial en 2012, y a partir de 2013 a tiempo completo. - Designación de 5 personal técnico a tiempo parcial en 2012, y a partir de 2013 a tiempo completo. - En el 2012, el personal del proyecto a tiempo parcial deberá dedicarse a las actividades del Proyecto al menos dos días a la semana. - Designación del presupuesto para las actividades del Proyecto y cofinanciamiento necesario para la rehabilitación de infraestructura para agro procesamiento en cada provincia y/o distrito.
Tipo de Presupuesto	- Gasto Corriente
Presupuesto del año fiscal 2012	- Se asegurará presupuesto como actividad normal
Procedimiento necesario para el presupuesto	- Elaboración y presentación del Perfil del Proyecto utilizando insumo del Equipo Técnico del Proyecto.
Fecha límite de la presentación de perfil del proyecto para el año fiscal 2013	- 30 de octubre del 2012 a la Gerencia de Desarrollo Económico
Fecha del inicio de la utilización del Presupuesto del año fiscal 2013	- Gastos corrientes 01 de enero del 2013 Inversión 01 de abril del 2013

Municipalidad Provincial de Cajamarca

Alcance del Presupuesto y Personal	- Designación del personal a tiempo completo del Gobierno Provincial de Cajamarca (Continuación de contrato existente)
Tipo de Presupuesto	- Gasto Corriente
Procedimiento necesario para el Presupuesto	- Elaboración y presentación del Perfil de la actividad; conjuntamente con Namora; utilizando insumo del proyecto.
Presupuesto del año fiscal 2012	- Se asegurará presupuesto como actividad normal
Fecha límite de la presentación de perfil de la actividad para presupuesto del año fiscal 2012	- Hasta El día 30 de junio, 2012 a la Gerencia de Desarrollo Económico quien presentara a las áreas correspondientes, para su trámite y aprobación.
Fecha límite de la presentación de presupuesto del año fiscal 2013	- El día 30 de junio, 2012
Fecha del inicio de la utilización del Presupuesto	- Después de la aprobación presupuestal del Perfil (si se aprueba en el año fiscal 2012, se podrá utilizar en mismo año).
Otro	- El distrito de Namora ha sido seleccionado por el Equipo Técnico Local como comunidad Modelo, por cumplir con criterios de selección, como: Presencia de Organizaciones; Su grado de fortaleza y de actividades; presencia de Líderes comunitarios que promueven el

[Handwritten marks]

	<p>desarrollo de la Comunidad; accesibilidad que facilite la comercialización y la frecuente visita de los técnicos involucrados.</p> <ul style="list-style-type: none"> - Se adjuntará cuadro con los compromisos de cada institución ejecutora valorizados y en el caso de JICA solamente los equipos valorizados para el Perfil. - Una vez aprobado el perfil se firmara los Convenios y/o Actas correspondientes, entre todas las instituciones ejecutoras (a excepción de JICA); para la ejecución del mismo. - A partir de la fecha de aprobación del perfil, toda la donación de JICA debe hacerse a través de la Municipalidad Provincial Cajamarca a Muunicipalidad Distrital de Namora.
--	--

Municipalidad Provincial de San Miguel

[Handwritten marks]

Alcance del Presupuesto y Personal	<ul style="list-style-type: none"> - Designación del personal a tiempo completo del Gobierno Provincial de San Miguel incluido personal de campo - Designación de presupuesto para las actividades del Proyecto, - Rehabilitación de infraestructura para la planta de agro procesamiento (acopio y agro procesamiento) (Casa Comunal). Equipo Técnico del Proyecto y Gobierno Municipal prepararán diseño básico y estimación de costo para la planta.
Tipo de Presupuesto	- Gasto Corriente
Procedimiento necesario para el Presupuesto	- Elaboración y presentación del Perfil del Proyecto utilizando insumo del proyecto.
Presupuesto del año fiscal 2012	- Viene ejecutando y así continuaran
Fecha límite de la presentación de perfil del proyecto para presupuesto del año fiscal 2013	
Fecha límite de la presentación de presupuesto del año fiscal 2013	
Fecha límite de la modificación de presupuesto del año fiscal 2013	
Fecha del inicio de la utilización del Presupuesto del año fiscal 2013	

Municipalidad Provincial de San Pablo

Alcance del Presupuesto y Personal	<ul style="list-style-type: none"> - Designación del personal a tiempo completo del Gobierno Provincial de San Pablo, - Designación de presupuesto para las actividades del Proyecto, obtención de terreno y/o rehabilitación de instalaciones para planta de agro procesamiento (acopio y almacenamiento) (firma de convenio con APAJAC).
Tipo de Presupuesto	- Gasto Corriente y/o inversión
Procedimiento necesario para el Presupuesto	<ul style="list-style-type: none"> - Elaboración y presentación del Perfil del Proyecto utilizando insumo del Equipo Técnico del Proyecto. - Equipo Técnico del Proyecto y Gobierno Municipal prepararan diseño básico y estimación de costo para la planta.
Presupuesto del año fiscal 2012	- Se asegurará presupuesto como actividad normal
Fecha límite de la presentación de perfil del proyecto para presupuesto del año fiscal 2013	- El día 31 de Julio, 2012 a Gerencia de Desarrollo Económico
Fecha límite de la presentación de presupuesto del año fiscal 2013	- El día 31 de Julio, 2012
Fecha límite para absolver observaciones del presupuesto del año fiscal 2013	- El día 31 de Diciembre, 2012
Fecha del inicio de la utilización del Presupuesto del año fiscal 2013	- Después de la aprobación del Perfil (si se aprueba en el año fiscal 2012, se podrá utilizar en el mismo año)
Otras	- El día 6 de junio, 2012, Presentación del Avances del Proyecto en sesión de Consejo por Equipo Central del Proyecto.

Municipalidad Distrital de Namora

Alcance del Presupuesto y Personal	<ul style="list-style-type: none"> - Designación del personal del Gobierno Distrital de Namora, presupuesto para las actividades del Proyecto, - Designación de presupuesto para rehabilitación y/o ampliación de infraestructura para la planta de agro procesamiento (acopio y procesamiento) con presupuesto de mantenimiento. Equipo Técnico del Proyecto y Gobierno Municipal prepararan diseño básico y estimación de costo para la planta.
Tipo de Presupuesto	- Gasto Corriente
Procedimiento necesario para el Presupuesto	- Elaboración y presentación del Perfil del Proyecto utilizando insumo del Equipo Técnico del Proyecto.
Presupuesto del año fiscal 2012	- Viene ejecutando y así continuaran
Fecha límite de la presentación de perfil del proyecto para presupuesto del año fiscal 2013	- El día 30 de junio, 2012 a la Gerencia de Desarrollo Económico
Fecha límite de la presentación de presupuesto del año fiscal 2013	- El día 30 de junio, 2012
Fecha límite para absolver observaciones del presupuesto del	- El día 31 de Diciembre, 2012

año fiscal 2013	
Fecha del inicio de la utilización del Presupuesto del año fiscal 2013	Enero 2013

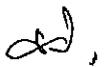
Municipalidad Distrital de Ichocan

Alcance del Presupuesto y Personal	<ul style="list-style-type: none"> - Designación del personal a tiempo completo del Gobierno Distrital de Ichocan. - Designación de presupuesto para algunas actividades del Proyecto, - Designación de presupuesto para rehabilitación de infraestructura para la planta de agro procesamiento (acopio y procesamiento). Equipo Técnico del Proyecto y Gobierno Municipal prepararan diseño básico y estimación de costo para la planta.
Tipo de Presupuesto	- Gasto Corriente
Procedimiento necesario para el Presupuesto	- Elaboración y presentación del Perfil del Proyecto utilizando insumo del Equipo Técnico del proyecto.
Presupuesto del año fiscal 2012	- Viene ejecutando y así continuará
Fecha límite de la presentación de perfil del proyecto para presupuesto del año fiscal 2013	- No hay limite
Fecha límite de la presentación de presupuesto del año fiscal 2013	- No hay limite
Fecha límite de la modificación de presupuesto del año fiscal 2013	- No hay limite
Fecha del inicio de la utilización del Presupuesto del año fiscal 2013	

Municipalidad Provincial de Cajabamba

Alcance del Presupuesto	<ul style="list-style-type: none"> - Designación del personal a tiempo completo del Gobierno Provincial de Cajabamba. - Designación de presupuesto para las actividades del Proyecto. - Designación de presupuesto para rehabilitación de infraestructura para la planta de agro procesamiento (acopio y procesamiento). Equipo Técnico del Proyecto y Gobierno Municipal prepararan diseño básico y estimación de costo para la planta.
Tipo de Presupuesto	- Gasto Corriente
Procedimiento necesario para el Presupuesto	- Elaboración y presentación del Proyecto utilizando insumo del Equipo Técnico del Proyecto.
Presupuesto del año fiscal 2012	
Fecha límite de la presentación de perfil del proyecto para presupuesto del año fiscal 2013	- No hay limite
Fecha límite de la presentación de presupuesto del año fiscal 2013	- No hay limite
Fecha límite de la modificación de	- No hay limite

presupuesto del año fiscal 2013	
Fecha del inicio de la utilización del Presupuesto del año fiscal 2013	






AGRO RURAL

Alcance del Presupuesto y Personal	<ul style="list-style-type: none"> - Designación de una persona de planta a tiempo completo en cada provincia según convenio interno (en total 5 personas) a partir del 2013 - Designación del personal para el 2012 serán 2 días por semana para actividades diferentes (capacitación, y conservación de suelos y viveros) según la planificación - Designación de presupuesto para las actividades del Proyecto (Según convenio interno, el compromiso es de 20 mil dólares estadounidenses anual, excepto pago de personal)
Tipo de Presupuesto	- Gasto Corriente
Presupuesto del año fiscal 2012 - 2013	- Aporte presupuestal aceptado por la Directora Ejecutiva quien hará su mayor esfuerzo
Fecha límite de la presentación de perfil del proyecto para presupuesto del año fiscal 2014	- Mayo 2013
Fecha límite de la presentación de presupuesto del año fiscal 2014	- Junio 2013
Otras	- Utilizaran plántones disponibles de AGRORURAL para iniciar la reforestación en áreas del proyecto en próxima época de lluvia

INIA

Alcance del Presupuesto y Personal	<ul style="list-style-type: none"> - Designación de presupuesto para las actividades del Proyecto (Según convenio interno, el compromiso es de 60 mil dólares estadounidenses anual, excepto pago personal) - Designación de personal según convenio interno. 5 personas a tiempo completo (4 de planta y una de agro procesamiento por contratar etc.), 5 personas a tiempo parcial en Estación Experimental (EE) Baños del Inca y Una persona a tiempo parcial de la EE Donoso. - Asignación de funciones según cultivos priorizados (Arveja, Maíz Morado y Ajo) y técnico asistente a tiempo completo. - El personal del proyecto a tiempo parcial deberá dedicarse a las actividades del Proyecto al menos dos días a la semana.
Tipo de Presupuesto	- Gasto Corriente
Presupuesto del año fiscal 2012	- Viene ejecutando y así continuara
Fecha límite de la presentación de perfil del proyecto para presupuesto del año fiscal 2013	- No hay limite

[Handwritten mark]

Fecha límite de la presentación de presupuesto del año fiscal 2013	- No hay límite
Fecha límite de la modificación de presupuesto del año fiscal 2013	- No hay límite
Fecha del inicio de la utilización del Presupuesto del año fiscal 2013	
Otras	- Agilización administrativa para ejecución presupuestal oportuno del Proyecto.

[Vertical handwritten notes]

Directorio de Líderes de los Equipos Técnicos Locales

Provincia / Distrital	Nombre	Cargo en Municipalidad
Distrito de Namora	Ing. Wilson Tello Pérez	Jefe de Desarrollo Económico, Municipalidad Distrital de Namora.
Provincia de Cajamarca	Lic. Ricardo Soriano Bazan	Gerente Desarrollo Económico
Provincia de San Miguel	Ing. José Manuel Roque Cojal	Ingeniero de Municipalidad Provincial de San Miguel
Provincia de San Pablo	Ing. Juan Morales Alva	Gerente de Desarrollo Económico de Municipalidad Provincial de San Pablo
Distrito de Ichocan Provincia de San Marcos	Ing. Wilder Quiroz Tirado	Ingeniero de Municipalidad Distrital de Ichocan
Provincia de Cajabamba	Eco. Julio Rodríguez Ibañez	Gerente de Desarrollo Económico de Municipalidad Provincial de Cajabamba
Gobierno Regional Cajamarca	Ing. Pedro Díaz Mantilla	Coordinador Institucional

2. 本調査で署名されたミニッツ（日本語訳）

協議議事録（和訳）

MINUTA DE REUNIÓN

ENTRE

LA AGENCIA DE COOPERACION INTERNACIONAL DEL JAPÓN

Y

LAS AUTORIDADES CONCERNIENTES DEL GOBIERNO

DE LA REPUBLICA DEL PERÚ

SOBRE LA COOPERACIÓN TÉCNICA JAPONESA

PARA EL PROYECTO “INCREMENTO DE LOS INGRESOS ECONÓMICOS DE LOS
PEQUEÑOS PRODUCTORES AGRARIOS EN LA REGIÓN DE CAJAMARCA”

独立行政法人国際協力機構（以下、JICA）のペルー共和国小規模農家生計向上プロジェクト（以下、プロジェクト）にかかる運営指導ミッション（以下、ミッション）は、プロジェクトの進捗を確認するとともにその成功裡の実施に向けた提言を行うために、永代成日出を団長とし、ペルー共和国（以下、ペルー）に2012年5月28日から6月5日まで派遣された。

ペルー滞在中、調査団は現地調査や関係者及び組織への聞き取り調査などを行い、また、第三回合同調整委員会に参加しペルー側関係機関と一連の協議を行った。この協議の結果、調査団とペルー側関係機関は付属文書に示す事項について合意した。

カハマルカ, 2012年6月5日

日本国国際協力機構
詳細計画策定調査団長
永代 成日出
Dr. Narihida Nagayo

ペルー共和国
国立農業研究所 局長
Dr. Juan Arturo Flóres Martínez

ペルー共和国
農村農業生産開発計画 長官
Eco. René Janette Pacheco Santos

ペルー共和国
カハマルカ州 知事
Prof. Gregorio Santos Guerrero

ペルー共和国
カハバンバ郡 郡長
Prof. Wilson Elmer Pesantes Alayo

ペルー共和国
カハマルカ郡 郡長
Crl(r). Ramiro A. Bardales Vigo

ペルー共和国
カハマルカ郡ナモラ市 市長
Sr. Segundo Carlos Quiros Romero

ペルー共和国
サン・マルコス郡イチョカン市 市長
Bach. Fèlix W. Castañeda Izquierdo

ペルー共和国
サン・パブロ郡 郡長
Ing. Manuel Jesús Castejón Terán

ペルー共和国
サン・ミゲル郡 郡長
Ing. Gillermo Espinoza Rodas

平成 24 年 6 月 5 日

ミニッツ本文

1. PDM の見直しについて協議、確認した（ミニッツの別添-4）
2. プロジェクト活動の問題のない円滑な実施に向け、実施組織は下記に示す措置を講じることを約束する。
 - a) 本プロジェクトに関する 2010 年 10 月 21 日署名の会議議事録、2011 年 5 月 25 日署名の内部合意書および、ミニッツの別添-5（JICA 調査団および関連機関代表者間の調整結果）に基づき、各実施機関は、プロジェクト実施のための技術要員の配置と予算確保を行う。
 - b) プロジェクト運営ローカル技術チームは、プロジェクト運営中央チームおよび生産者組織と共に 2012 年 8 月末までに第 2 年次プロジェクト活動計画（2012 年 8 月から 2013 年 7 月まで）を最終化する。
 - c) プロジェクト運営ローカル技術チームおよび関連機関代表者は、各郡・市の経済開発部長または技術者を各郡・市レベルのプロジェクト・リーダーとして任命した。各郡・市プロジェクト・チームはリーダーの指導の下、活動を実施することとする。ミニッツの別添-6 参照。
 - d) JICA 供与の資機材と車両はプロジェクト実施のためだけに使用する。関連機関代表者はこれらを安全に保管できる場所を提供すると共に維持管理の責任を持つ。

別添

1. プロジェクトの概要
2. プロジェクト活動の進捗
3. プロジェクト次期活動計画
4. PDM（バージョン 1）
5. プロジェクト関連機関代表による合意・約束事項
6. プロジェクト運営ローカル技術チーム・リーダー一覧

プロジェクトの概要

プロジェクトの背景

ペルー国のマクロ経済は安定的に成長している。反面、GINI 係数は 48.9 と高く、貧富の格差が依然大きい。貧困対策は国家の重要課題であり、前政権（ガルシア政権、2010 年のプロジェクト形成時）は全国平均 50% を超える貧困率を、2011 年までに 30% 以下に削減することを目標としていた。ペルーの国土は、沿岸部（コスタ）、山岳部（シエラ）及び内陸森林地帯（セルバ）に大別され、この中でシエラの貧困率は 67.6% と最も高く、同地域における貧困対策は喫緊の課題である。2006 年に「山岳地域の農林畜産業等の振興を通じた貧困削減及び地域経済の活性化」を目指すことを目的に発令された「山岳地域輸出振興法」など、課題克服に向けた各種施策が実施されている。

プロジェクト対象地域のカハマルカ州はシエラに位置し、貧困率は 64.5% に達する。人口の大半は農業に従事し、粗放な天水農法によって伝統的作物（トウモロコシ、ジャガイモ等）を、自家消費及び近隣市場での販売向けに栽培しているが、農業収入は殆ど得られていない。農家当たりの平均耕作面積は 0.5～3.0ha と小規模なため、農業収入の向上には、少ない作付面積で高い収益が上げられる作物の導入など新しい営農体系の構築が求められている。

こうした背景から、カハマルカ州内の小規模農家を対象に収益性の高い換金作物を中心とした営農体系の構築による農家収入の向上、ひいては地域の貧困削減を図るために、技術協力プロジェクト「カハマルカ州小規模農家生計向上プロジェクト」（以下、本プロジェクト）の実施が我が国に要請された。国際協力機構（JICA）は、プロジェクトの必要性や要請の妥当性を確認するため、2010 年 10 月に詳細計画策定調査を実施した。この結果、プロジェクトの枠組みについて合意し、2011 年 3 月 10 日にペルー農業省、国立農業研究所（INIA）及び農村農業生産開発計画（AGRO RURAL）と R/D（Record of Discussion）に署名した。本プロジェクトは 2011 年 7 月に開始され、2016 年 6 月まで合計 5 年間に渡り実施される。

プロジェクトの目的、目標、成果

本プロジェクトの上位目標、目標および成果は以下に示すとおりである。

本プロジェクトの目標、成果および活動内容

<p>【上位目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象地域の小規模農家の生計が向上する。 ・ 啓蒙対象地域においてモデルが活用される。
<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象地域において小規模農家の生計向上に向けたモデルが構築される。
<p>【成果（アウトプット）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 成果 1：モデル集落において、農民組織の活動実施体制が整備・強化される。 ・ 成果 2：モデル集落農家の対象作物の農業生産性及び質が向上する。 ・ 成果 3：モデル集落の農民組織による農産物生産チェーンが整備される。 ・ 成果 4：モデル集落の水土保全が促進される。 ・ 成果 5：啓蒙対象地域の啓蒙対象者において、モデル集落での取り組みへの理解が深化する。

また、プロジェクトは、これまでに JICA によりカハマルカ州内で実施された有償資金協力「山岳地域・貧困緩和環境保全事業（I）、（II）、（III）」及び、今後実施が予定されている有償資金協力「山岳地域小中規模灌漑整備事業」との相乗効果による開発効果の増大も目指している。

プロジェクトの活動

上記成果 1 から 5 の達成のために行う活動は以下のとおりである。

本プロジェクトの活動内容

【成果 1 に係る活動】

- 1-1：プロジェクト開始後に策定されたモデル集落選定基準に基づき各郡 1 箇所のモデル集落を選定し、協定書を締結する。
- 1-2：モデル集落でベースライン調査を実施する。
- 1-3：モデル集落の農家に対して活動内容の説明・啓発を行う。
- 1-4：各活動内容に適した農民組織を選定する。
- 1-5：農民組織に対する組織運営や活動計画策定に係る指導・支援を行う。
- 1-6：モデル集落でエンドライン調査を実施する。

【成果 2 に係る活動】

- 2-1：国立農業研究所（INIA）において対象作物の優良種子を生産し、モデル集落の小規模農家への供給を行う。
- 2-2：各郡のモデル集落に展示圃場を設置する。
- 2-3：展示圃場の活用やモデル集落の農家への巡回指導等を通して、播種、施肥と土壌管理、病害虫対策等の栽培技術を普及する。
- 2-4：栽培技術マニュアルを作成する。

【成果 3 に係る活動】

- 3-1：農産物生産チェーン整備計画書を作成する。
- 3-2：対象 5 郡に農産物加工場を整備する。
- 3-3：農産物加工場の操作運営に係る指導を各農民組織に対して行う。
- 3-4：農民組織による農産物加工品の市場開拓と販売を指導・支援する。

【成果 4 に係る活動】

- 4-1：対象地域の小規模農家に対する土壌保全に係る指導と実施促進支援を行う。
- 4-2：農民組織に対して植林の苗畑場の設置・運営と植林への指導・支援を行う。

【成果 5 に係る活動】

- 5-1：モデル集落の取組みを啓蒙する対象地域を選定する。
- 5-2：啓蒙対象地域の範囲ごとに適した啓蒙対象者、啓蒙方法及び啓蒙内容を検討の上、啓蒙計画を策定する。
- 5-3：啓蒙対象地域の啓蒙対象者に対して計画に沿った啓蒙活動を行う。

出典：プロジェクト PDM

プロジェクト対象地域

本プロジェクトの対象地域は直接対象地域と啓蒙対象地域の 2 つに分けられる。直接対象地域は、カハマルカ州の 5 郡（サン・ミゲル郡、サン・パブロ郡、カハマルカ郡、カハバンバ郡およびサン・マルコス郡・イチョカン市、及び）で、これら地域において成果 1 から 4 に係る活動を実施する。

一方、啓蒙対象地域は、a) 上記 5 郡のモデル集落以外の集落、b) カハマルカ州の対象郡以外の郡並びに、c) アマソナス州、アンカシュ州、アヤクチョ州、ワンカベリカ州、ワヌコ州、フニン州、ラ・リベルタッド州及びピウラ州の 8 州が予定されており、ここでは成果 5 に係る活動を実施する。

プロジェクト優先品目

本プロジェクトの優先対象品目は、対象 5 郡で多く栽培されている“紫トウモロコシ”、“ニンニク”および“エンドウ”の 3 つである。なお、対象 3 品目以外にも、市場ポテンシャルが高いなど小規模農家の貧困を削減する上で重要な品目がある場合は、これらを対象に加えることを検討する。

プロジェクト活動の進捗

活動内容		進捗状況	
全般	全般	- 各郡・市プロジェクト計画を作成中で、6月中には第1案が完成見込みである。	-
活動1	農民組織の活動実施体制が整備・強化される。	- 5郡・市で農民組織の形成がほぼ完了しつつある。現在、プロジェクト参加農民の現状（実際の生産面積等）を把握するため、各農民の耕作面積など基礎情報を収集中。	若干の遅れ
活動2	対象作物の農業生産性及び質が向上する。		
	展示圃場	- 展示圃場での展示技術ロングリストを作成、現在各郡・市での評価・最終化作業中。	ほぼ予定通り
		- 展示圃場設置基準を設け、候補地選定作業中。	ほぼ予定通り
		- 仮の展示圃場を各郡・市に設置、活動を開始済み。味の素株式会社液肥「AJIFOL」の試用、紫トウモロコシの新品種（INIA601）試験栽培、エンドウ未導入品種試験栽培など約30の活動を実施中。	予定を上回る進捗
	優良種子生産	- 2012年1月に、INIA ドノソ研究所よりエンドウ豆の基礎種子を受領、3月に INIA パーニョス・デ・インカ研究所にて登録種子生産を開始済み。4カ月後の7月頃に登録種子の収穫見込み。	ほぼ予定通り
		- 2011年に INIA パーニョス・デ・インカ研究所で原種を播種、2012年5-6月に基礎種子を収穫済み。現在、登録種子生産のため基礎種子の乾燥処理中。	ほぼ予定通り
		- 2012年3月に INIA ドノソ研究所よりニンニクの基礎種子（第2世代種子）を受領、4月より順次、INIA パーニョス・デ・インカ研究所にて登録種子（第3世代種子）の生産を開始している。なお、INIA パーニョス・デ・インカ内に十分な広さの圃場が確保できなかったため、登録種子生産は INIA に加え、イチョカン市政府圃場で行っている。現在、追加の圃場確保を進めている。	若干の遅れ
		- 対象3品および水土保全のマニュアルを作成中。	若干の遅れ
活動3	農民組織による農産物生産チェーンが整備される	- 市場調査をほぼ完了し、加工含む付加価値案のロングリストを作成、現在、各郡・市での各案の評価・最終化、選定作業中。	若干の遅れ
活動4	水土保全が促進される		
	土壌保全	- 土壌保全技術は多大なコスト、労働力を必要としない、被覆作物の活用と等高線栽培を選定した。 - 被覆作物品種ロングリストを作成、現在、各郡・市での評価・最終化、選定作業中。なお、農民の生計向上に少しでも寄与できるよう被覆作物は牧草を中心に選定した。	予定を上回る進捗
	植林	- 植林樹種ロングリストを作成、現在、各郡・市での評価・最終化、選定作業中。なお、農民の生計に少しでも寄与できるよう、植林樹種はマツ、ユーカリなど一般的なものに加え、タラ、	予定を上回る進捗

活動内容		進捗状況	
		桑など商品価値の高いものを選定した。	
活動5	モデル集落の取り組みへの理解が深化する	- (未開始：3年次作業)	予定通り
その他	プロジェクト広報資材の作成	- プロジェクトHP、パンフレットを作成中。 - プロジェクト広報資材（ロゴ、帽子、ジャケット）を作成済み。	ほぼ予定通り
	供与資機材の納品（追加業務）	- 二輪車を除き、納品を完了した。	遅れている
	追加供与資機材の納品・建設	- 事務所および駐車場改修、三相電源設置工事を実施中。資機材については3社見積もりの入手を進めている。	ほぼ予定通り

プロジェクト次期活動計画

<p>【全般】</p> <p>1. 各郡・市プロジェクト計画の完成</p> <ul style="list-style-type: none"> - 10月の次期作付けシーズンの到来の前、2012年8月末までに各郡・市プロジェクト計画を完成させる。これによりプロジェクト予算を確保する。基本的にこのプロジェクト計画を農民組織の活動計画およびワークプラン（第二年次）とする。なお、各郡・市プロジェクト計画の作成は既に開始している。
<p>【成果1：モデル集落において農民組織の活動実施体制が整備・強化される】にかかる活動</p> <p>1. 農民組織に対する指導・支援の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> - 指導・支援は各成果（活動）の活動計画作成、計画実施・運営を通じたオン・ザ・ジョブ・トレーニングを基本とした指導・支援を実施する。なお、指導・支援は2年次の期間中、継続的に行う。
<p>【成果2：】モデル集落農家の対象作物の農業生産性及び質が向上する】にかかる活動</p> <p>1. 展示圃場の設置と栽培技術の普及</p> <ul style="list-style-type: none"> - 10月の次期作付けシーズンの到来の前、2012年10月頃までにモデル集落内に展示圃場（栽培技術および水土保全技術）を設置し、栽培期間を通じた普及活動を行う。 - 展示栽培の結果等を受け栽培マニュアルの改訂を行う。 <p>2. 優良種子の生産・配布</p> <ul style="list-style-type: none"> - 優良種子の生産活動を継続する。エンドウ豆は、2012年7月頃、ニンニクは10-11月頃、紫トウモロコシは2013年頃に登録種子を収穫する予定である。その後、モデル集落内の圃場で保証種子（農家配布用種子）の生産を開始する。2012年5-6月に収穫の紫トウモロコシの基礎種子は過剰になることが予想されるので、余剰種子はINIAの通常販売、あるいは展示圃場に活用する予定である。
<p>【成果3：モデル集落の農民組織による農産物生産チェーンが整備される】にかかる活動</p> <p>1. 加工（付加価値化方策）の実証の実施</p> <p>＜加工（付加価値化方策）の実証の実施と選果・加工場の整備＞</p> <ul style="list-style-type: none"> - 2013年の対象作物の収穫（紫トウモロコシ3月、エンドウ豆5月など）に合わせて選果・加工場の操業開始が出来るよう、今後、基本設計、積算、予算措置（各郡・市政府における）、既存施設の改修による施設整備ならびに機材導入を行う。併せて事業運営（施設操作運営など）に関する指導が可能なNGO等の選定を行う。 - 施設操作運営に係るマニュアルを作成し、このマニュアルに沿って農民組織に対する指導を行う。 - 次の作付期を通じ、新品種導入、収穫後処理を含む加工、協同販売など付加価値化方策に係る実証を行う。また市場開拓、商品開発・プロモーションに係る農民組織への指導を2年次の期間中、継続的に実施する。
<p>【成果4：モデル集落の水土保全が促進される】にかかる活動</p> <p>1. 土壌保全活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> - 本格的な雨季の到来（2012年12月頃）に併せ土壌保全活動を開始する。土壌保全作物・技術について技術指導を行う。 <p>2. 苗畑の設置と植林</p> <ul style="list-style-type: none"> - 本格的な雨季の到来（2012年12月頃）迄に苗畑を設置する（苗畑設置場所によっては小規模貯水池の設置が必要）。 - 2012年12月-5月頃の間苗生産を開始する（苗生産開始時期は雨季に移植できるよう、雨季の開始時期から各樹種の播種から移植までの期間を差し引き逆算する）。苗生産全体を通じ育苗方法の指導を行う。 - 苗生産開始から約6カ月後から1年後の2013年12月頃に植林を行う。各樹種の生育に応じた

技術指導を行う。
【成果 5：啓蒙対象地域の啓蒙対象者のモデル集落での取り組みへの理解が深化する】にかかる活動 (第3年次作業)
【その他・一般管理業務】
<ol style="list-style-type: none"> 1. JCC の開催 <ul style="list-style-type: none"> - 2012年8月に第2年次の初回JCCを開催、その後、約6カ月毎にJCCを開催する。JCCでは進捗を報告すると共に重要課題について検討する。 2. 追加資機材の納品・設置 <ul style="list-style-type: none"> - 必要に応じ追加資機材を納品・設置する。 3. 報告書の作成 <ul style="list-style-type: none"> - 2012年7月頃に業務計画書(第2年次)、8月頃にワークプラン(第2年次)を作成、その後約6カ月頃に進捗報告書を作成する。 4. 研修の実施 <ul style="list-style-type: none"> - 2回の研修を実施する。第1回目2013年頭頃に日本で、第2回目は2014年末頃にブラジル、コロンビア等第三国での実施を想定している。

PDM ペルー国カハマルカ州小規模農家生計向上プロジェクト (Ver.1)

協力期間	: 2011年7月31日～2016年7月30日 (60か月)
対象地域	: カハマルカ州のカハバンバ郡、カハマルカ郡、サンミゲル郡、サンパプロ郡、イチョカン市 (サンマルコス郡) の5郡・市
啓蒙対象地域	: 対象地域のモデル集落以外の集落、カハマルカ州の対象郡以外の郡並びにアマソナス州、アンカシュ州、アヤクチョ州、ワンカベリカ州、ワヌコ州、フニン州、ラ・リベルタッド州及びピウラ州の8州
直接裨益者	: 対象地域から選定されたモデル集落(各郡1集落の計5集落)の小規模農家約500戸(各モデル集落100戸)
間接裨益者	: 啓蒙対象地域のうちモデル集落での取り組みが啓蒙可能な小規模農家等
カウンターパート機関	: 国立農業研究所(INIA)、AGRORURAL、カハマルカ州政府、カハバンバ郡、カハマルカ郡、サンミゲル郡、サンパプロ郡政府及びイチョカン市 (サンマルコス郡)
対象作物	: ニンニク、エンドウ豆、紫トウモロコシ、その他

プロジェクトの要約	指標	指標入手手段	外部条件
<p align="center">【上位目標】</p> 1: 対象地域の小規模農家の生計が向上する。 2: 啓蒙対象地域においてモデルが活用される。	1. 直接受益農家の貧困率が○ ○%改善する。 2. 啓蒙対象地域の27集落がモデル事業を行う。	1. INEI 統計データ 2. INIA 及び AGRORURAL 報告書	
<p align="center">【プロジェクト目標】</p> 対象地域において小規模農家の生計向上に向けたモデルが構築される。	1. 直接受益農家(約500戸)の農業所得が対周辺農家所得を30%上回る。 2. モデル集落での成果が体系化され取りまとめられる。	1. ベースライン及びエンドライン調査結果 2. モデル取りまとめ文書	1. C/P機関がモデルの成果を活用し、農業促進支援を継続して実施する。 2. 対象地域及び啓蒙対象地域において異常気象や予期せぬ病虫害の発生等が起こらない。 3. 有償資金協力「山岳地域小規模灌漑整備事業」が実施される。
<p align="center">【アウトプット】</p> 1. モデル集落において、農民組織の活動実施体制が整備・強化される。	1-1. 各モデル集落において、適切な農民組織が形成される。 1-2. すべての農民組織において、毎年年間計画が策定され、また活動報告が行われる。	1-1. プロジェクト進捗報告書、農民組織定款 1-2. 農民組織活動関連書類 (会議事録等) 1-3. 農民組織活動関連	1. 対象作物の価格が極端に下落しない。

<p>2. モデル集落農家の対象作物の農業生産性及び質が向上する。</p> <p>3. モデル集落の農民組織による農産物生産チェーンが整備される。</p> <p>4. モデル集落の水土保持が促進される。</p> <p>5. 啓蒙対象地域の啓蒙対象者において、モデル集落での取組みへの理解が深化する。</p>	<p>1-3. 農民組織が少なくとも月1回の組織的活動をする。</p> <p>2-1. モデル集落の直接受益者の対象作物単収が30%増加する。</p> <p>2-2. 直接受益農家の30%が生産物の品質を改善する。</p> <p>3 付加価値化により対象産品(原材料重量当たり)の収益性が30%向上する。</p> <p>4-1. モデル集落の小規模農家の内50%が土壌保全対策を適用する。</p> <p>4-2. 各モデル集落において植林計画が策定され、計画に沿った植林活動が実施される。</p> <p>5-1. すべての啓蒙対象地域において、策定された啓蒙計画が達成される。</p> <p>5-2. 啓蒙活動対象者のうち50%がモデルに高い関心を示す。</p>	<p>書類(会議議事録等)</p> <p>2-1. ベースライン及びエンドライン調査結果</p> <p>2-2. ベースライン及びエンドライン調査結果</p> <p>3. ベースライン及びエンドライン調査結果</p> <p>4-1. ベースライン及びエンドライン調査結果</p> <p>4-2. プロジェクト進捗報告書</p> <p>5-1. プロジェクト進捗報告書</p> <p>5-2. アンケート調査</p>	
<p style="text-align: center;">【活動】</p> <p>1-1. プロジェクト開始後に策定されたモデル集落選定基準に基づき各郡1箇所のモデル集落を選定し、協定書を締結する。</p> <p>1-2. モデル集落でベースライン調査を実施する。</p> <p>1-3. モデル集落の農家に対して活動内容の説明・啓発を行う。</p> <p>1-4. 各活動内容に適した農民組織を設立する。</p> <p>1-5. 農民組織に対する組織運営や活動計画策定に係る指導・支援を行う。</p> <p>1-6. モデル集落でエンドライン調査を実施する。</p>	<p style="text-align: center;">【投入】</p> <p style="text-align: center;">＜日本側＞</p> <p>1. 日本人専門家：</p> <p>1) チーフアドバイザー／啓蒙</p> <p>2) 副チーフアドバイザー／農産物加工／流通</p> <p>3) 農業技術普及／農民組織</p> <p>4) 農産物加工／流通</p> <p>5) 農地保全(水土保持)</p>	<p style="text-align: center;">＜ペルー側＞</p> <p>1. C/Pの配置</p> <p>2. 施設(建物、施設、展示圃場、事務所、機材の設置保管場所、その他プロジェクト実施に必要な場所)</p> <p>3. 電気、水道、通信設備</p>	<p>1. モデル集落で異常気象や予期せぬ病虫害の発生等が起こらない。</p> <p>2. 農産物加工場に係る用地取得や建設が実施される。</p> <p>(前提条件) 対象地域及び啓蒙対象地域</p>

<p>2-1. INIAにおいて対象作物の優良種子を生産し、モデル集落の小規模農家への供給を行う。</p> <p>2-2. 各郡のモデル集落及び周辺地区に展示・観察圃場を設置する。</p> <p>2-3. 展示圃場の活用やモデル集落の農家への巡回指導等を通して、播種、施肥と土壌管理、病害虫対策等の栽培技術を普及する。</p> <p>2-4. 栽培技術マニュアルを作成する。</p> <p>3-1. 農産物生産チェーン整備計画書を作成する。</p> <p>3-2. 対象5郡に農産物付加価値化のための選果・加工などの施設を整備する。</p> <p>3-3. 3-2の施設の操作運営に係る指導を各農民組織に対して行う。</p> <p>3-4. 農民組織による農産物加工品の市場開拓と販売を指導・支援する。</p> <p>4-1. 対象地域の小規模農家に対する土壌保全に係る指導と実施促進支援を行う。</p> <p>4-2. 農民組織に対して植林の苗畑場の設置・運営と植林への指導・支援を行う。</p> <p>5-1. モデル集落の取組みを啓蒙する対象地域を選定する。</p> <p>5-2. 啓蒙対象地域の範囲ごとに適した啓蒙対象者、啓蒙方法及び啓蒙内容を検討の上、啓蒙計画を策定する。</p> <p>5-3. 啓蒙対象地域の啓蒙対象者に対して計画に沿った啓蒙活動を行う。</p>	<p>6) 業務調整/研修</p> <p>7) 短期専門家</p> <p>2. C/Pの技術研修（本邦研修、第三国研修等）</p> <p>3. 供与機材（機材・車両等）</p> <p>4. 在外事業強化費（現地業務費）</p> <p>”上記の他、中間年度に中間評価、終了年度に終了時評価を実施する。各活動に関してはプロジェクト内でモニタリングを随時実施する。”</p>	<p>4. 運営経費（電気、水道、通信、燃料の他、施設の維持にかかる経費、職員の人件費及び旅費等、調査及び普及活動のための予算を含む）</p> <p>5. その他</p>	<p>における経済社会状況、特に治安が安定している。</p>
---	--	---	--------------------------------

プロジェクト関連機関の約束および合意事項

カハマルカ州政府

予算および要員配置	- 2012年に非専従、2013年に専従の機関調整員を配置する。 - 2012年に非専従、2013年に専従の技術者を配置する。 - 2012年中、非専従技術者は最低週2回プロジェクト活動に従事する。 - プロジェクト活動費および、各郡・市の加工施設建屋の改修に必要な予算の措置。
予算タイプ	- 通常予算
2012年度の予算	- 通常の活動として予算を確保
予算措置に必要な手続き	- プロジェクト技術チームのインプットを用いたプロジェクト計画書の作成と提出。
2013年度予算措置のためのプロジェクト計画書提出期限	- 2012年10月30日（経済開発部）
2013年度予算使用開始日	- 通常予算：2013年1月1日 - 投資予算：2013年4月1日

カハマルカ郡政府

予算および要員配置	- カハマルカ郡政府プロジェクト専従要員を配置する（既存要員契約の継続）。
予算タイプ	- 通常予算
予算措置に必要な手続き	- プロジェクト技術チームのインプットを用いた、ナモラ市政府との共同によるプロジェクト計画書の作成と提出。
2012年度の予算	- 通常活動として予算を確保
2012年度予算措置のためのプロジェクト計画書提出期限	- 2012年6月30日（経済開発部：予算手続き承認部所）
2013年度予算申請期限	- 2012年6月30日
予算使用開始日	- プロジェクト計画書承認後（2012年度に承認された場合、同年に使用開始可能）
その他	- 組織の有無、組織の活動レベル、開発を推進できるリーダーの存在、プロジェクト技術者が頻繁に訪問可能な立地（アクセス）などの選定基準を用いたプロジェクト技術チームの評価により、ナモラ市がモデル集落として選定された。 - 各関連機関の約束事項を示した表を（プロジェクト計画書に）添付する。JICAに関しては供与機材のみ示す。 - プロジェクト計画書の承認後、関係機関間で協定書または議事録を交わす（JICAを除く）。 - プロジェクト計画書承認日以降、JICAによるナモラ市政府への全ての供与は、カハマルカ郡政府を通じ行う。

サン・ミゲール郡政府

予算および要員配置	- 現場要員を含むサン・ミゲール郡政府プロジェクト専従要員を配置する - プロジェクト活動予算の措置。 - 加工（集出荷および加工）施設用建屋（公共施設）改修予算の措置。 プロジェクト技術チームと郡政府が基本設計および費用を算出す
-----------	--

	る。
予算タイプ	- 通常予算
予算措置に必要な手続き	- プロジェクト技術チームのインプットを用いたプロジェクト計画書の作成と提出。
2012年度予算	- これまで通り予算措置を継続
2013年度予算措置のためのプロジェクト計画書提出期限	
2013年度予算申請期限	
2013年度予算見直し期限	
2013年度予算使用開始日	

サン・パブロ郡政府

予算および要員配置	- サン・パブロ郡政府プロジェクト専従要員を配置する。 - プロジェクト活動予算の措置。加工施設（集出荷および加工）のための建屋用地の確保および改修（APAJAC との協定書への署名）。 *APAJAC はプロジェクト参加農民組織の名前。
予算タイプ	- 通常予算または投資予算
予算措置に必要な手続き	- プロジェクト技術チームのインプットを用いたプロジェクト計画書の作成と提出。 - プロジェクト技術チームと郡政府が加工施設のための基本設計および費用を算出する。
2012年度予算	- 通常活動として予算を確保
2013年度予算措置のためのプロジェクト計画書提出期限	- 2012年7月31日（経済開発部）
2013年度予算申請期限	- 2012年7月31日
2013年度予算申請指摘事項見直し期限	- 2012年12月31日
2013年度予算使用開始日	- プロジェクト計画書承認後（2012年度に承認された場合、同年に使用開始可能）
その他	- 2012年6月6日に議会に対しプロジェクト進捗の発表を行う。

ナモラ市政府

予算および要員配置	- ナモラ市政府プロジェクト要員およびプロジェクト活動予算を配置・措置する。 - 維持管理予算を使用した加工（集出荷および加工）施設用建屋改修予算の措置。プロジェクト技術チームと郡政府が基本設計および費用を算出する。
予算タイプ	- 通常予算
予算措置に必要な手続き	- プロジェクト技術チームのインプットを用いたプロジェクト計画書の作成と提出。
2012年度予算	- これまで通り予算措置を継続
2013年度予算措置のためのプロジェクト計画書提出期限	- 2012年6月30日（経済開発部）
2013年度予算申請期限	- 2012年6月30日
2013年度予算申請指摘事項見直し期限	- 2012年12月31日

2013年度予算使用開始日	- 2013年1月
---------------	-----------

イチョカン市政府

予算および要員配置	- イチョカン市政府プロジェクト専従要員を配置する。 - プロジェクトの幾つか活動に対する予算を措置する。 - 加工（集出荷および加工）施設用建屋改修予算の措置。プロジェクト技術チームと郡政府が基本設計および費用を算出する。
予算タイプ	- 通常予算
予算措置に必要な手続き	- プロジェクト技術チームのインプットを用いたプロジェクト計画書の作成と提出。
2012年度予算	- これまで通り予算措置を継続
2013年度予算措置のためのプロジェクト計画書提出期限	- 期限なし
2013年度予算申請期限	- 期限なし
2013年度予算申請指摘事項見直し期限	- 期限なし
2013年度予算使用開始日	

カハバンバ郡政府

予算および要員配置	- カハバンバ郡政府プロジェクト専従要員を配置する。 - プロジェクト活動に対する予算を措置する。 - 加工（集出荷および加工）施設用建屋改修予算の措置。プロジェクト技術チームと郡政府が基本設計および費用を算出する。
予算タイプ	- 通常予算
予算措置に必要な手続き	- プロジェクト技術チームのインプットを用いたプロジェクト計画書の作成と提出。
2012年度予算	
2013年度予算措置のためのプロジェクト計画書提出期限	- 期限なし
2013年度予算申請期限	- 期限なし
2013年度予算申請指摘事項見直し期限	- 期限なし
2013年度予算使用開始日	

AGRO RURAL

予算および要員配置	- 2013年度から内部協定書に従いプロジェクト専従要員（正規職員）5名を配置する。 - 2012年度は、計画に従い、週2回程度、異なるプロジェクト活動（能力強化、土壌保全、苗畑）に参加する。 - プロジェクト活動予算の措置（内部協定書での予算額は要員給与を除き20千ドル）。
予算タイプ	- 通常予算
2012-2013年度予算	- 局長が認めた範囲内の予算措置。局長は予算措置のため最善の努力を払う。
2014年度予算措置のため	- 2013年5月

のプロジェクト計画書提出期限	
2014年度予算申請期限	- 2013年6月
その他	- 次回雨季に植林を開始するため、AGRORURALの利用可能な既存苗を活用する。

INIA

予算および要員配置	- プロジェクト活動予算の措置（内部協定書での予算額は要員給与を除き60千ドル） - 内部協定書に従い、INIA バーニョス・デ・インカに5人のプロジェクト専従要員（正規職員4人、契約ベースの加工専門家1人）、5人の非専従要員、INIA ドノソに1名の非専従要員を配置する。 - 優先作物（エンドウ、紫トウモロコシ、ニンニク）の専門家および専従技術アシスタントを配置する。 - 非専従技術者は最低週2回プロジェクト活動に従事する。
予算タイプ	- 通常予算
2012年度予算	- これまで通り予算措置を継続
2013年度予算措置のためのプロジェクト計画書提出期限	- 期限なし
2013年度予算申請期限	- 期限なし
2013年度予算申請指摘事項見直し期限	- 期限なし
2013年度予算使用開始日	
その他	- タイムリーなプロジェクト予算執行のための事務手続き迅速化

プロジェクト運営ローカル技術チーム・リーダー一覧

郡/市	リーダー名	所属先および立場
ナモラ市	Ing. Wilson Tello Pérez	ナモラ市政府・経済開発部長
カハマルカ郡	Lic. Ricaldo Soriano Bazan	カハマルカ郡政府・経済開発部長
サン・ミゲール郡	Ing. José Manuel Roque Cojal	サン・ミゲール郡政府・技術者
サン・パブロ郡	Ing. Juan Morales Alva	サン・パブロ郡政府・経済開発部長
イチョカン市、サン・マルコス郡	Ing. Wilder Quiroz Tirado	イチョカン市政府・技術者
カハバンバ郡	Eco. Julio Rodríguez Ibañez	カハバンバ郡政府・経済開発部長
カハマルカ州政府	Ing. Pedro Díaz Mantilla	カハマルカ州政府・機関調整員



Proyecto

**“Incremento de los Ingresos Económicos de los Pequeños
Productores Agrarios en la Región de Cajamarca” (IEPARC)**

**III REUNIÓN DEL COMITÉ DE COORDINACIÓN CONJUNTA
PROYECTO IEPARC**

Fecha: Martes 05 de junio del 2012
Lugar: Hotel Laguna Seca - Sala Cumbemayo
Objetivo: Compartir los avances alcanzados en el Proyecto hasta la actualidad y confirmar la Matriz de Diseño de Proyecto (MDP Versión 01)

PROGRAMA

Martes, 05 de junio del 2012

14:00 -14:30 Recepción de Autoridades
Ing. Violeta Pajares Tapia, Estación Experimental Baños del Inca de INIA
Ing. Luis Rosado, Equipo de Proyecto de JICA

14:30 -14:35 Palabras de Bienvenida
Ing. Galvarino Castro Espinoza
Director de Estación Experimental Baños del Inca de INIA y Gerente de Proyecto IEPARC

14:35 -14:40 Palabras
Eco. René Janette Pacheco Santos
Directora Ejecutiva de AGRO RURAL

14:40 -14:45 Palabras
Dr. Narihide Nagayo
Líder de Misión de Consulta y Orientación de JICA

14:45 -15:00 Apertura de la III Reunión del CCC
Dr. Juan Arturo Flórez Martínez
Jefe del INIA y Presidente del CCC

15:00 -15:40 Presentación del Proyecto
Ing. Alicia Medina Hoyos
Coordinadora de IEPARC
Ing. Masayuki Honjo
Líder de Equipo de Proyecto de JICA

15:40 -16:00 BREAK

16:00 -16:30 Confirmación de la MDP del proyecto
Ing. Tsuyoshi Wada
Misión de Consulta y Orientación de JICA

16:30 -17:00 Confirmación del Contenido de Minuta de III Reunión de CCC
Dr. Narihide Nagayo
Líder de Misión de Consulta y Orientación de JICA

17:00 -17:30 BREAK

17:30 -17:50 Firma de Minuta de III Reunión de CCC

17:50 -18:00 Acto de Clausura
Representante del Gobierno Regional de Cajamarca

18:30 - Cena

Jr. Wiracocha s/n-Baños del Inca-Cajamarca

Teléfono: 076-348386 fax: 076- 348697 E-mail: binca@. inia.gob.pe

MINUTA DE REUNIÓN
ENTRE
LA AGENCIA DE COOPERACION INTERNACIONAL DEL JAPÓN
Y
LAS AUTORIDADES INVOLUCRADAS DEL GOBIERNO
DE LA REPUBLICA DEL PERÚ
SOBRE LA COOPERACIÓN TÉCNICA JAPONESA
PARA EL PROYECTO “INCREMENTO DE LOS INGRESOS ECONÓMICOS DE LOS
PEQUEÑOS PRODUCTORES AGRARIOS EN LA REGIÓN DE CAJAMARCA”

La Misión de Orientación y Consulta (en adelante, La Misión) de la Agencia de Cooperación Internacional de Japón (en adelante JICA), del Proyecto “Incremento de los Ingresos Económicos de los Pequeños Productores Agrarios en la Región Cajamarca” en la República del Perú (en adelante, el Proyecto) fue enviada a la República del Perú (en adelante, Perú) durante el periodo desde 28 de mayo a 5 de junio de 2012, para verificar el avance del Proyecto y realizar las recomendaciones pertinentes para la implementación exitosa del mismo, bajo el liderazgo del Dr. Narihide Nagayo.

Durante su estadía en el Perú, La Misión llevó a cabo estudios de campo así como entrevistas con diversas autoridades y personas involucradas en el Proyecto, además participó en la III Reunión del Comité de Coordinación Conjunta. Como resultado de esta reunión, La Misión y autoridades involucradas han acordado los temas que se mencionan en la presente Minuta.

Cajamarca, 5 de Junio de 2012

Agencia de Cooperación Internacional de Japón
Líder del Misión de Orientación y Consulta
Dr. Narihide Nagayo

República del Perú
Jefe de Instituto Nacional de Innovación Agraria
Dr. Juan Arturo Flórez Martínez

República del Perú
Directora Ejecutiva de AGRO RURAL
Eco. Renée Janette Pacheco Santos

República del Perú
Presidente Regional de Cajamarca
Prof. Gregorio Santos Guerrero

República del Perú
Alcalde Provincial de Cajabamba
Prof. Wilson Elmer Pesantes Alayo

República del Perú
Alcalde Provincial de Cajamarca
Crl(r). Ramiro A. Bardales Vigo

República del Perú
Alcalde Distrital de Namora,
Provincia de Cajamarca
Sr. Segundo Carlos Quiroz Romero

República del Perú
Alcalde Distrital de Ichocán,
Provincia de San Marcos
Bach. Félix W. Castañeda Izquierdo

República del Perú
Alcalde Provincial de San Pablo
Ing. Manuel Jesús Castrejón Terán

República del Perú
Alcalde Provincial de San Miguel
Ing. Guillermo Espinoza Rodas

Minuta de Reunión

1. Discusión acerca de la revisión del MDP (Matriz de Diseño del Proyecto). Ver. Anexo-4.
2. Para que las actividades del Proyecto puedan desarrollarse sin problemas, las instituciones ejecutoras se comprometen a tomar las siguientes medidas.
 - a) En base a la Minuta de Reuniones firmada el día 21 de Octubre de 2010 del proyecto, Acta de Compromisos firmada el 25 de Mayo del 2011, y Anexo-5 (resultado de coordinación entre Misión de JICA y Autoridades Involucradas; cada institución ejecutora proveerá personal técnico y presupuesto para la implementación de las actividades del Proyecto.
 - b) Los Equipos Técnicos Locales con el Equipo Técnico Central y las organizaciones de productores, deben finalizar el Plan de Actividad del segundo año del Proyecto (Agosto 2012 a Julio 2013), hasta fines de agosto de 2012.
 - c) Los Equipos Técnicos Locales conjuntamente con Autoridades Involucradas han designado a los Gerentes de Desarrollo Económico u otro personal como líderes del Proyecto a nivel provincial y/o distrital. Los Equipos Técnicos Locales deberán ejecutar las actividades conforme a las orientaciones del líder. Ver. Anexo-6.
 - d) Los equipos, materiales y vehículos donados por JICA serán asignados para uso exclusivo en la implementación del Proyecto. Las Autoridades Involucradas asignarán un local seguro para almacenarlos y se harán cargo del mantenimiento de los mismos.

Anexos

1. Resumen del Proyecto
2. Avance de las Actividades del Proyecto
3. Plan de Actividades para la Próxima Etapa del Proyecto
4. MDP del Proyecto (Versión 1)
5. Compromisos y Acuerdos de las Instituciones Ejecutoras del Proyecto
6. Directorio de Líderes de los Equipos Técnicos Locales del Proyecto

Resumen del Proyecto

Antecedentes del Proyecto

La economía peruana presenta un desempeño estable a nivel macroeconómico en los últimos años; sin embargo, el coeficiente de GINI de 48.9 es bastante elevado, lo que muestra una gran desigualdad en la distribución de riqueza. El territorio peruano presenta 3 zonas geográficas muy diferenciadas, Costa, Sierra y Selva, siendo la Sierra la que presenta el índice de pobreza más elevado, de 67.6%; así es necesario tratar el tema de lucha contra la pobreza en esta zona urgentemente. El gobierno peruano viene promoviendo diversas medidas dirigidas a la solución de este tema, como la “Ley Sierra Exportadora” del 2006, que tiene por objeto reactivar la economía local y mitigar la pobreza, a través de la reactivación de las actividades económicas agropecuarias y forestales en la zona de la Sierra.

La región Cajamarca, área objeto de este Proyecto, está ubicada en la Sierra, con un índice de pobreza del orden de 64.5%. Más de la mitad de la población se dedica a la actividad agropecuaria y al cultivo de productos (maíz, papa, trigo, etc.) que son realizados de forma tradicional, mayormente en condiciones de secano, para el auto-consumo y venta en mercados cercanos, por lo que las familias prácticamente no perciben ingresos por la agricultura. El área de cultivo promedio de cada familia es bastante pequeña, de 0.5-3.0 ha, por lo que se requiere de un nuevo sistema de gestión agrícola, como la introducción de nuevos productos, que permita a los productores obtener ingresos más elevados dentro de un área de cultivo bastante reducida.

Con estos antecedentes fue que se solicitó a Japón la ejecución de un proyecto de cooperación técnica, el Proyecto “Incremento de los Ingresos Económicos de los Pequeños Productores Agrarios en la Región de Cajamarca (IEPARC)” (en adelante, el “Proyecto”), para estructurar un sistema de gestión agrícola centrado en productos monetizables de alta productividad, elevar los ingresos económicos de los productores, y de esta manera mitigar la pobreza en la Región. Para verificar la pertinencia y necesidad de la realización de este proyecto, la JICA llevó a cabo un Estudio para la Formulación Detallada del Proyecto en octubre del 2010. Como resultado, se acordó el marco del proyecto y el 10 de Marzo de 2011 se firmó el Memorando de Entendimiento.

Objetivos, Meta y Resultados Esperados

Los objetivos superiores de este Proyecto así como sus metas y resultados esperados se indican a continuación.

Objetivos Superiores, Meta y Resultados

<p>[Objetivos Superiores]</p> <ul style="list-style-type: none"> - Mejorar las condiciones de vida de los pequeños productores del área objeto - Utilizar el modelo del proyecto para la sensibilización en otras áreas fuera del área del Proyecto.
<p>[Meta]</p> <ul style="list-style-type: none"> - Estructuración de un modelo dirigido al mejoramiento de las condiciones de vida de pequeños productores en el área objeto
<p>[Resultados]</p> <ul style="list-style-type: none"> - Resultado 1: Establecimiento y fortalecimiento del sistema de implementación de actividades de las organizaciones de productores en

<ul style="list-style-type: none"> las comunidades modelo - Resultado 2 Mejoramiento de la productividad y calidad de los cultivos objeto de los productores de las comunidades modelo - Resultado 3 Establecimiento de la cadena productiva de productos agrícolas por parte de las organizaciones de productores de las comunidades modelo - Resultado 4 Promoción de la conservación de suelo y agua en las comunidades modelo - Resultado 5 Comprensión acerca del sistema en las comunidades modelo por parte de los productores de las áreas de sensibilización
--

Este Proyecto también busca lograr el efecto multiplicador de desarrollo de otros Proyectos de Cooperación Técnica Reembolsables de JICA en la región Cajamarca, a saber, el Proyecto de Conservación Ambiental y Mitigación de la Pobreza en la Sierra (I), (II y (III) ya finalizado, y el Programa de Pequeña y Mediana Infraestructura de Riego en la Sierra, a ser ejecutado.

Actividades del Proyecto

Las actividades a ser llevadas a cabo para lograr los resultados 1 a 5, especificados anteriormente son las siguientes.

Contenido de actividades del Proyecto

<p>【Actividades relacionadas con el Resultado 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1-1: Selección de una comunidad modelo en cada provincia, según los criterios de selección de comunidades modelo, establecidos al inicio del Proyecto, para la respectiva firma del convenio. 1-2: Realización de un Estudio de Línea de Base en las comunidades modelo 1-3: Explicación y difusión del contenido de las actividades para los productores de las comunidades modelo 1-4: Selección de una organización de productores apropiada al contenido de cada actividad 1-5: Orientación y apoyo a la organización de productores, relacionados con la gestión y formulación de plan de actividades de la organización 1-6: Realización del Estudio de Base final en las comunidades modelos <p>【Actividades relacionadas con el Resultado 2】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2-1: El INIA irá producir semillas mejoradas de los productos seleccionados para ser suministradas a los pequeños productores de las comunidades modelo 2-2: Instalación de una finca demostrativa en cada comunidad modelo 2-3: A través de visitas de orientación a las fincas demostrativas y a los productores de las comunidades modelo, será realizada la difusión de técnicas de cultivo, como la siembra, aplicación de abono y manejo de suelo, medidas contra plagas, etc. 2-4: Preparación del manual de técnicas de cultivo <p>【Actividades relacionadas con el Resultado 3】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3-1: Preparación del plan de conformación de cadenas productivas de productos agrícolas 3-2: Instalación de planta de procesamiento de productos agrícolas en las 5 provincias objeto 3-3: Orientación relacionada con el manejo y operación de la planta de procesamiento para cada asociación de productores 3-4: Orientación y apoyo para las organizaciones de productores sobre la apertura de mercados y venta de productos agro procesados <p>【Actividades relacionadas con el Resultado 4】</p> <ul style="list-style-type: none"> 4-1: Orientación y apoyo para promover la conservación de suelo por parte de los pequeños productores del área objeto 4-2: Orientación y apoyo a las organizaciones de productores para la instalación y manejo de fincas para el cultivo de plántones para reforestación

【Actividades relacionadas con el Resultado 5】

- 5-1: Selección de áreas objeto para la sensibilización del sistema de las comunidades modelo
- 5-2: Elaboración del plan de sensibilización, una vez evaluado el método y contenido de sensibilización apropiado para el alcance de cada área objeto.
- 5-3: Realización de actividades de sensibilización a los beneficiarios de las áreas objeto, conforme el plan.

Fuente : IEPARC

Productos Objeto

Los cultivos objeto de este Proyecto son maíz morado, arveja y ajo que son productos bastante cultivados en la región Cajamarca. Sin embargo, se evaluará la inclusión de otros cultivos que puedan contribuir al logro del objetivo principal, en caso existan.

Avance de Actividades del Proyecto

Contenido de la Actividad		Situación de Avance	
General	General	- El plan de las provincias está siendo preparado y la primera propuesta debe estar finalizada durante el mes de junio.	---
Actividad 1	El sistema de implementación de actividades de las organizaciones de productores será establecida/fortalecida	- La conformación de las organizaciones de productores en las 5 provincias, se debe finalizar. Actualmente, se está recopilando información básica, como el área de cultivo de cada productor para identificar la situación existente de los productores participantes (área de producción efectiva, etc).	Ligeramente retrasado
Actividad 2	Mejoramiento de la productividad y calidad de los productos agrícolas objeto		
	Finca demostrativa	- Preparación de la lista larga de técnicas demostrativas en la finca, evaluación y finalización de los trabajos en cada provincia.	Prácticamente conforme planificado
		- Establecimiento de los estándares básicos para la finca demostrativa, selección de áreas candidatas	Prácticamente conforme planificado
		- Finalización de instalación de las fincas demostrativas provisionales e inicio de actividades en cada provincia y municipio. Se están implementando cerca de 30 actividades como los ensayos con la utilización de abono líquido de la empresa AJINOMOTO "AJIFOL", cultivo experimental de la nueva variedad de maíz morado (INIA601), cultivo experimental de nueva variedad de arveja a ser introducida.	Adelantado
	Producción de semillas mejoradas	- En enero de 2012 la Estación Experimental Donoso del INIA entregó la semilla básica de arveja y en marzo, la E.E. Baños del Inca del INIA inició la producción de semilla certificada. Se espera que esta puedan ser cosechada en 4 meses después, en julio.	Prácticamente conforme planificado
		- En 2011 las semillas básicas fueron sembradas en la E.E. Baños del Inca del INIA y la cosecha debe terminar en mayo-junio de 2012. Actualmente, están pasando por el proceso de secado para la producción de semillas certificadas.	Prácticamente conforme planificado
		- En marzo de 2012 la E.E. Donoso del INIA entregó la semilla básica de ajo, (segunda generación de semilla) y en abril se inició la producción de semillas certificadas (tercera generación) en la E.E. Baños del Inca. Como allí no se pudo asegurar una finca con el área requerida, las semillas certificadas fueron sembradas además de Baños del Inca, en la finca de la municipalidad de Ichocán y en la finca de la municipalidad dentro de la región Amazonas. Actualmente, se está buscando asegurar fincas adicionales.	Ligeramente retrasado
		- El manual de conservación de suelo y agua para los 3 productos objeto está siendo preparado.	Ligeramente retrasado
Actividad 3	Establecimiento de la cadena productiva de productos agrícolas por las organizaciones de productores	- Los estudios de las provincias prácticamente está finalizado y se preparó la lista larga de propuestas para productos con valor agregado incluido en procesamiento, y actualmente se están realizando trabajos de evaluación, finalización y selección de propuestas de las provincias y municipios.	Ligeramente retrasado
Actividad 4	Promoción de la conservación de suelo y agua		

Contenido de la Actividad		Situación de Avance	
	Conservación de suelo	<ul style="list-style-type: none"> - Se ha seleccionado como técnicas de conservación el uso de abono verde y la agricultura de contorno que no requieren de costos ni manos de obra elevados. - Se preparó la lista larga de variedades de abono verde y actualmente se están realizando trabajos de evaluación, finalización y selección en las provincias y municipios. Para contribuir al mejoramiento de las condiciones de vida de los productores, básicamente se ha seleccionado el pasto como producto para el abono verde. 	Adelantado
	Reforestación	<ul style="list-style-type: none"> - Se preparó la lista larga de variedades de árboles y actualmente se están realizando trabajos de evaluación, finalización y selección en las provincias. Para contribuir al mejoramiento de las condiciones de vida de los productores, además del pino y eucalipto usualmente utilizados, se ha seleccionado la tara y la mora que tienen un valor de mercado elevado. 	Adelantado
Actividad 5	Sensibilización sobre el sistema de las comunidades modelo	<ul style="list-style-type: none"> - (Todavía no se inicia: Actividad para el tercer año) 	Conforme planificado
Otras	Confección de material de promoción del proyecto	<ul style="list-style-type: none"> - Folleto y Pagina WEB del Proyecto en preparación, - Material promocional del Proyecto está listo (logotipo, gorra, casaca). 	Prácticamente conforme planificado
	Suministro de equipos y vehículos (trabajo adicional)	<ul style="list-style-type: none"> - Todo ha sido adquirido con excepción de las motocicletas 	Retrasado
	Adquisición de equipos y construcción adicional a ser suministrado	<ul style="list-style-type: none"> - Las obras para la reparación de la oficina, estacionamiento y la instalación del motor trifásico están en marcha. 3empresas han entregado el presupuesto para los equipos. 	Prácticamente conforme planificado

Plan de Actividades para la Próxima Etapa del Proyecto

[General]
<p>1. Finalización del plan de Proyecto de las provincias.</p> <ul style="list-style-type: none"> - El plan del proyecto en las provincias se deberá finalizar hasta <u>fin de agosto de 2012</u>. Con esto será posible asegurar el presupuesto del proyecto. A principio, el plan de proyecto será considerado el plan de actividades y el plan de trabajo (segunda fase) de las organizaciones de productores. La elaboración del plan del proyecto de las provincias ha empezado.
[Actividades relativas al Resultado 1: Establecimiento y fortalecimiento del sistema de implementación de actividades de las organizaciones de productores en las comunidades modelo]
<p>1. Orientación y apoyo a las organizaciones de productores</p> <ul style="list-style-type: none"> - La orientación y apoyo brindados serán básicamente a través de la capacitación en el trabajo, durante la elaboración del plan de actividades, plan de implementación y gestión para cada resultado (actividad). La orientación y apoyo se dará de forma continua, durante la segunda fase.
[Actividades relativas al Resultado 2: Mejoramiento de la productividad y calidad de los cultivos objeto de los productores de las comunidades modelo]
<p>1. Instalación de la finca demostrativa y difusión de técnicas de cultivo</p> <ul style="list-style-type: none"> - Antea de la llegada de la próxima estación de siembra, las fincas demostrativas deben estar instaladas dentro de las comunidades modelo en <u>octubre de 2012</u>, (técnicas de cultivo y técnicas de conservación de suelo y agua), para realizar actividades de sensibilización durante ese periodo. - Revisión del manual de cultivo aprovechando entre otros, los resultados de la finca demostrativa. <p>2. Producción y distribución de semillas mejoradas</p> <ul style="list-style-type: none"> - Se dará seguimiento a la actividad de producción de semillas mejoradas. Se espera cosechar semillas certificadas de arveja, ajo y maíz morado aproximadamente en <u>julio, octubre-noviembre de 2012 y en 2013</u>, respectivamente. Posteriormente, se dará inicio a la producción de semillas certificadas en las fincas de las comunidades modelo (semillas para ser distribuidas a los productores). Con relación al maíz morado, debe haber un excedente de producción las semillas básicas cosechadas en mayo-junio de 2012. El INIA piensa comercializar este excedente en el mercado regular o utilizar en las fincas demostrativas.
[Actividades relativas al Resultado 3: Establecimiento de la cadena productiva de productos agrícolas por parte de las organizaciones de productores de las comunidades modelo]
<p>1. Realización de agro procesamiento (medidas para agregar valor a los productos)</p> <ul style="list-style-type: none"> - Durante la próxima época de siembra (<u>noviembre de 2012 a septiembre de 2013</u>) serán realizadas las actividades sobre medidas para agregar valor tal como la introducción de nuevas variedades, tratamiento post-cosecha, agro procesamiento, ventas conjunta, etc. incluyendo preparación de la planta para estas actividades. - Será preparará el manual de operación de la planta, y la orientación será realizada de acuerdo con este manual. - Durante la segunda fase se realizará la orientación relacionada con apertura de mercados, desarrollo y promoción de productos que será implementada de forma continua.
[Actividades relativas al Resultado 4 : Conservación de suelo y agua en las comunidades modelo]
<p>1. Implementación de actividades de conservación de suelo</p> <ul style="list-style-type: none"> - Las actividades se iniciaran juntamente con la llegada de la estación de lluvias (<u>Octubre de 2012</u>). Se irá brindar orientación técnica sobre técnicas y cultivos para la conservación de suelos. <p>2. Instalación de finca para plantones y reforestación</p> <ul style="list-style-type: none"> - La instalación de las fincas de los plantones será iniciada juntamente con la llegada de la estación de lluvias (<u>Octubre de 2012</u>). (Conforme el local de la finca, será necesario instalar un pequeño tanque para almacenamiento de agua). - Durante el periodo de diciembre de 2012 a mayo de 2013 se dará inicio a la producción de plantones (la época del inicio de la producción de plantones está calculada considerando desde el almacigo hasta el trasplante, en el inicio del periodo de lluvias). Se brindará orientación sobre el método de cultivo de plantones durante todo el proceso de producción de plantones. - La reforestación será realizada después de 6 meses a un año desde el inicio de la producción de plantones, <u>aproximadamente en diciembre de 2012</u>. Se dará orientación técnica conforme el tipo de vegetación a ser cultivada.
[Actividades relativas al Resultado 5 : Comprensión acerca del sistema en las comunidades modelo por parte de los productores de las áreas de sensibilización]
(Actividad a partir del tercer año)
[Otros y Trabajos administrativos en general]
<p>1. Realización de Reuniones del Comité de Coordinación Conjunta (CCC)</p> <ul style="list-style-type: none"> - En agosto de 2012 será realizada la primera reunión del Comité correspondiente a la segunda fase. Durante la CCC serán presentados los avances del Proyecto, así como la evaluación de los principales temas. <p>2. Suministro e instalación de equipos adicionales</p> <ul style="list-style-type: none"> - Los equipos adicionales serán suministrados e instalados de acuerdo con la necesidad. <p>3. Preparación de Informe</p> <ul style="list-style-type: none"> - Aproximadamente en julio de 2012 será preparado el plan de actividades (Segunda fase), el plan de trabajo (segunda fase) aproximadamente en agosto y el Informe de Avance será elaborado 6 meses después. <p>4. Realización de capacitación</p> <ul style="list-style-type: none"> - Serán realizadas dos capacitaciones. La primera será realizado en 2013 en Japón (tentativo) y la segunda está planeada para ser realizada en el final de 2014 en otros países, entre los cuales Brasil y Colombia etc..

MDP**“Incremento de los Ingresos Económicos de los Pequeños Productores Agrarios en la Región Cajamarca” de la República del Perú**

- Período de Proyecto : Desde 31 de Julio 2011 hasta 30 de Julio 2016 (60 meses)
- Área del Proyecto : Provincias de Cajamarca, Cajabamba, San Miguel, San Pablo y Distrito de Ichocán (San Marcos).
- Área Objeto de Concientización : Las otras comunidades de area del proyecto, las otras provincias de la Región de Cajamarca y otras ocho Regiones (Amazonas, Ancash, Ayacucho, Huancavelica, Huánuco, Junín, La Libertad y Piura)
- Beneficiarios directos : Aprox. 500 familias de pequeños productores agrarios de los comunidades modelos seleccionados desde área del Proyecto (100 por comunidad modelo)
- Beneficiarios indirectos : Pequeños productores agrarios etc. en el área objeto de concientización que se puede adaptar actividades en las comunidades modelos
- Instituciones ejecutoras : Instituto Nacional de Innovación Agraria (INIA), Programa de Desarrollo Productivo Agrario Rural (AGRORURAL), Gobierno Regional de Cajamarca, y las Municipalidades provinciales de Cajabamba, Cajamarca, San Miguel, San Pablo y Municipalidad Distrital de Ichocán (San Marcos)
- Productos objeto : Ajo, Arveja, Maíz morado y otros cultivos

Resumen del Proyecto	Indicadores	Fuentes de Información	Supuestos (Condiciones Externas)
<p>[Meta Superior]</p> <p>1. Se mejoran los ingresos de pequeños productores del área del proyecto.</p> <p>2. Se aprovecha el modelo en el área objeto de concientización.</p>	<p>((Después de 3 años de fin del Proyecto))</p> <p>1. Se contribuirá reducir nivel de pobreza en ___ % de los productores beneficiarios directos</p> <p>2. Se realizaran algunas de las actividades del modelo en 27 caseríos del área objeto de concientización</p>	<p>1. Encuestas a los beneficiarios</p> <p>2. Encuestas a los beneficiarios</p>	
<p>[Objeto del Proyecto]</p> <p>Se crea un modelo para mejorar los ingresos de pequeños productores en el área del Proyecto.</p>	<p>1. Ingreso de los productores beneficiarios será 30 % más alto que ingreso de los productores de zona cercana.</p> <p>2. Se sistematizan los resultados de las comunidades modelo y se resume en un documento.</p>	<p>1. Resultados del estudio línea base y de línea final del Proyecto.</p> <p>2. Documentos sobre el modelo</p>	<p>1. Las instituciones ejecutoras continúan los servicios de promoción agraria aprovechando los resultados del modelo.</p> <p>2. No ocurren fenómenos anormales como los climatológicos ni plagas o enfermedades imprevistas en el área objeto y el área de concientización.</p> <p>3. Se ejecuta el proyecto "Proyecto de pequeña y mediana infraestructura de riego en la sierra".</p>
<p>[Resultado]</p> <p>1. Se establece y fortalecer la estructura de ejecución para las actividades de las organizaciones de productores en las comunidades modelo.</p>	<p>1-1 Se establece las organizaciones de los productores adecuadas en cada comunidad modelo.</p> <p>1-2 Las organizaciones de los productores</p>	<p>1-1 Informe de Avance del Proyecto, Estatuto de las organizaciones de los productores</p> <p>1-2 Archivo de las organizaciones de</p>	<p>1. No hay gran caída de precios de los cultivos objeto.</p>

<p>2. Se mejora la productividad y la calidad agrícola de los cultivos objeto de los productores de las comunidades modelo.</p> <p>3. Se establece la cadena productiva de productos agrícolas por parte de las organizaciones de productores de las comunidades modelo.</p> <p>4. Se promueve la conservación de suelo y agua de las comunidades modelo.</p> <p>5. Se profundiza el entendimiento de las actividades del proyecto para las personas interesadas como productores de las comunidades modelo en el área objeto de concientización.</p>	<p>preparan Plan Anual de Actividades y Informan resultado de actividades</p> <p>1-3 Las organizaciones de productores realizan actividades conjuntas al menos 1 vez al mes.</p> <p>2-1 Se incrementa el rendimiento de beneficiarios directos en las comunidades objeto en 30 %.</p> <p>2-2 30% de productores beneficiarios mejoran calidad de los productos</p> <p>3. Se incrementa la rentabilidad de los productos objetos en 30 % (rentabilidad / kg) por valor agregado</p> <p>4-1. El 50 % de beneficiarios directos de las comunidades modelo aplican las practicas de conservación de suelo</p> <p>4-2. Se elabora y ejecuta el plan de plantación forestal en cada comunidad modelo</p> <p>5-1. En todas áreas de concientización, se elabora y ejecuta plan de concientización</p> <p>5-2. Dentro de participantes en la concientización, 50% de participantes manifiestan alto interés en el modelo.</p>	<p>los productores (acta de reunión etc.).</p> <p>1-3 Archivo de las organizaciones de los productores (acta de reunión etc.).</p> <p>2-1 Resultados del estudio línea base y de línea final del Proyecto</p> <p>2-2 Resultados del estudio línea base y de línea final del Proyecto</p> <p>3. Resultados del estudio línea base y de línea final del Proyecto</p> <p>4-1 Resultados del estudio línea base y de línea final del Proyecto</p> <p>4-2 Informe de Avance del Proyecto</p> <p>5-1 Informe de Avance del Proyecto</p> <p>5-2 Encuesta</p>	
<p style="text-align: center;">[Actividades]</p> <p>1-1 Se selecciona una comunidad modelo por provincia en base a los criterios elaborados despues del inicio del proyecto para su selección y se establecen convenios.</p> <p>1-2 Se ejecuta el estudio de línea base en las comunidades modelo.</p> <p>1-3 Se explica y sensibiliza el contenido de las actividades del Proyecto a los productores de las comunidades modelo.</p> <p>1-4 Se establecen organizaciones de productores adecuadas para las actividades.</p> <p>1-5 Se orienta y asiste a las organizaciones de productores sobre su gestión y la elaboracion del plan de actividad.</p> <p>1-6 Se ejecuta el estudio de línea final en las comunidades modelo.</p> <p>2-1 Se producen semillas mejoradas de los cultivos objeto en el INIA y se los suministra a los pequeños productores de las comunidades modelo.</p> <p>2-2 Se establece la parcela demostrativa / observacion en dentro y area cercana de la comunidad modelo y por cada provincia.</p> <p>2-3 Se difunden las técnicas del proceso productivo de cada cultivo para la siembra, fertilización, manejo de suelo y manejo de plagas, mediante el aprovechamiento de la parcela demostrativa y la visita de instruccion para los productores de comunidad modelo.</p> <p>2-4 Se elabora el manual de las técnicas del proceso productivo de cada cultivo.</p> <p>3-1. Se elabora el plan para establecer la cadena productiva de productos agrícolas.</p> <p>3-2. Se construyen plantas para valor agregado (seleccion, procesamiento etc.) primario y agroindustrial de productos agrícolas en las cinco provincias.</p> <p>3-3. Se orienta a cada organización de productores sobre la administración y</p>	<p style="text-align: center;">[Insumo]</p> <p style="text-align: center;"><Parte Japonesa></p> <p>1. Expertos Japoneses :</p> <p>1) Jefe (Asesor Principal) / Concientizacion</p> <p>2) Sub jefe / Procesamientos de Productos agrícolas/Distribucion</p> <p>3) Difusión de técnicas agrícolas/Organización de productores</p> <p>4) Conservación de Suelo y Agua</p> <p>5) Procesamientos de productos agrícolas/Distribucion</p> <p>6) Coordinador / Asistente de Difusión de modelo de asistencia para el desarrollo.</p> <p>7) Experto de Corto Plazo</p> <p>2. Capacitación del personal contraparte (En Japón y terceros países, etc.</p> <p>3. Provisión de Equipos y materiales (Equipos, vehículos, etc.)</p> <p>4. Fondos de consolidación de actividades en el exterior (para gastos de trabajo local)</p>	<p style="text-align: center;">< Parte Perana ></p> <p>1. Asignacion del Personal</p> <p>2. Instalaciones (Edificios, instalaciones, parcelas demostrativas, oficina, espacio para almacenar e instalar equipos, y otros espacios necesarios para la ejecucion del Proyecto)</p> <p>3. Instalaciones eléctricas, de agua y comunicaciones.</p> <p>4. Costos de operación (Gastos de electricidad, agua, comunicaciones, combustible, costo del personal y de sus viajes, incluyendo los fondos para las actividades como estudio y concientización).</p> <p>5. Otros</p>	<p>1. No ocurren fenómenos anormales como los climatológicos ni plagas o enfermedades imprevistas en las comunidades modelo.</p> <p style="text-align: center;">(Precondicion)</p> <p>1. La situación económica, especialmente la seguridad ciudadana en el área objeto y el área de concientización es estable.</p> <p>2. Se realizan insumos requeridos para el proyecto que se mencionan en Minuta de Discusion</p>

<p>operación de la planta mencionada en 3-2</p> <p>3-4. Se orienta y asiste a las organizaciones de productores sobre la explotación de mercados y ventas para los productos valor agregado.</p> <p>4-1. Se orienta el manejo de suelo a pequeños productores del área del Proyecto y se les asiste en su implementación.</p> <p>4-2. Se orienta y asiste a las organizaciones de productores sobre el establecimiento y administración de viveros y la planificación forestal.</p> <p>5-1. Se seleccionan las áreas para difundir los esfuerzos desplegados en las comunidades modelo.</p> <p>5-2. Se elabora el plan de concientización tras estudiar las personas interesadas como productores, el método, y el contenido de la concientización, en el área objeto de concientización.</p> <p>5-3. Se realice actividad de concientización según el plan elaborado.</p>	<p>Además de lo arriba mencionado, se llevarán a cabo la evaluación intermedia y la final en el año medio y el último año del Proyecto, respectivamente.</p> <p>El Proyecto va monitoreando oportunamente cada una de las actividades.</p>		
--	--	--	--

Compromisos y Acuerdos de las Autoridades Involucradas en el Proyecto

Gobierno Regional de Cajamarca

Alcance del Presupuesto y Personal	<ul style="list-style-type: none"> - Designación de un coordinador institucional a tiempo parcial en 2012, y a partir de 2013 a tiempo completo. - Designación de 5 personal técnico a tiempo parcial en 2012, y a partir de 2013 a tiempo completo. - En el 2012, el personal del proyecto a tiempo parcial deberá dedicarse a las actividades del Proyecto al menos dos días a la semana. - Designación del presupuesto para las actividades del Proyecto y cofinanciamiento necesario para la rehabilitación de infraestructura para agro procesamiento en cada provincia y/o distrito.
Tipo de Presupuesto	- Gasto Corriente
Presupuesto del año fiscal 2012	- Se asegurará presupuesto como actividad normal
Procedimiento necesario para el presupuesto	- Elaboración y presentación del Perfil del Proyecto utilizando insumo del Equipo Técnico del Proyecto.
Fecha límite de la presentación de perfil del proyecto para presupuesto del año fiscal 2013	- El día 15 de Junio, 2012 al Gerente de Desarrollo Económico
Fecha límite de la presentación de presupuesto del año fiscal 2013	- El día 30 de Junio, 2012
Fecha límite de la modificación de presupuesto del año fiscal 2013	- El día 31 de diciembre, 2012
Fecha del inicio de la utilización del Presupuesto del año fiscal 2013	

Gobierno Provincial de Cajamarca

Alcance del Presupuesto y Personal	<ul style="list-style-type: none"> - Designación del personal a tiempo completo del Gobierno Provincial de Cajamarca (Continuación de contrato existente) - Designación del presupuesto para las actividades del Proyecto y cofinanciamiento necesario para la rehabilitación de infraestructura para agro procesamiento en cada provincia y/o distrito.
Tipo de Presupuesto	- Gasto Corriente
Procedimiento necesario para el Presupuesto	- Elaboración y presentación del Perfil de la actividad; conjuntamente con Namora; utilizando insumo del proyecto.
Presupuesto del año fiscal 2012	- Se asegurará presupuesto como actividad normal
Fecha límite de la presentación de perfil del proyecto para presupuesto del año fiscal 2013	- Hasta El día 30 de junio, 2012 la Gerencia de Desarrollo Económico presentara a las áreas correspondientes, para su trámite y aprobación.
Fecha límite de la presentación de presupuesto del año fiscal 2013	- El día 28 de junio, 2012 (basado en calendario del año fiscal 2011).
Fecha del inicio de la utilización del	- Después de la aprobación presupuestal del Perfil (si se

Presupuesto	aprueba en el año fiscal 2012, se podrá utilizar en mismo año).
Otro	<ul style="list-style-type: none"> - El distrito de Namora ha sido seleccionado por el Equipo Técnico Local como comunidad Modelo, por cumplir con criterios de selección, como: Presencia de Organizaciones; Su grado de fortaleza y de actividades; presencia de Líderes comunitarios que promueven el desarrollo de la Comunidad; accesibilidad; que facilite la comercialización y la frecuente visita de los técnicos involucrados. - Se adjuntará cuadro con los compromisos de cada institución ejecutora valorizados y en el caso de JICA solamente los equipos valorizados a Perfil. - Una vez aprobado el perfil se firmara los Convenio y/o Actas correspondientes, entre todas las instituciones ejecutoras (a excepción de JICA); para la ejecución del mismo. - A partir de la fecha de aprobación del perfil, toda la donación de JICA debe hacerse a través de la Municipalidad Provincial Cajamarca a Municipalidad Distrital de Namora.

Gobierno Provincial de San Miguel

Alcance del Presupuesto y Personal	<ul style="list-style-type: none"> - Designación del personal a tiempo completo del Gobierno Provincial de San Miguel incluido personal de campo - Designación de presupuesto para las actividades del Proyecto, - Rehabilitación de infraestructura para la planta de agro procesamiento (acopio y agro procesamiento) (Casa Comunal). Equipo Técnico del Proyecto y Gobierno Municipal prepararán diseño básico y estimación de costo para la planta.
Tipo de Presupuesto	- Gasto Corriente
Procedimiento necesario para el Presupuesto	- Elaboración y presentación del Perfil del Proyecto utilizando insumo del proyecto.
Presupuesto del año fiscal 2012	- Viene ejecutando y así continuaran
Fecha límite de la presentación de perfil del proyecto para presupuesto del año fiscal 2013	
Fecha límite de la presentación de presupuesto del año fiscal 2013	
Fecha límite de la modificación de presupuesto del año fiscal 2013	
Fecha del inicio de la utilización del Presupuesto del año fiscal 2013	

Gobierno Provincial de San Pablo

Alcance del Presupuesto y Personal	<ul style="list-style-type: none"> - Designación del personal a tiempo completo del Gobierno Provincial de San Pablo, - Designación de presupuesto para las actividades del Proyecto, obtención de terreno y/o rehabilitación de instalaciones para planta de agro procesamiento (acopio y almacenamiento) (firma de convenio con Jancos Alto).
Tipo de Presupuesto	- Gasto Corriente
Procedimiento necesario para el Presupuesto	<ul style="list-style-type: none"> - Elaboración y presentación del Perfil del Proyecto utilizando insumo del Equipo Técnico del Proyecto. - Equipo Técnico del Proyecto y Gobierno Municipal prepararan diseño básico y estimación de costo para la planta.
Presupuesto del año fiscal 2012	- Se asegurará presupuesto como actividad normal
Fecha límite de la presentación de perfil del proyecto para presupuesto del año fiscal 2013	- El día 31 de Julio, 2012 a Gerencia de Desarrollo Económico
Fecha límite de la presentación de presupuesto del año fiscal 2013	- El día 31 de Julio, 2012
Fecha límite de la modificación de presupuesto del año fiscal 2013	- El día 31 de Diciembre, 2012
Fecha del inicio de la utilización del Presupuesto del año fiscal 2013	- Después de la aprobación del Perfil (si se aprueba en el año fiscal 2012, se podrá utilizar en mismo año)
Otras	- El día 6 de junio, 2012, Presentación del Avances del Proyecto en sesión de Consejo por Equipo Central del Proyecto.

Gobierno Distrital de Namora

Alcance del Presupuesto y Personal	<ul style="list-style-type: none"> - Designación del personal del Gobierno Distrital de Namora, presupuesto para las actividades del Proyecto, - Designación de presupuesto para rehabilitación y/o ampliación de infraestructura para la planta de agro procesamiento (acopio y procesamiento) con presupuesto de mantenimiento. Equipo Técnico del Proyecto y Gobierno Municipal prepararan diseño básico y estimación de costo para la planta.
Tipo de Presupuesto	- Gasto Corriente
Procedimiento necesario para el Presupuesto	- Elaboración y presentación del Perfil del Proyecto utilizando insumo del Equipo Técnico del Proyecto.
Presupuesto del año fiscal 2012	- Viene ejecutando y así continuaran
Fecha límite de la presentación de perfil del proyecto para presupuesto del año fiscal 2013	- El día 30 de junio, 2012 a Gerencia de Desarrollo Económico
Fecha límite de la presentación de presupuesto del año fiscal 2013	- El día 30 de junio, 2012
Fecha límite de la modificación de presupuesto del año fiscal 2013	- El día 31 de Diciembre, 2012
Fecha del inicio de la utilización del	

Presupuesto del año fiscal 2013	
---------------------------------	--

Gobierno Distrital de Ichocan

Alcance del Presupuesto y Personal	<ul style="list-style-type: none"> - Designación del personal a tiempo completo del Gobierno Distrital de Ichocan. - Designación de presupuesto para algunas actividades del Proyecto, - Designación de presupuesto para rehabilitación de infraestructura para la planta de agro procesamiento (acopio y procesamiento). Equipo Técnico del Proyecto y Gobierno Municipal prepararan diseño básico y estimación de costo para la planta.
Tipo de Presupuesto	- Gasto Corriente
Procedimiento necesario para el Presupuesto	- Elaboración y presentación del Perfil del Proyecto utilizando insumo del Equipo Técnico del proyecto.
Presupuesto del año fiscal 2012	- Viene ejecutando y así continuaran
Fecha límite de la presentación de perfil del proyecto para presupuesto del año fiscal 2013	- No hay limite
Fecha límite de la presentación de presupuesto del año fiscal 2013	- No hay limite
Fecha límite de la modificación de presupuesto del año fiscal 2013	- No hay limite
Fecha del inicio de la utilización del Presupuesto del año fiscal 2013	.

Gobierno Provincial de Cajabamba

Alcance del Presupuesto	<ul style="list-style-type: none"> - Designación del personal a tiempo completo del Gobierno Provincial de Cajabamba. - Designación de presupuesto para las actividades del Proyecto. - Designación de presupuesto para rehabilitación de infraestructura para la planta de agro procesamiento (acopio y procesamiento). Equipo Técnico del Proyecto y Gobierno Municipal prepararan diseño básico y estimación de costo para la planta.
Tipo de Presupuesto	- Gasto Corriente
Procedimiento necesario para el Presupuesto	- Elaboración y presentación del Perfil del Proyecto utilizando insumo del Equipo Técnico del Proyecto.
Presupuesto del año fiscal 2012	
Fecha límite de la presentación de perfil del proyecto para presupuesto del año fiscal 2013	- No hay limite
Fecha límite de la presentación de presupuesto del año fiscal 2013	- No hay limite
Fecha límite de la modificación de presupuesto del año fiscal 2013	- No hay limite
Fecha del inicio de la utilización del	

Presupuesto del año fiscal 2013	
---------------------------------	--

AGRO RURAL

Alcance del Presupuesto y Personal	<ul style="list-style-type: none"> - Designación de una persona de planta a tiempo completo en cada provincia según convenio interno (en total 5 personas) - Designación de presupuesto para las actividades del Proyecto (Según convenio interno, el compromiso es de 20 mil dólares estadounidenses anual, excepto pago de personal)
Tipo de Presupuesto	- Gasto Corriente
Presupuesto del año fiscal 2012	
Fecha límite de la presentación de perfil del proyecto para presupuesto del año fiscal 2013	- No hay limite
Fecha límite de la presentación de presupuesto del año fiscal 2013	- No hay limite
Fecha límite de la modificación de presupuesto del año fiscal 2013	- No hay limite
Fecha del inicio de la utilización del Presupuesto del año fiscal 2013	
Otras	- Utilizaran plantones disponibles de AGRORURAL para iniciar la reforestación en áreas del proyecto para iniciar reforestación en próxima época de lluvia

INIA

Alcance del Presupuesto y Personal	<ul style="list-style-type: none"> - Designación de presupuesto para las actividades del Proyecto (Según convenio interno, el compromiso es de 60 mil dólares estadounidenses anual, excepto pago personal) - Designación de personal según convenio interno. 5 personas a tiempo completo (4 de planta y una de agro procesamiento por contratar etc.), 5 personas a tiempo parcial en Estación Experimental (EE) Baños del Inca y Una persona a tiempo parcial de la EE Donoso. - Asignación de funciones según cultivos priorizados (Arveja, Maíz Morado y Ajo) y técnico asistente a tiempo completo. - El personal del proyecto a tiempo parcial deberá dedicarse a las actividades del Proyecto al menos dos días a la semana.
Tipo de Presupuesto	- Gasto Corriente
Presupuesto del año fiscal 2012	- Viene ejecutando y así continuara
Fecha límite de la presentación de perfil del proyecto para presupuesto del año fiscal 2013	- No hay limite
Fecha límite de la presentación de presupuesto del año fiscal 2013	- No hay limite

Fecha límite de la modificación de presupuesto del año fiscal 2013	- No hay limite
Fecha del inicio de la utilización del Presupuesto del año fiscal 2013	
Otras	- Agilización administrativa para ejecución presupuestal oportuno del Proyecto.

Directorio de Líderes de los Equipos Técnicos Locales

Provincia / Distrital	Nombre	Cargo en Municipalidad
Distrito de Namora Provincia de Cajamarca	Ing. Wilson Tello Pérez	Jefe de Desarrollo Económico, Municipalidad Distrital de Namora
Provincia de San Miguel	Ing. José Manuel Roque Cojal	Ingeniero de Municipalidad Provincial de San Miguel
Provincia de San Pablo	Ing. Juan Morales Alva	Gerente de Desarrollo Económico de Municipalidad Provincial de San Pablo
Distrito de Ichocan Provincia de San Marcos	Ing. Wilder Quiroz Tirado	Ingeniero de Municipalidad Distrital de Ichocan
Provincia de Cajabamba	Eco. Julio Rodríguez Ibañez	Gerente de Desarrollo Económico de Municipalidad Provincial de Cajabamba

Antecedente / Situación Actual de Agricultura en el Área del Proyecto

Rendimiento de los principales cultivos en (kg/ha)

	San Miguel	San Pablo	Cajamarca	San Marcos	Cajabamba	Arequipa
AJO				5,622	3,881	14,026
ARVEJA GRANO SECO	850	225	1,135	368	920	2,128
ARVEJA GR. VERDE	1,095	532	1,768		1,124	6,659
AVENA FORRAJERA	1,015			920		
CEBADA GRANO	2,000	329	483	575		2,974
CHOCHO			361			
LENTEJA GR. SECO		322	71	626	343	
MAIZ AMILACEO	2,400	628	320		620	3,681
MAIZ MORADO				1,662	3,281	
PAPA	2,333	1,380	1,637	3,252	4,907	32,498
TRIGO	911	254	952		1,078	6,115

POR QUE RENDIMIENTO BAJO ?

- Por falta de:
- Uso de Semillas de buena calidad
 - Prácticas Agrícolas Tecnificadas
 - Uso de Defensivos Agrícolas
 - Control de males hierres
 - Épocas de Cosecha adecuada
 - Uso de Agua Riego Tecnificado

Antecedente / Situación Actual de Agricultura en el Área del Proyecto

Alto índice de pobreza y de extrema pobreza, siendo estos índices de 69% y 35% respectivamente; 200.000 productores, 1.700.000has

Pobreza

Dependencia de Semillas y Cadenas de Trabajo Seleccionadas

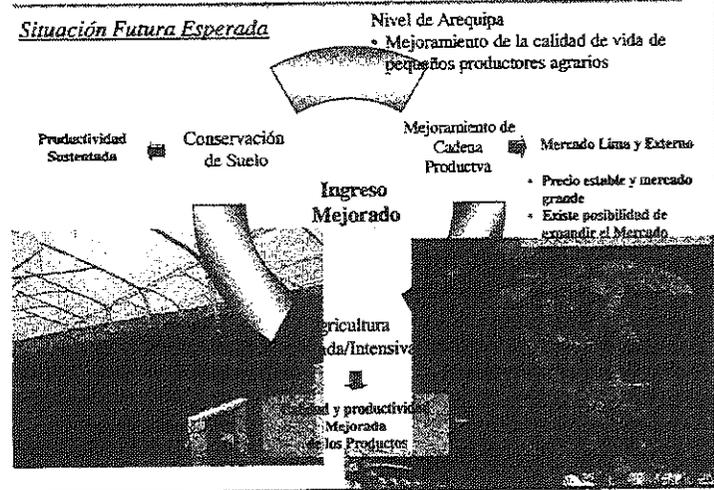
Mercedo Limitado

Vulnerable al Precio
No existe posibilidad de expansión del Mercado

Baja calidad de los Productos, Baja Rendimiento

Antecedente / Situación Actual de Agricultura en el Área del Proyecto

Situación Futura Esperada



Antecedente / Situación Actual de Agricultura en el Área del Proyecto

Necesidad de Mejorar las Situaciones de los Productores

- Acciones necesarias
- Agricultura Innovada/Intensiva de acuerdo con las capacidades de los productores
 - Conservación de agua y suelo que sustenta producción agrícola
 - Mejoramiento de cadena productiva que posibilita dar valor agregado a los productos
- Por lo menos llegar a nivel nacional

Temas Posibles para Mitigar la Pobreza

Fortalecimiento de Organización de los Productores

- Capacitación de la Organización de los Productores (seminario y visita al campo)
- Entrenamiento práctico.

Mejoramiento de Productividad y Calidad de Cultivo

- Instrucción de parcela demostrativa-tecnología de Cultivo (Maíz Morado, Arveja y Ajo) y practicas de conservación de suelo y agua para realizar las capacitaciones
- Producción y distribución de Semilla de buena Calidad
- Fortalecimiento de la actividades de investigaciones y asistencias técnicas
- Asistencia técnica para uso de semillas de calidad, insumos y practicas agrícolas
- Otras actividades que los productores obtengan las técnicas modernas

Establecimiento de Cadena Productiva de Productos Agrícolas (Valor Agregado)

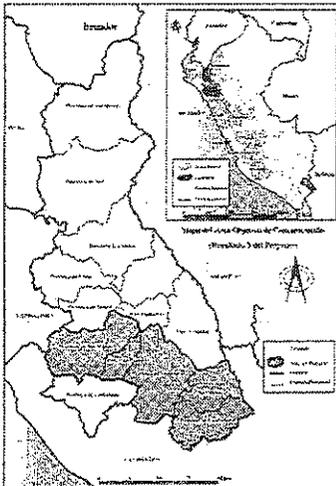
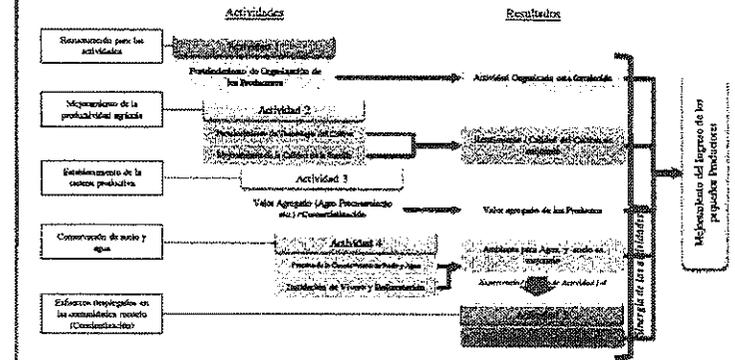
- Selección / Limpieza / Clasificación y Venta Conjunta (Arveja, Maíz morado y Ajo)
- Producción de Harina (Arveja, Maíz morado)
- Secado (Maíz Morado, Ajo) y transformación

Conservación de Agua y Suelo

- Instalación de Vivero
- Reforestación

Información General

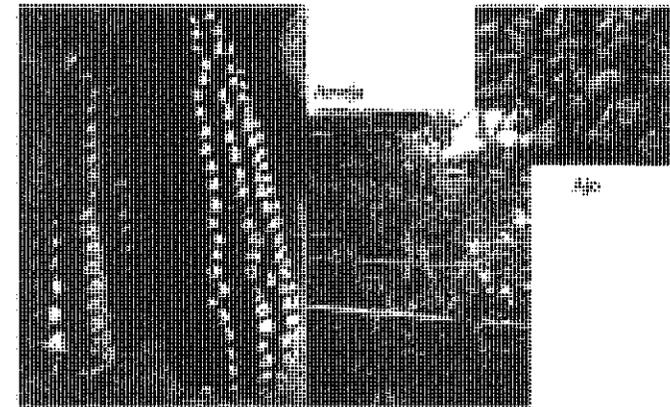
Las Actividades



Área Directa e Indirecta del Proyecto

Información General

Cultivos Objeto



Maíz Morado

Información General

Cronograma

Fase	2011	2012	2013	2014	2015	2016
	Fase 1		Fase 2		Fase 3	
1. Estructuración para las actividades en las comunidades modelo	Planificación					Evaluación
2. Mejoramiento de la productividad agrícola de los cultivos objeto	Planificación					
3. Establecimiento de la cadena productiva	Planificación					
4. Conservación de suelo y agua	Planificación					
5. Esfuerzos desplegados en las comunidades modelo (Concientización)				Planificación	Implementación	

Actividades Realizadas

- Selección de la Comunidades Modelo
- Studio de Línea Base
- Selección de los participantes
- Definiciones de acciones a ser realizadas para cada centro piloto

Implementación en los Centros Pilotos;

- Plan de Operación (en ejecución)
- Definición de las actividades por los participantes
- Elaboración del Plan de Inversión
- Definición del Plan para las instalaciones
- Definición del Plan de Operación
- Definición del Plan de Implementación
- Definición de los Términos de Referencia

Actividad	2011	2012	2013	2014	2015	2016
Selección de las Comunidades Modelo						
Studio de Línea Base						
Selección de los participantes						
Definiciones de acciones a ser realizadas para cada centro piloto						
Plan de Operación (en ejecución)						
Definición de las actividades por los participantes						
Elaboración del Plan de Inversión						
Definición del Plan para las instalaciones						
Definición del Plan de Operación						
Definición del Plan de Implementación						
Definición de los Términos de Referencia						

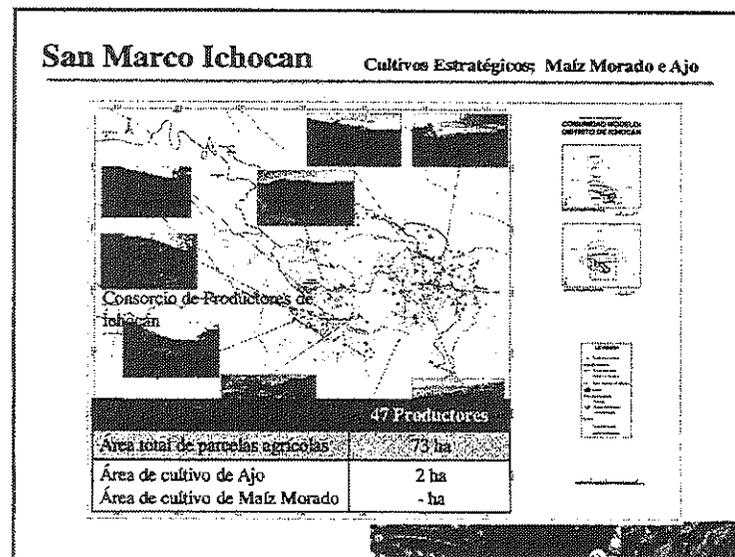
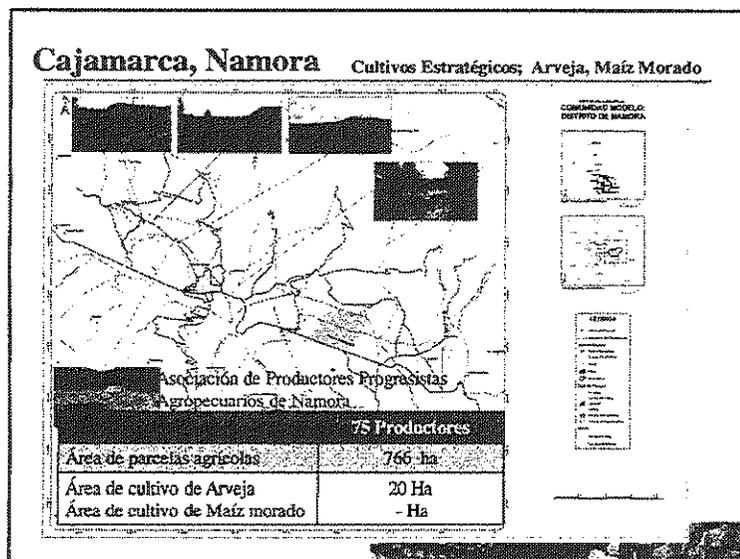
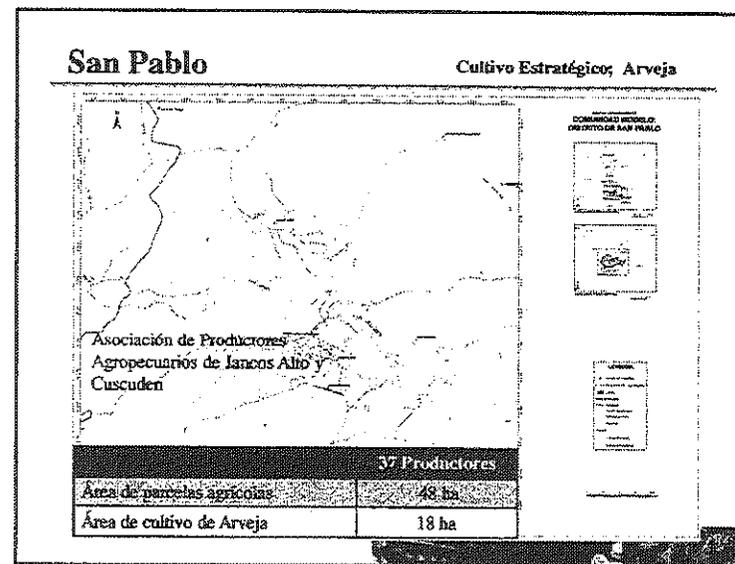
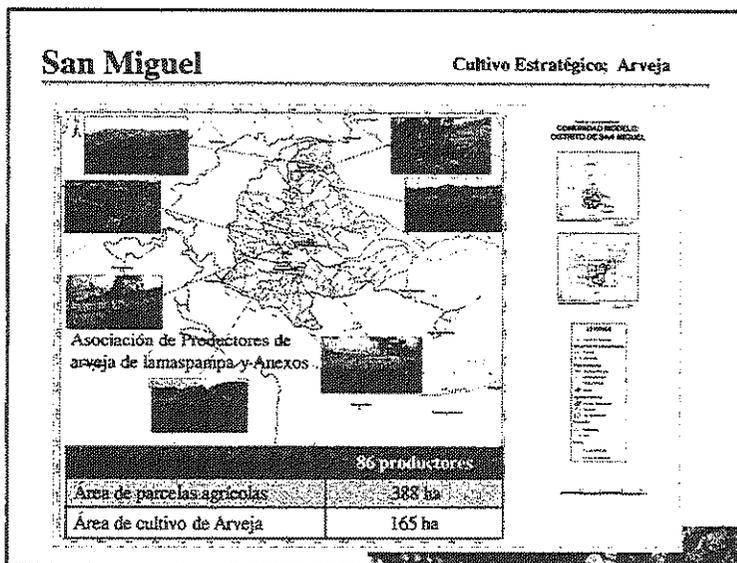
Organizaciones Participantes en el Proyecto (Centro Piloto)

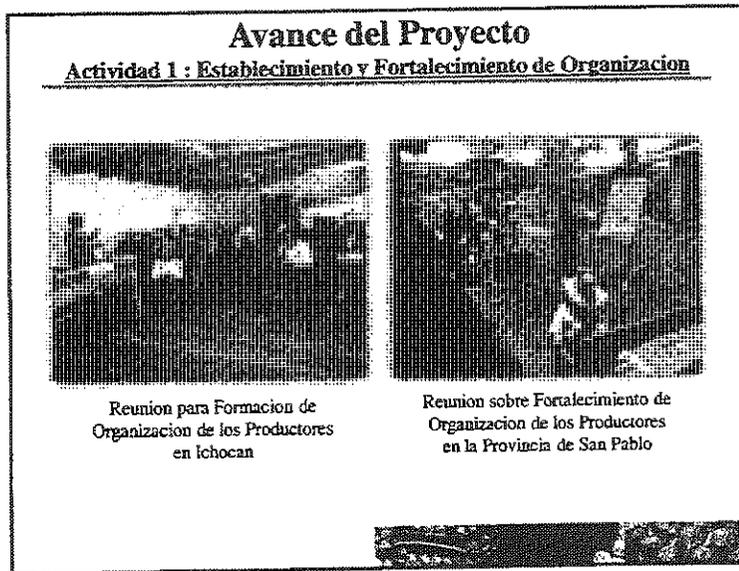
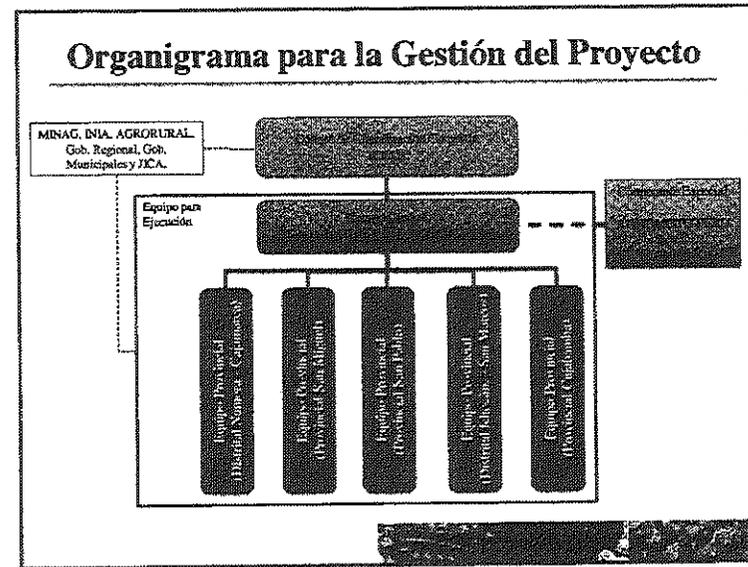
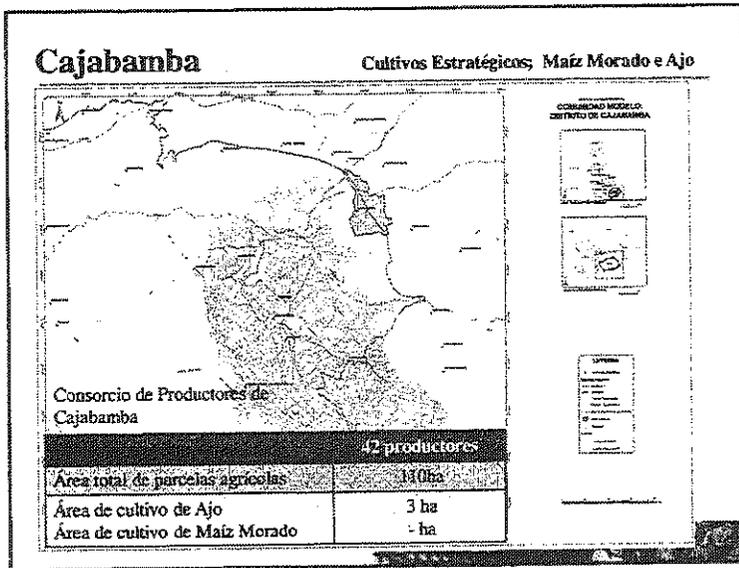
Jun-2012

Organización	Participación	Actividades	Impacto
Comunidad de Agricultores	Participación activa	Selección de cultivos, conservación de suelo y agua, establecimiento de la cadena productiva	Mejora de la productividad agrícola y sostenibilidad del medio ambiente
Comunidad de Agricultores	Participación activa	Selección de cultivos, conservación de suelo y agua, establecimiento de la cadena productiva	Mejora de la productividad agrícola y sostenibilidad del medio ambiente
Comunidad de Agricultores	Participación activa	Selección de cultivos, conservación de suelo y agua, establecimiento de la cadena productiva	Mejora de la productividad agrícola y sostenibilidad del medio ambiente
Comunidad de Agricultores	Participación activa	Selección de cultivos, conservación de suelo y agua, establecimiento de la cadena productiva	Mejora de la productividad agrícola y sostenibilidad del medio ambiente

Actividades a ser implementados en el Centro Piloto

Item de Actividades	Oda
Parcela Demostrativa -Tecnología de Cultivo	1.0ha
Parcela Demostrativa -Conservación de Suelo y Agua	0.5ha
Producción de Semilla de Calidad	1.0ha
Establecimiento de Cadena Productiva (Verificación para Valor Agregado)	1.0ha
Planta Procesadora	1.0Unidad
Conservación de Suelo	2.0ha
Instalación de Vivero	1.0Unidad
Reforestación - Arboles Frutales	0.5ha
Reforestación - Arboles Maderable	0.5ha
Otros (depende de la condición de cada provincia)	





Avance del Proyecto

Actividad 1 : Establecimiento y Fortalecimiento de Organización

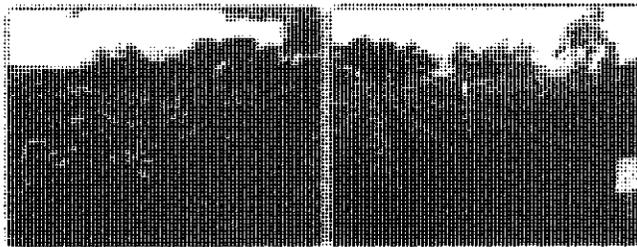
Lista de Organizaciones de Los Productores para el Proyecto

Provincia / Distrito	Centro Poblado		Organización	Tipo	Miembro
San Miguel	La Laguna, Lamasampa, El Molino	5	Asociación de Productores de Arveja Del Centro Filoto Lamasapampa y Anexos	Organización Nueva	86
San Pablo	Jancos Altos, Cuscuden	2	Asociación de Productores Agropecuarios Jancos Altos y Cuscuden	Organización Existente	37
Cajamarca, Namora	Chilacat, Caucau, Casa Blanca y Quelluacocha	5	Asociación de Productores Progresistas Agropecuarios de Namora	Organización Nueva	75
San Marcos, Ichocan	Llanupacha, Poropaco, Poropaco, La Victoria, Llofion	5	Consortio de Productores de Ichocan	Consortio	45
Cajabamba	Sharabamba, Charshapampa	2	Consortio de Productores de Cajabamba	Consortio	87
Total		19			330

Avance del Proyecto

Actividad 2 : Mejoramiento de Productividad y Calidad

2-1 Parcela Demostrativa / Observacion



Parcela de Observación de Maíz Incaense en Namora

-Adaptabilidad de Variedad (INIA 601)

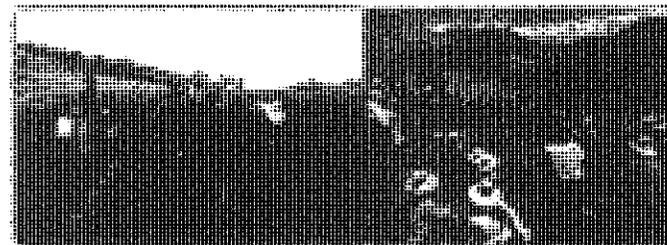
Parcela de Observación de Arveja en INIA Baños de Inca

-Adaptabilidad de Variedades
-Efectividad de Fertilizante
-Utilización de Malla

Avance del Proyecto

Actividad 2 : Mejoramiento de Productividad y Calidad

2-1 Parcela Demostrativa / Observacion



Parcela de Observación de Arveja en Provincia de Cajamarca-Namora

-Adaptabilidad de Variedades
-Efectividad de Fertilizante

Parcela de Observación de Arveja en Provincia de San Miguel (En Preparación)

-Adaptabilidad de Variedades
-Efectividad de Fertilizante

Avance del Proyecto

Actividad 2 : Mejoramiento de Productividad y Calidad

2-1 Parcela Demostrativa / Observacion



Parcela de Observación de Arveja en Provincia de Cajamarca

-Adaptabilidad de Variedades

Parcela de Observación de Maíz Morado en Distrito de Ichocan

-Adaptabilidad de Variedades

Avance del Proyecto

Actividad 2 : Mejoramiento de Productividad y Calidad

2-2 Producción de Semilla de Buena Calidad

Semilla Básica
(E.E. Baños de Inca o DONOSO)



Semilla Registrada
(E.E. Baños de Inca)



Producción de Semilla de Buena Calidad



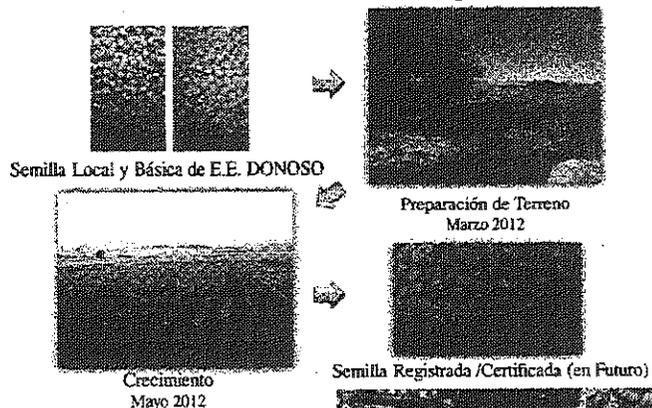
Producción de Semilla de Buena Calidad

Cultivo	Variedades
Ajo	Arequipeño Blanco Huaralino INIA 104 Mapuri Napuri Margosino
Maíz Morado	INIA 601
Arveja	USUI

Avance del Proyecto

Actividad 2 : Mejoramiento de Productividad y Calidad

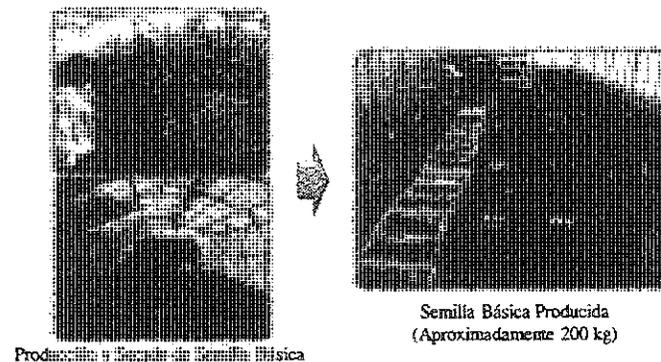
2-2 Producción de Semilla de Buena Calidad
Producción de Semilla de Arveja



Avance del Proyecto

Actividad 2 : Mejoramiento de Productividad y Calidad

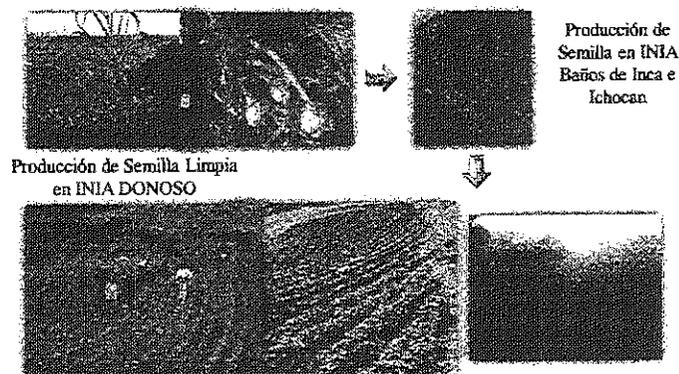
2-2 Producción de Semilla de Calidad
Producción de Semilla de Maíz Morado (INIA 601)



Avance del Proyecto

Actividad 2 : Mejoramiento de Productividad y Calidad

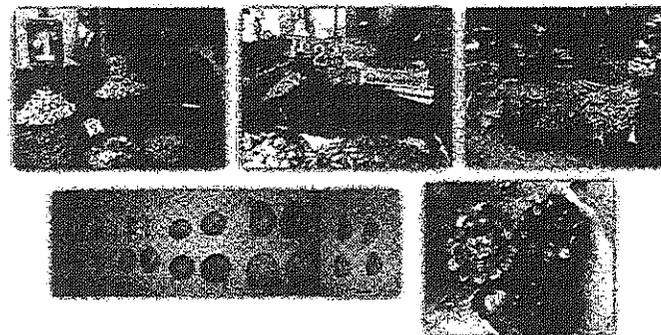
2-2 Producción de Semilla de Buena Calidad
Producción de Semilla de Ajo (5 Variedades)



Avance del Proyecto

Actividad 3 : Establecimiento de Cadena Productiva

Realización del estudio de Mercado, Intermediarios y Empresas Privadas
(Mas de 30 empresas privadas, 50 Negociante / Intermediario en Mercado y Otras entrevistadas)



Avance del Proyecto

Actividad 3 : Establecimiento de Cadena Productiva

Impresión sobre Productos de Cajamarca y Demanda de Mercado

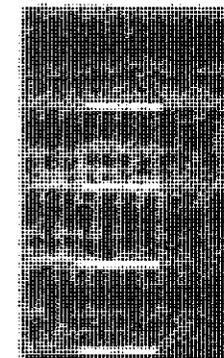
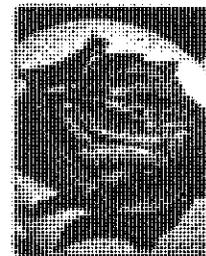
Cultivo	Impresión	Demanda
Arveja	<ul style="list-style-type: none"> ✓ Falta de Selección (Mucha basura y producto inferior mala calidad etc. No solamente Arveja, todas las leguminosas) 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ Mejoramiento de Calidad de Producto Mismo ✓ Selección de Producto por la Calidad ✓ Nueva Variedad (Arveja Dulce) con producción en zona concentrada
Maiz Morado	<ul style="list-style-type: none"> ✓ Falta de Selección ✓ Falta de color de coronta ✓ Mucha pudrición (por Falta de secado) 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ Mejoramiento de Calidad de Producto Mismo ✓ Nueva Variedad que contiene mas antocianina ✓ Producto Seco ✓ Selección de Producto por la calidad ✓ Venta de Coronta Seca
Ajo (Pata de Perro)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ Mas aromático y grande que otra variedad como arequipeño (mas caro que otras variedades) ✓ Fácil de pudrir (Falta de secar etc..) ✓ Muy Pequeño (Producto en Zona Alta) 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ Mejoramiento de Calidad de Producto Mismo ✓ Selección de Producto por la Calidad principalmente por tamaño ✓ Ajo con secado adecuado

Avance del Proyecto

Actividad 3 : Establecimiento de Cadena Productiva

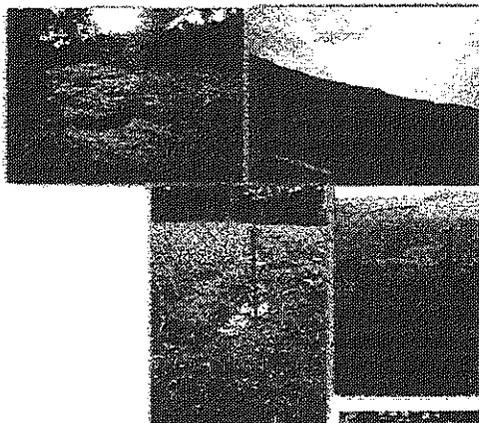
Adaptabilidad de Nueva Variedad
Análisis de Contenido de Antocianina

Adaptabilidad de Arveja Dulce



Avance del Proyecto

Actividad 4 : Conservación de Suelo y Agua



Muchas chacras esta deteriorando por fuerte lluvia etc...

Avance del Proyecto

Actividad 5 v Otras

Provisión de Equipos y Preparación de Materiales Promocionales



Preparación de Logo del Proyecto



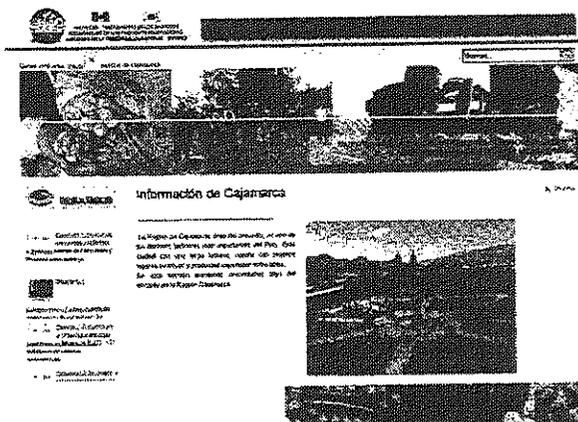
Preparación de Gorro y casaca del Proyecto



Avance del Proyecto

Actividad 5 y Otras

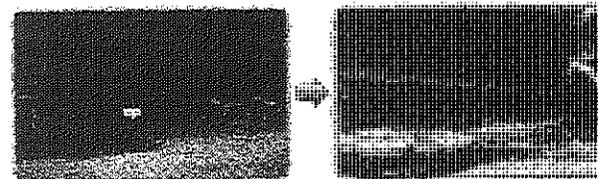
Página WEB del Proyecto (<http://www.ieparc.com>)



Avance del Proyecto

Actividad 5 y Otras

Provisión de Equipos y Preparación de Materiales Promocionales



Mejoramiento de Infraestructura en la E.E. Baños de Agua



Establecimiento de Oficina
(E.E. Baños de Agua y 1 en cada una
de las 5 municipales)

Provisión de Vehículos y Equipos

Plan de Actividades

Actividad 1 : Establecimiento y Fortalecimiento de Organización

Fortalecimiento de Organización se realizará por 3 estrategias "Seminario", "Demostración de métodos" y "Pasantías"

	Tema	Método	Estado
1	Formación y/o fortalecimiento de la organización de los productores e inscripción en Registros Públicos.	Práctica	Implementando
2	Formación de Consorcio	Práctica	Implementando
3	Preparación del Plan de Trabajo	Práctica	Implementando
4	Monitoreo de Avances de las Actividades	Práctica	Implementando
5	Socialización sobre los Contenidos del Plan de Trabajo	Taller	Implementando
6	Preparación del Plan de actividad del Agro Procesamiento y Comercialización (Valor agregado)	Práctica y Visitas a Mercados	-
7	Identificar opciones financieras para la ampliación de la actividad de agroprocesamiento (Valor agregado)	Prácticas y Seminario	-
8	Operación y mantenimiento de la planta	Práctica	A Implementar
9	Visita a proyectos y organizaciones exitosas en gestión y área de agroprocesamiento	Pasantías	Según necesidad

Plan de Actividades

Actividad 2 : Mejoramiento de Productividad y Calidad de Productos

Para la Difusión de Tecnología se realizarán "Capacitaciones a través de la Preparación y Cuidado de Parcelas Demostrativas y de Producción de Semilla" y "Distribución de Materiales Didácticos".

Provincia	Parcela Demostrativa de Tecnología de Cultivo	Parcela Demostrativa de Conservación de Suelo y Agua	Producción de Semilla de Calidad
San Miguel	✓ Arveja	✓ Cultivo de Cobertura (Alfalfa, Vicia, Chocho, Avena)	✓ Arveja
San Pablo	✓ Arveja		✓ Arveja
Namora Cajamarca	✓ Maíz Morado, Arveja y Ajo		✓ Arveja y Maíz Morado
Ichocan	✓ Maíz Morado y Ajo		✓ Ajo
San Marcos	✓ Maíz Morado y Ajo		✓ Cultivo Comoro
Cajabamba	✓ Maíz Morado y Ajo	✓ Terraza	✓ Maíz Morado y Ajo

Plan de Actividades

Actividad 3 : Establecimiento de Cadena Productiva

Estrategia

Según Resultado de Investigación de Mercado y Otros

- ✓ Aplicación de Varias Alternativas de Valor Agregado
- ✓ Utilización de Infraestructura (Recursos) Existente
- ✓ Aplicación de Nivel Pequeño (Ensayo) para atender la demanda de mercado, evitar riesgo de inversión de los productores y Municipalidades y por Escases de Producción
- ✓ Versatilidad de las Maquinas
- ✓ Oferta a diferentes Mercados, según el producto obtenido

Plan de Actividades

Actividad 3 : Establecimiento de Cadena Productiva

Estrategia de Agro procesamiento (Valor Agregado, Provisional)

Cultivo	Actividad	Mercado Principal	Provincia
Arveja	✓ Introducción y Selección de Nueva Variedad de Arveja	Empresario	San Miguel, San Pablo y Cajamarca-Namora
	✓ Selección / Limpieza, Clasificación y Vista Conjunta de Arveja Verde y Seca	Mercado Mayorista de Provincia, Región y Nacional	San Miguel, San Pablo y Cajamarca-Namora
	✓ Producción de Harinas de Arveja y Otros Cultivos	Mercado Local	San Miguel y Cajamarca-Namora
Maíz Morado	✓ Introducción y Selección de Nueva Variedad de Maíz Morado	Empresario y Mercado Mayorista de Provincia, Región y Nacional	Cajamarca-Namora, San Marcos-Ichocán, Cajabamba
	✓ Tecnología de Secado	Empresario y Mercado Mayorista de Provincia, Región y Nacional	San Marcos-Ichocán, Cajabamba
	✓ Selección / Limpieza, Clasificación y Vista Conjunta por cantidad	Mercado Mayorista	Cajamarca-Namora, San Marcos-Ichocán, Cajabamba
	✓ Selección / Limpieza, Clasificación y Vista Conjunta separando (Ceroza y Grano)	Empresario	San Marcos-Ichocán, Cajabamba
Ajo	✓ Introducción y Selección de Nueva Variedad de Ajo	Empresario	Cajamarca-Namora, San Marcos-Ichocán, Cajabamba
	✓ Tecnología de Secado	Mercado Mayorista	San Marcos-Ichocán, Cajabamba

Plan de Actividades

Actividad 3 : Establecimiento de Cadena Productiva

Actividad Secundaria (Suplementaria)

Estrategia

Según Resultado de Investigación de Mercado y Otros

- ✓ Confirmación de Producción de Cultivos Adicionales que tenga alta potencial en Mercado para evitar riesgo por fluctuación grande del precio
- ✓ Mejoramiento de Utilizaciones y Consumo de Productos Locales (Valor Agregado Nivel Comunitario)
- ✓ Mejoramiento de Participación de Mujeres y Jóvenes en Actividad Económica

- Cultivo de Cultivos posiblemente tenga alta demanda en el mercado
- Producción de Alimentos Procesadas en 2 comunidades por principalmente por mujeres jóvenes tal como Pan y Galleta en nivel pequeño hacia mercado comunitario utilizando productos locales

Plan de Actividades

Actividad 4 : Conservación de Suelo y Agua

Estrategia

- ✓ Conservación de suelo y agua de acuerdo con los ingresos y gastos de los productores
- ✓ Adaptabilidad ambiental en Área de Proyecto

1. Conservación de Suelo (Actividad individual de productores)
 - ✓ Cultivo de Cobertura (Alfalfa, Vicia, Chocho, Avena)
 - ✓ Cultivo Contorno
 - ✓ Terraza

2. Preparación de Vivero y Reforestación

Arboles Comerciales	Arboles Maderables
Taya, Mora, Arandano, Pencia, Palto, Capuli, Sauco, Tuna para Cochinilla etc.	Pino (radiata y patula), Ciprés, Aliso y Eucalipto. etc.

Plan de Actividades

Dimensión de Cada Actividad

Actividad	Área Básica
Actividad 2 Mejoramiento de Productividad y Calidad	
Actividad 2-1 Parcela Demostrativa de Tecnología de Cultivo	0.125-0.500 ha
Actividad 2-2 Parcela Demostrativa de Conservación de Suelo y Agua	0.125-0.500 ha
Actividad 2-3 Producción de Semilla de Calidad	1.000 ha -
Actividad 3 Establecimiento de Cadena Productiva (Valor Agregado)	0.250 ha
Actividad 4 Conservación de Suelo y Agua	
Actividad 4-1 Conservación de Suelo	2.000 ha
Actividad 4-2 Instalación de Vivero	0.050 ha
Actividad 4-3 Reforestación	5.000 ha
Actividad Preparatoria (Reservorio, si hay necesidad)	-
Total cada Provincia	8.435-8.825 ha
Total 5 Provincias	42.175-44.125ha

Area de Actividad sera revisada segun realidad de cada comunidad etc..

MDP del Proyecto (Borrador)

"Incremento de los Ingresos Económicos de los Pequeños Productores Agrarios en la Región de Cajamarca" de la República del Perú

- Duración de la cooperación : Desde abril de 2011 hasta abril 2016 (5 años)
 Área del proyecto : Cinco Provincias de la Región de Cajamarca, San Marcos, San Miguel y San Pablo.
 Área objeto de concientización : Las otras provincias de la Región de Cajamarca y otras ocho Regiones: Amazonas, Ancash, Ayacucho, Huancavelica, Huánuco, Junín, La Libertad y Piura.
 Beneficiarios directos : Aprox. 500 familias (100 por comunidad) de pequeños productores de las comunidades modelo (una provincia y cinco en total) seleccionadas en el área del proyecto.
 Beneficiarios indirectos : Otras comunidades del área del proyecto que no sean las comunidades modelo y pequeños productores dispuestos a sensibilizarse de los esfuerzos desplegados en las comunidades modelo dentro del área objeto de concientización.
 Instituciones contraparte : Instituto Nacional de Innovación Agraria (INIA), AgroRural, Gobierno Regional de Cajamarca, y las Municipalidades provinciales de Cajabamba, Cajamarca, San Marcos, San Miguel y San Pablo.
 Cultivos objeto : Ajo, Arveja y Malz morado.
 * Elaborado por Equipo de estudio preparatorio sobre el "Proyecto del Incremento de los ingresos económicos de los pequeños productores agrarios en la Región de Cajamarca de la República del Perú", Octubre del 2010

Resumen del Proyecto	Indicadores	Fuentes de Información	Condiciones Externas
[Meta Superior] 1. Se mejoran los ingresos de pequeños productores del área del proyecto. 2. Se aprovecha el modelo en el área objeto de concientización.	1. Se mejora el índice de pobreza del área del Proyecto en XX%. 2. Se implementa el proyecto modelo en XX comunidades del área objeto de concientización.	1. Estadística del INEI 2. Informes de INIA y de AGRORURAL	
[Objetivo del Proyecto] Se crea un modelo para mejorar los ingresos de pequeños productores en el área del Proyecto.	1. Se incrementan los ingresos de los productores beneficiarios directos (Aprox. 500) en XX%. 2. Se sistematizan los resultados de las comunidades modelo y se resume en un documento.	1. Resultados del estudio línea base y de línea final. 2. Documento redactado sobre el modelo.	1. Las instituciones contraparte continúan los servicios de promoción agraria aprovechando los resultados del modelo. 2. No ocurren fenómenos anormales como los climatológicos ni plagas o enfermedades imprevistas. 3. Se mantiene estable la situación económica y social tanto en el área del Proyecto como en el área objeto de concientización.
[Resultados] 1. Se establece y fortalece la estructura de ejecución para las actividades de las organizaciones de productores en las comunidades modelo. 2. Se mejora la productividad y la calidad agrícola de los cultivos objeto de los productores de las comunidades modelo. 3. Se establece la cadena productiva de productos agrícolas por parte de las organizaciones de productores de las comunidades modelo. 4. Se promueve la conservación de suelo y agua de las comunidades modelo. 5. Se profundiza el entendimiento de las actividades del proyecto para las personas interesadas como productores de las comunidades modelo en el área objeto de concientización.	1-1 Se seleccionaron las comunidades modelo en el área del Proyecto, según los criterios de su selección. 1-2 Se crean las organizaciones adecuadas de productores en cada comunidad modelo. 2-1 Se incrementa la producción unitaria de los cultivos objeto en XX%. 2-2 Se incrementa en XX% la proporción de cosechas categorizadas de primera entre toda su cosecha de los cultivos objeto. 3. Se incrementa en XX% el precio unitario medio de los productos agrícolas vendidos mediante la cadena productiva. 4-1 El XX% de pequeños productores de las comunidades modelo aplican las medidas de la conservación de suelo. 4-2 Se elabora el plan de plantación forestal en cada comunidad modelo y se lleva a cabo la plantación conforme al plan. 5. Se ejecuta la concientización para las Regiones objeto de concientización.	1-1 Informe de progreso. 1-2 Informe de progreso y estatuto de las organizaciones. 2-1 Resultados del estudio línea base y de línea final. 2-2 Resultados del estudio línea base y de línea final. 3. Resultados del estudio línea base y de línea final. 4-1 Informe de progreso. 4-2 Informe de progreso. 5. Informe de progreso.	No hay gran caída de precios de los cultivos objeto.
[Actividades] 1-1 Se selecciona una comunidad modelo por provincia en base a los criterios de su selección y se establecen convenios. 1-2 Se ejecuta el estudio de línea base en las comunidades modelo. 1-3 Se explica y sensibiliza el contenido de las actividades del proyecto a los productores de las comunidades modelo. 1-4 Se establecen organizaciones de productores adecuadas para las actividades. 1-5 Se orienta a asiste a las organizaciones de productores sobre su gestión. 1-6 Se ejecuta el estudio de la línea final en las comunidades modelo. 2-1 Se producen semillas mejoradas de los cultivos objeto y se les suministra a los pequeños productores de las comunidades modelo. 2-2 Se establece la parcela demostrativa en la comunidad modelo por cada provincia. 2-3 Se difunden las técnicas del proceso productivo 2-4 Se elabora el manual de las técnicas del proceso productivo de cada cultivo. 3-1 Se elabora el plan para establecer la cadena productiva de productos agrícolas. 3-2 Se construyen plantas de procesamiento primario y agroindustrial de productos agrícolas en las cinco provincias. 3-3 Se orienta a cada organización de productos sobre la administración y operación de la planta de procesamiento. 3-4 Se orienta y asiste a las organizaciones de productores sobre la explotación de mercados y ventas para los productos procesados. 4-1 Se orienta el manejo de suelo a pequeños productores del área del Proyecto y se les asiste en su implementación. 4-2 Se orienta y asiste a las organizaciones de productores sobre el establecimiento y administración de viveros y la planificación forestal. 5-1 Se seleccionan las áreas para difundir los esfuerzos desplegados en las comunidades modelo. 5-2 Se elabora el plan de concientización tras estudiar su contenido. 5-3 Se difunden las experiencias del proyecto a las personas interesadas como productores del área objeto de concientización, según el plan elaborado.	[Insumo] <Parte Japonesa> 1. Expertos japoneses: 1) Asesor en jefe/Manejo y conservación de suelo. 2) Difusión de técnicas agrícolas/Organización de productores. 3) Procesamientos de productos agrícolas/Comercialización. 4) Coordinación de trabajo/Capacitación. 5) Expertos de corto plazo. 2. Capacitación del personal contraparte (En Japón y terceros países, etc.) 3. Provisión de equipos y materiales (Equipos, vehículos, etc.) 4. Fondos de consolidación de actividades en el exterior (para gastos de trabajo local) Además de lo arriba mencionado, se llevarán a cabo la evaluación intermedia y final en el año medio y el último año del Proyecto, respectivamente. El Proyecto va monitoreando oportunamente cada una de las actividades.	<Parte Peruana> 1. Asignación del personal contraparte. 2. Instalaciones (Edificios, instalaciones, parcelas demostrativas, oficina, espacio para almacenar e instalar equipos, y otros espacios necesarios para la ejecución del Proyecto) 3. Instalaciones eléctricas, de agua y comunicaciones. 4. Costos de operación (Gastos de electricidad, agua, comunicaciones, combustible, como del personal y de sus viajes, incluyendo los fondos para las actividades como estudio y concientización). 5. Otros.	1. Se mantiene estable la situación económica y social del área del Proyecto. 2. Los pequeños productores de las comunidades modelo y los gobiernos locales colaboran con el proyecto. 3. No ocurren fenómenos anormales como los climatológicos ni plagas o enfermedades imprevistas en las comunidades modelo. (Condiciones previas) 1. Se dispone satisfactoriamente cada uno de los insumos estipulados en el Acta de Discusiones (A/D), necesarios para las actividades del Proyecto. 2. Se ejecuta el proyecto de cooperación japonesa por el préstamo concesional en yen: "Proyecto de pequeña y mediana infraestructura de riego en la sierra". 3. Hay seguridad ciudadana en el área del Proyecto.

